

埼玉県本庄市

# 夏目遺跡発掘調査報告書

— 県道本庄・鬼石線道路改良事業に伴う発掘調査報告Ⅱ —

本庄市教育委員会

# 序

地方の時代とも、文化の時代とも言われています。

全国的に遺跡の発掘、貴重な出土品の発見等の報道が多く見られますし、郷土を知り、ふるさとを愛する教育、文化財保護の運動展開が重視されていることは、喜ばしい限りです。

本庄市教育委員会でも、地域開発、道路改良事業が進み、昭和56年度、夏目遺跡の発掘調査を実施、その後埋蔵文化財センターを本拠に整理研究を続けてまいりました。

本庄市においては、市立歴史民俗資料館において、発掘復原された土器等の速報展示などを行ない、広く市民に公開しています。

今回の報告書編集に際しましても、県教育局文化財保護課の先生方はじめ、多くの先生方のご指導をいただき、市教育委員会文化財保護係が中心となり、埋蔵文化財センター職員のご協力を得て完成しました。

ここに発掘調査に従事された皆さま、編集関係者のご努力に対しまして、厚くお礼を申しあげるとともに、本報告書が広く活用されますことを願って、ごあいさついたします。

昭和60年2月20日

本庄市教育委員会

教育長 坂本敬信

## 例 言

1. 本報告書は、埼玉県の委託を受けて、本市教育委員会が調査主体となって昭和55・56年度に実施した、県道本庄・鬼石線道路改良事業に伴う発掘調査報告書の第二分冊である。
2. 本報告書は昭和58・59年の二ケ年にわたって整理を実施したもので、既刊の二本松遺跡発掘調査報告書、昭和61年度に刊行予定の社具路遺跡発掘調査報告書の三分冊が揃って一冊の報告書の体裁をとるよう編集してある。従って調査のまとめは第三分冊に予定している。
3. 住居番号は既調査のもの後日の混乱を避けるため10号から付した。
4. 出土品の整理は長谷川、石橋が中心となって本市埋蔵文化財センターで実施した。
5. 本書の執筆及び編集は石橋が中心に次の分担で行ない、長谷川が指導、助言した。

遺跡の概要、小結	石橋	遺物	大東の観察	井上・関根文章化
遺構	大東	版組	大東、井上、関根	
6. 整理、報告書の作成にあたって、次の方々からの御指導と御教示をいただいた。(敬称略・順不同)

三上元一	外尾常人	鈴木徳雄	田村 誠	岡本幸男	長滝歳康	丸山 修
小野英彦	栗原文蔵	塩野 博	早川智明	横川好富	小川良祐	菅谷浩之
福島典興	水島治平	柴崎超三雄	高橋一彦	高田儀三郎	梅沢太久夫	佐藤忠雄
坂野和信	金子真土	宮崎朝雄	増田逸朗	石岡憲雄	中村倉司	坂本和俊
高橋好信	井上尚明	富田和夫	駒宮史朗	柿沼幹夫		

7. 本報告書に使用した実測図及び観察表は次の凡例による。

- 1) 遺構・遺物の縮尺は次のとおりである。

竪穴住居址	60分の1	カマド	30分の1
溝	120分の1	遺物	4分の1

これらについてはスケールは付きなかった。例外の場合のみスケールを付している。また遺構平面図は、天が座標北で、方位は略した。例外の場合のみ方位を示している。

- 2) 遺構実測図の斜線は遺構の基盤であるローム層・網目は焼土を表現している。
- 3) 遺物実測図の中心線の一点破線は道直回転して実測したもの、口径の一点破線は口径円周が径以下の遺物である。従って相方が一点破線の遺物は参考程度に掲げたものである。
- 4) 遺物実測図の器壁に直交するヒゲはヨコナアの範囲を示し、方向の判明するものは→印で示してある。遺物の断面の網目は須恵器を表現している。
- 5) 第114図31の跡は坂野和信氏の原因及び観察を使用した。
- 6) 遺物の観察は、1法量、2胎土、3成形、4整形、5形態、6焼成、7色調、8使用痕9出土状況、10接合関係、11備考の順に記述、それぞれ頭文字で略した。

1. 単位はcm、( )は推定である。

2. 「黒色粒子」「黒色微石」は角閃石と考えられる。「褐鉄粒」とは径1~4mmの褐鉄鉱様の粒子で、取り出して磁石をあてると付着するもの。「練込み」とは、練り

が不十分で異質の粘土が流水状となったもので人意的でないと考えられるが、表記した。

- 3、土器は製作されたと考えられる順に記述した。「上がり底」とは、製作時に土器自体を回転するとできる、一見上げ底風の底で、「弧状ヘラ」とは製作時に使用されたとみられるヘラで、明瞭にその痕跡が認められる（匠俵等）場合に用いた。
  - 4、用語の使用については、各種報告書で一般的に使用されている語句を踏襲した。
  - 5、遺物の実測図で表現しにくい部分のみ記述した。
  - 6、良、普、悪で表現した。但し現状観察である。
  - 7、特に基準は設けずに記述したが、大きな不統一は無い。
  - 8、放棄後の風化等の痕跡も記述した。
  - 9、本報告書では遺構実測図との関係は概略を記すのみにとどめた。
  - 10、広範に分散したもののみ概略を記述した。
  - 11、土中のゆがみや、風化等の不可抗力による復元の不出来は「復原不良」と記した。
- 8、住居地の番号のうち16号、17号、23号、34号、67号、72号、73号、74号の住居地番号は空番である。
- 9、編集の都合上、遺物の観察表及び出土遺物の実測図は一括してまとめている。
- 10、本書に使用した遺構実測図、写真、出土遺物は本庄市埋蔵文化財センターに保管している。
- 11、文化庁長官に提出した「埋蔵文化財発掘通知」及び文化庁受理番号等の概要は下記のとおりである。

遺跡名	所在地	面積	通知番号	文化庁受理番号	備考
本庄91号	本庄市大字西富田 字新田東354番他	6000㎡	本教社発第 109号 昭和56・5・6	56委保記第2-1363号 昭和56年7月7日	社具路遺跡 夏目遺跡
本庄89号	同 同 字北原336番他	3000㎡	本教社発第 219号 昭和56・8・28	56委保記第2-3292号 昭和56年12月26日	夏目遺跡

なお「埼玉県遺跡地図・地名表」（埼玉県教育委員会、昭50）による周知の遺跡とは若干の相違があり、本庄91号遺跡は夏目遺跡と社具路遺跡に二分割した。

- 12、本書第1図に使用した地形図は国土地理院発行（昭和52年12月28日）の1:50000『高崎』の一部を複製した。また第2図に使用した地形図は本庄市役所発行の1:2500『都市計画図「北泉」「市街地」』の一部を複製したものである。
- 13、整理及び本報告書作成の組織は下記のとおりである。

昭和58年度

主体者 本庄市教育委員会

教育長 飯島 彰  
社会教育課  
課 長 戸塚克男  
指導主事 矢崎昭夫

昭和59年度

主体者 本庄市教育委員会

教育長 飯島 彰  
(9月30日まで)  
坂本敬信  
(10月1日から)



	課長補佐兼文		社会教育課	
	化財保護係長	長谷川道夫	課長	戸塚克男
	社会教育係長	高田節子	指導主事	矢崎昭夫
	文化財保護係	長谷川勇	課長補佐兼文	
		増田一裕	化財保護係長	長谷川道夫
		中田啓一	社会教育係長	小林弘子
担当者		長谷川勇	文化財保護係	長谷川勇
		石橋桂一		増田一裕
担当者補助		大東今日子		中田啓一
		井上富美子	担当者	長谷川勇
作業従事		関根典子		石橋桂一
		久保田かづ子	担当者補助	大東今日子
		津久井八重子		井上富美子
		大谷八重子	作業従事	関根典子
		渡辺宜子		久保田かづ子
		石橋由喜子		津久井八重子
		茂木秀敏		大谷八重子
		荒井幸太郎		渡辺宜子
		笠本源一		石橋由喜子
		八木道良		
		堀田依包		

#### 14. 本報告書では次の反省点がある。

- 1) 発掘調査の際、耕土除去後の遺構確認面での遺構的確な把握、遺構検出作業時の的確な判断、作業及び記録内容の統一、調査担当者間に於ける連絡徹底等に不適當な部分が多かった。従って遺構間の前後関係の把握は不十分で、本書に掲載した遺構実測図、写真図版等のそしりは免れ得ない。
- 2) 整理の過程に於いて、整理場所の数度の移転によって調査資料が他遺跡資料と紛れてしまった可能性がある。第三分冊刊行には補完し万全を期したい。
- 3) 近現代の遺構（土埵等）については紙数の関係から割愛した。

## 目 次

### 序 例 言 目 次

Ⅳ 夏目遺跡	
1. 遺跡の概要	3
2. 遺 構	4
3. 遺 物	57
4. 小 結	181

## 挿 図 目 次

第 1 図	遺跡の位置図1	1
第 2 図	遺跡の位置図2	2
第 3 図	夏目遺跡全測図	折り込み
第 4 図	夏目遺跡10号住居址	5
第 5 図	夏目遺跡11号住居址・カマド	6
第 6 図	夏目遺跡12・13・14号住居址	7
第 7 図	夏目遺跡15・18・19号住居址	9
第 8 図	夏目遺跡20・21号住居址	10
第 9 図	夏目遺跡22号住居址	11
第 10 図	夏目遺跡24・25号住居址	12
第 11 図	夏目遺跡25号住居址カマド	13
第 12 図	夏目遺跡26号住居址	14
第 13 図	夏目遺跡27号住居址	16
第 14 図	夏目遺跡28・29号住居址・28号住居址カマド	17
第 15 図	夏目遺跡30・31号住居址	19
第 16 図	夏目遺跡32号住居址	20
第 17 図	夏目遺跡33・35号住居址・33号住居址カマド	21
第 18 図	夏目遺跡36・37・38号住居址	23
第 19 図	夏目遺跡39・40号住居址	24

第 20 図	夏目遺跡 41・42・43・44 号住居址……………	26
第 21 図	夏目遺跡 45・46 号住居址・46 号住居址カマド……………	27
第 22 図	夏目遺跡 47・48 号住居址……………	29
第 23 図	夏目遺跡 47 号住居址カマド……………	30
第 24 図	夏目遺跡 49 号住居址……………	31
第 25 図	夏目遺跡 50・51 号住居址……………	32
第 26 図	夏目遺跡 50 号住居址カマド・51 号住居址カマド……………	33
第 27 図	夏目遺跡 52・53・54・57 号住居址……………	36
第 28 図	夏目遺跡 55・56 号住居址……………	37
第 29 図	夏目遺跡 58 号住居址……………	38
第 30 図	夏目遺跡 58 号住居址カマド……………	39
第 31 図	夏目遺跡 59・60・61 号住居址……………	40
第 32 図	夏目遺跡 62 号住居址・カマド……………	41
第 33 図	夏目遺跡 63・64 号住居址……………	43
第 34 図	夏目遺跡 65・66 号住居址……………	45
第 35 図	夏目遺跡 68・70・71 号住居址……………	46
第 36 図	夏目遺跡 69・75 号住居址……………	48
第 37 図	夏目遺跡 1・2・3・4 号溝……………	49
第 38 図	夏目遺跡 5 号溝 (1)……………	折り込み
第 39 図	夏目遺跡 5 号溝 (2)・須恵器出土状況 (1)……………	折り込み
第 40 図	夏目遺跡 5 号溝須恵器出土状況 (2)……………	51
第 41 図	夏目遺跡 6・7・8・10・11 号溝……………	54
第 42 図	夏目遺跡 8・9・12・13・15・16・19 号溝……………	55
第 43 図	夏目遺跡 17・18・20 号溝……………	56
第 44 図	夏目遺跡 10 号住居址出土遺物 (1)……………	127
第 45 図	夏目遺跡 10 号住居址出土遺物 (2)……………	128
第 46 図	夏目遺跡 11 号住居址出土遺物 (1)……………	128
第 47 図	夏目遺跡 11 号住居址出土遺物 (2)……………	129
第 48 図	夏目遺跡 11 号住居址出土遺物 (3)……………	130
第 49 図	夏目遺跡 12 号住居址出土遺物……………	130
第 50 図	夏目遺跡 13・14 号住居址出土遺物……………	130
第 51 図	夏目遺跡 15 号住居址出土遺物……………	131
第 52 図	夏目遺跡 19 号住居址出土遺物……………	131
第 53 図	夏目遺跡 20・21 号住居址出土遺物……………	131
第 54 図	夏目遺跡 21 号住居址出土遺物……………	132
第 55 図	夏目遺跡 22 号住居址出土遺物 (1)……………	133

第 5 6 図	夏目遺跡 2 2 号住居址出土遺物 (2) .....	1 3 4
第 5 7 図	夏目遺跡 2 4 号住居址出土遺物 .....	1 3 4
第 5 8 図	夏目遺跡 2 5 号住居址出土遺物 .....	1 3 5
第 5 9 図	夏目遺跡 2 6 号住居址出土遺物 (1) .....	1 3 5
第 6 0 図	夏目遺跡 2 6 号住居址出土遺物 (2) .....	1 3 6
第 6 1 図	夏目遺跡 2 8 号住居址出土遺物 .....	1 3 6
第 6 2 図	夏目遺跡 2 9 号住居址出土遺物 .....	1 3 7
第 6 3 図	夏目遺跡 3 0 号住居址出土遺物 .....	1 3 8
第 6 4 図	夏目遺跡 3 1 号・3 2 号住居址出土遺物 .....	1 3 9
第 6 5 図	夏目遺跡 3 3 号住居址出土遺物 (1) .....	1 4 0
第 6 6 図	夏目遺跡 3 3 号住居址出土遺物 (2) .....	1 4 1
第 6 7 図	夏目遺跡 3 5 号住居址出土遺物 .....	1 4 1
第 6 8 図	夏目遺跡 3 6 号住居址出土遺物 .....	1 4 1
第 6 9 図	夏目遺跡 3 7 号住居址出土遺物 .....	1 4 2
第 7 0 図	夏目遺跡 3 8 号住居址出土遺物 (1) .....	1 4 2
第 7 1 図	夏目遺跡 3 8 号住居址出土遺物 (2) .....	1 4 3
第 7 2 図	夏目遺跡 3 9 号住居址出土遺物 .....	1 4 3
第 7 3 図	夏目遺跡 4 0 号住居址出土遺物 (1) .....	1 4 3
第 7 4 図	夏目遺跡 4 0 号住居址出土遺物 (2) .....	1 4 4
第 7 5 図	夏目遺跡 4 0 号住居址出土遺物 (3) .....	1 4 5
第 7 6 図	夏目遺跡 4 0 号住居址出土遺物 (4) .....	1 4 6
第 7 7 図	夏目遺跡 4 1・4 2 号住居址出土遺物 .....	1 4 7
第 7 8 図	夏目遺跡 4 4 号住居址出土遺物 .....	1 4 7
第 7 9 図	夏目遺跡 4 5 号住居址出土遺物 .....	1 4 7
第 8 0 図	夏目遺跡 4 6 号住居址出土遺物 .....	1 4 8
第 8 1 図	夏目遺跡 4 7 号住居址出土遺物 .....	1 4 9
第 8 2 図	夏目遺跡 4 8 号住居址出土遺物 .....	1 5 0
第 8 3 図	夏目遺跡 4 9 号住居址出土遺物 .....	1 5 1
第 8 4 図	夏目遺跡 5 0 号住居址出土遺物 .....	1 5 1
第 8 5 図	夏目遺跡 5 1 号住居址出土遺物 (1) .....	1 5 1
第 8 6 図	夏目遺跡 5 1 号住居址出土遺物 (2) .....	1 5 2
第 8 7 図	夏目遺跡 5 2 号住居址出土遺物 (1) .....	1 5 2
第 8 8 図	夏目遺跡 5 2 号住居址出土遺物 (2) .....	1 5 3
第 8 9 図	夏目遺跡 5 3 号住居址出土遺物 .....	1 5 4
第 9 0 図	夏目遺跡 5 4 号住居址出土遺物 (1) .....	1 5 4
第 9 1 図	夏目遺跡 5 4 号住居址出土遺物 (2) .....	1 5 5

第 92 図	夏目遺跡 55 号住居址出土遺物	155
第 93 図	夏目遺跡 56 号住居址出土遺物	156
第 94 図	夏目遺跡 58 号住居址出土遺物 (1)	156
第 95 図	夏目遺跡 58 号住居址出土遺物 (2)	157
第 96 図	夏目遺跡 59・60 号住居址出土遺物	157
第 97 図	夏目遺跡 61 号住居址出土遺物 (1)	158
第 98 図	夏目遺跡 61 号住居址出土遺物 (2)	159
第 99 図	夏目遺跡 61 号住居址出土遺物 (3)	160
第 100 図	夏目遺跡 61 号住居址出土遺物 (4)	161
第 101 図	夏目遺跡 62 号住居址出土遺物	161
第 102 図	夏目遺跡 63 号住居址出土遺物	162
第 103 図	夏目遺跡 64 号住居址出土遺物 (1)	162
第 104 図	夏目遺跡 64 号住居址出土遺物 (2)	163
第 105 図	夏目遺跡 65 号住居址出土遺物 (1)	163
第 106 図	夏目遺跡 65 号住居址出土遺物 (2)	164
第 107 図	夏目遺跡 65 号住居址出土遺物 (3)	165
第 108 図	夏目遺跡 65 号住居址出土遺物 (4)	166
第 109 図	夏目遺跡 65 号住居址出土遺物 (5)	167
第 110 図	夏目遺跡 66 号住居址出土遺物	167
第 111 図	夏目遺跡 68 号住居址出土遺物	167
第 112 図	夏目遺跡 69 号住居址出土遺物 (1)	168
第 113 図	夏目遺跡 69 号住居址出土遺物 (2)	169
第 114 図	夏目遺跡 69 号住居址出土遺物 (3)	170
第 115 図	夏目遺跡 70 号住居址出土遺物	171
第 116 図	夏目遺跡 71 号住居址出土遺物 (1)	171
第 117 図	夏目遺跡 71 号住居址出土遺物 (2)	172
第 118 図	夏目遺跡 75 号住居址出土遺物	173
第 119 図	夏目遺跡 5 号溝出土遺物 (1)	173
第 120 図	夏目遺跡 5 号溝出土遺物 (2)	174
第 121 図	夏目遺跡 5 号溝出土遺物 (3)	175
第 122 図	夏目遺跡 5 号溝出土遺物 (4)	176
第 123 図	夏目遺跡 5 号溝出土遺物 (5)	177
第 124 図	夏目遺跡 5 号溝出土遺物 (6)	178
第 125 図	夏目遺跡 6・7・11 号溝出土遺物	178
第 126 図	夏目遺跡 覆土出土遺物	178
第 127 図	夏目遺跡住居址複合出土遺物	179

## 写真図版

- |        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 写真図版 1 | 夏目遺跡空中写真                        |
| 写真図版 2 | 夏目遺跡空中写真                        |
| 写真図版 3 | 夏目遺跡10号～14号住居址・10号住居址遺物出土状況     |
| 写真図版 4 | 夏目遺跡11号住居址カマド・15号・18号・19号住居址    |
| 写真図版 5 | 夏目遺跡15号住居址カマド・19号住居址カマド         |
| 写真図版 6 | 夏目遺跡22号・24号～27号住居址・22号住居址遺物出土状況 |
| 写真図版 7 | 夏目遺跡22号住居址遺物出土状況・25号住居址カマド      |
| 写真図版 8 | 夏目遺跡26号住居址遺物出土状況・27号住居址         |
| 写真図版 9 | 夏目遺跡28号住居址・28号住居址遺物出土状況         |
| 写真図版10 | 夏目遺跡28号住居址カマド・29号住居址カマド         |
| 写真図版11 | 夏目遺跡29号住居址遺物出土状況・30号住居址         |
| 写真図版12 | 夏目遺跡30号住居址カマド・30号住居址遺物出土状況      |
| 写真図版13 | 夏目遺跡32号住居址遺物出土状況・33号住居址         |
| 写真図版14 | 夏目遺跡37号・38号住居址・38号住居址遺物出土状況     |
| 写真図版15 | 夏目遺跡38号住居址遺物出土状況・39号住居址         |
| 写真図版16 | 夏目遺跡40号住居址・40号住居址カマド            |
| 写真図版17 | 夏目遺跡46号住居址・46号住居址カマド            |
| 写真図版18 | 夏目遺跡46号住居址カマド・46号住居址遺物出土状況      |
| 写真図版19 | 夏目遺跡47号・48号住居址・47号住居址カマド        |
| 写真図版20 | 夏目遺跡48号住居址カマド・48号住居址遺物出土状況      |
| 写真図版21 | 夏目遺跡48号住居址遺物出土状況・50号住居址         |
| 写真図版22 | 夏目遺跡50号住居址カマド・51号住居址            |
| 写真図版23 | 夏目遺跡51号住居址カマド・51号住居址遺物出土状況      |
| 写真図版24 | 夏目遺跡52号～56号住居址・52号住居址遺物出土状況     |
| 写真図版25 | 夏目遺跡52号住居址カマド・56号住居址遺物出土状況      |
| 写真図版26 | 夏目遺跡58号住居址・59号住居址               |
| 写真図版27 | 夏目遺跡61号住居址・61号住居址カマド            |
| 写真図版28 | 夏目遺跡61号住居址遺物出土状況・62号住居址         |
| 写真図版29 | 夏目遺跡62号住居址カマド・63号・64号住居址        |
| 写真図版30 | 夏目遺跡63号住居址カマド・63号住居址遺物出土状況      |
| 写真図版31 | 夏目遺跡64号住居址カマド・64号住居址遺物出土状況      |

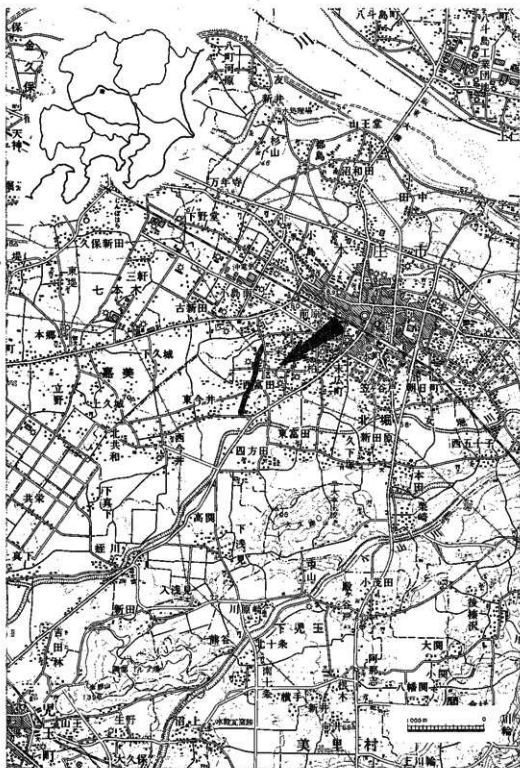
- 写真図版32 夏目遺跡65号住居址・65号住居址カマド
- 写真図版33 夏目遺跡65号住居址遺物出土状況・66号住居址
- 写真図版34 夏目遺跡69号住居址カマド・69号住居址遺物出土状況
- 写真図版35 夏目遺跡69号住居址遺物出土状況・70号住居址
- 写真図版36 夏目遺跡70号住居址カマド・71号住居址
- 写真図版37 夏目遺跡75号住居址・75号住居址カマド
- 写真図版38 夏目遺跡75号住居址遺物出土状況・1号・2号溝
- 写真図版39 夏目遺跡3号溝・5号溝
- 写真図版40 夏目遺跡5号溝遺物出土状況

本庄市埋蔵文化財調査報告 既刊一覧

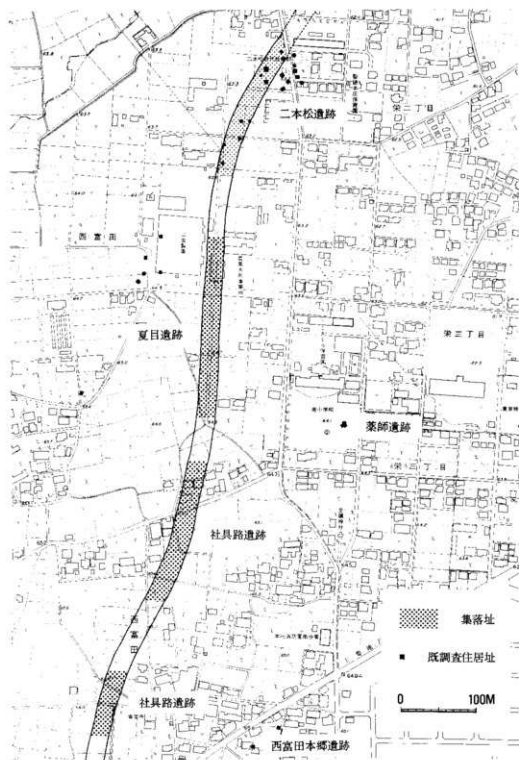
- |        |        |                                     |
|--------|--------|-------------------------------------|
| 第1集    | 埼玉県本庄市 | 御手長山古墳発掘調査報告書                       |
| 第2集    | 埼玉県本庄市 | 女堀遺跡群発掘調査概報                         |
| 第3集    | 埼玉県本庄市 | 本庄住宅団地造成基本計画策定地域内<br>埋蔵文化財分布状況調査報告書 |
| 第4集    | 埼玉県本庄市 | 旭・小島古墳群発掘調査報告書                      |
| 第5集1分冊 | 埼玉県本庄市 | 二本松遺跡発掘調査報告書                        |
|        |        | 一県道本庄・鬼石線道路改良事業に伴う発掘調査報告Ⅰ一          |
| 2分冊    | 埼玉県本庄市 | 夏目遺跡発掘調査報告書                         |
|        |        | 一県道本庄・鬼石線道路改良事業に伴う発掘調査報告Ⅱ一          |
| 第6集    | 埼玉県本庄市 | 本庄遺跡群発掘調査報告書                        |
|        |        | 一夏目遺跡・三笠山古墳・三笠山7号墳一                 |

# 夏目遺跡

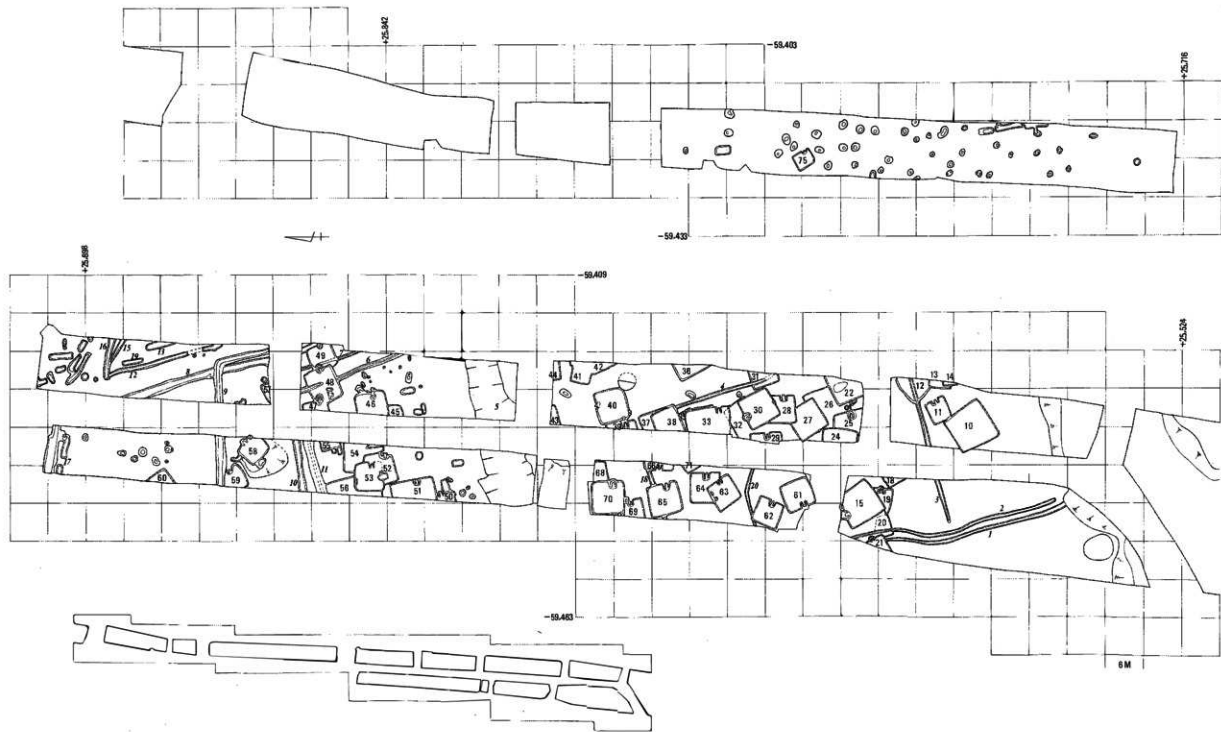




第1図 遺跡の位置図1



第2図 遺跡の位置図2



第3图 夏台遗址全测图

## Ⅳ 夏目遺跡

### 1 遺跡の概要

当遺跡は本庄市西富田字北原に所在する。当遺跡のすぐ西、字夏目において数軒の住居址が既に調査され、夏目遺跡として報告されている。今回調査を行った区域は字夏目よりはずれが、南部を埋没河川、北部を微低地によって画される同一台地上にあり、また集落としての連続性も考えられることから、後日の混乱を避けるため、新たな遺跡名を付さず、夏目遺跡と呼称することとした。それに伴い、住居址番号も既調査の住居址番号に連続させ、10号より付した。

夏目遺跡は、神流川によって形成された扇状地である本庄台地の北端近くに位置している。標高6.4～6.5mの平坦地に形成され、遺構はすべてローム面を掘り込んで構築されている。本遺跡より北方約2kmにして、低湿な妻沼低地に至る。

夏目遺跡は、既に報告書が刊行された二本松遺跡の南西にあり、わずかな低地を境としている。南側には社具路遺跡があり、幅約60mの蛇行した河川を挟んで対峙している。

二本松遺跡をはじめとする西富田所在の遺跡群は、昭和30年代より注目を集め、これまでに幾多の調査がなされてきている。夏目遺跡では、早稲田大学考古学研究室が、昭和32年に住居址を3軒、35年に住居址1軒を調査し、その概要が公表されている。その後、昭和38年にも調査が行なわれたが、これについては未詳である。さらに、昭和43年、製菓会社の運動場造成のための事前調査が柳田敏司、菅谷浩之両氏により実施され、住居址1軒が報告されている。既に調査がなされた住居址はすべて和泉期の古い段階のものである。

今回の調査は、中央に幅約5mの市道を残し、幅2.3～2.5m、長さ2.30m、面積約3.500㎡の規模で、東西方向に広がると考えられる遺跡を南北方向に縦断する形で実施された。

検出された遺構は、住居址5.8軒、溝1.9本、井戸2基、土埧3.8基である。住居址は鬼高期を中心とし、和泉期から真間期にわたっている。調査区域南部、埋没河川より若干はなれて、住居址の夥しい重複が認められ、北に移るに従い住居址の密度は低く、また北端部には、住居址群よりかなり離れて小規模な住居址が検出されている。埋没河川近くの住居址は、南壁が北壁に比べて壁高を減じていることが確認され、氾濫を被ったことが示唆される。溝は古墳時代～中世のものである。土埧は、遺物を伴ったものではなく時期の確定は不可能である。

出土した遺物はほとんどが土師器で、その中で特筆すべきものとして、3連の卍（1個欠損）、坏底部に小环を付したような高坏、坏縁部に刻目をもつ高坏、口縁に3孔を穿った鉄鉢形土器などがあげられる。これらの土器は他にあまり類例を見ないものである。その他に、銅芯金張の耳環、滑石製紡錘車、土製玉、石製模造品（剣形、有孔円板）、鉄製品（鎌、鋸、刀子等）、環状石器、カット痕のある淡青色のガラス球がある。なお夏目遺跡関係の報告に『本庄市史 資料編』本庄市埋蔵文化財調査報告第6集『本庄遺跡群発掘調査報告書』（以上本庄市教育委員会）『埼玉県本庄市西富田遺跡調査報告』『史観 65 66 67合冊』（早稲田大学）などがある。

## 2 遺構

### 10号住居址 (第4・44・45図)

当遺跡の西端、河川の最も近くに位置し、粘質の堆積土上に構築されている。6.5×6.7mを測る不均整な台形を呈し、北コーナー部分がわずかに11号住居址と複合しているが不明確である。壁高は河川の氾濫を受けたためか、5~15cmと低く、壁溝でかろうじて確認できる。壁溝は幅10~20cmで全周している。

柱穴は4ヶ所で検出されたが、何れも対角線上を外れて位置し径25~30cm、深さ40~45cmを測る。東コーナーに接しては1.0×1.1mの不正な円形ピットが遺物を伴って検出されており、貯蔵穴と考えられる(P1)。また、南壁中央に接して1.55×1.80mの楕円形ピットが、やはり遺物を伴って検出されている。(P2、1、2、4、6、7、8、9、10、11、12、13)尚、このピットからは鉄製品が検出されている。

北壁中央付近と、東壁北コーナー付近の床面2ヶ所に焼土が認められたが、カマド、炉等とは考えられない。

遺物の出土はピットに伴うもの他はわずかであった。

### 11号住居址 (第5・46・47・48図)

南コーナーがわずかに10号住居址を切ってその北東に位置する。3.35×3.80mを測り、北及び東コーナーが張り出す不均整な台形を呈する。河川の氾濫のため壁高は17~27cmと低く、幅15~22cm、深さ7~10cmの壁溝が全周する。

柱穴は検出されなかったがカマドの向かって右、東コーナーに径70×85cmの楕円状の平面形態を持つ貯蔵穴が検出されており、深さは50cmを測る。

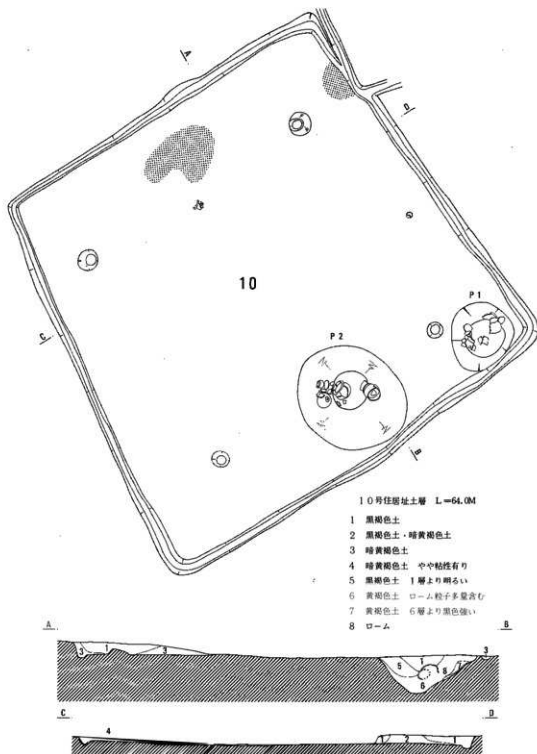
カマドは東壁中央に設けられており、軸は床面より25cmの高さで遺存するが、河川の氾濫による覆土のため不明瞭であり、検出時に左抽端部を削除してしまった。火床面は床面より3cmほどの高さにある。

遺物はカマドと貯蔵穴及びその周辺、北壁西寄りにまとも出土している。また、覆土中より有孔石製円板が検出されている。

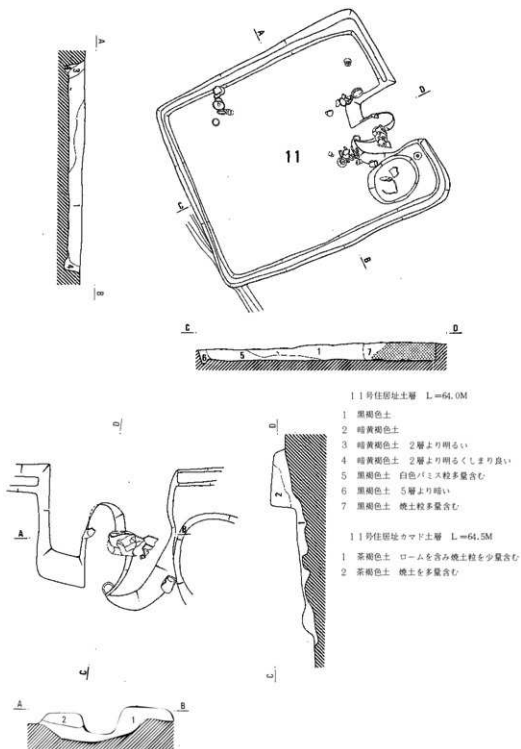
### 12・13・14号住居址 (第6・49・50図)

河川氾濫による粘質土上に構築されているため、何れの住居址も検出には苦慮し、14号住居址は13号住居址との床面差、わずか3~4cmで確認されている。

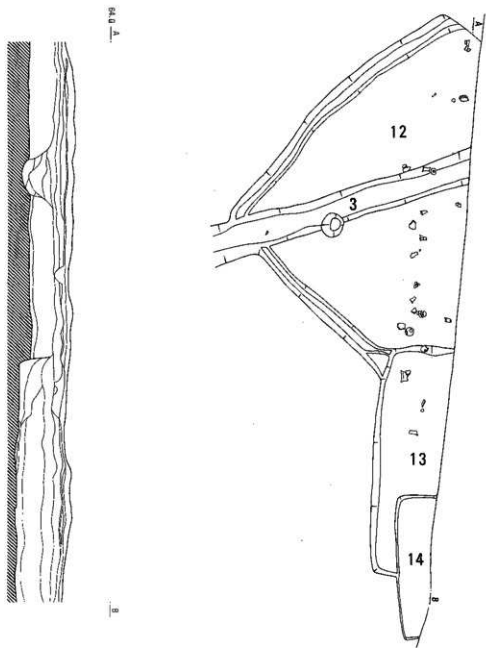
12号住居址は東半分が調査区域外にあり、南コーナー部分も13号住居址に切られているため全体の規模、形態等は不明である。壁高は北西壁で40cm、南西壁で15cmを測り、幅20~30cm、深さ4~8cmの壁溝が巡っている。13号住居址は、不明確ながら西壁で3.7mを測るのみで、大部分が調査区域外にあり詳細は不明であるが、壁高は西壁で30cm前後を測る。14号住居址もほと



第4図 夏目遺跡10号住居址



第5図 夏目遺跡11号住居址・カマド



第6図 夏目遺跡12・13・14号住居址



んどが調査区域外にあるため北西コーナーの一部が検出されただけである。

13、14号住居址からは柱穴、貯蔵穴等のピットは検出されていないが、12号住居址では西コーナー付近に径34×38cm、深さ37cmを測るピットが、3号溝に切られながらも認められている。カマドは、何れの住居址からも検出されず、遺物も破片がわずかにみられただけであった。

### 15・18・19号住居址（第7.51.52図）

これらの住居址の構築された区域は河川の氾濫の粘質土上であり、そのうえ、複合関係が特に複雑であるため、わずかな段差を追うことによって検出された。そのため、あくまでも多少の段差を図示したものである。

15号住居址は北コーナーが調査区域外に入っており完掘できなかったが、5.8×6.2mを測り、今回調査された中では比較的大形の住居址である。壁溝が全周すると考えられ、幅20～30cm、深さ8～11cmを測る。柱穴は対角線上を大きく外れて3ヶ所が検出されたが北コーナーでは確認できなかった。これらは不揃いで、径30～58cm、深さ50～65cmを測るが、このうち西コーナーに位置するものは床面下13cmに中段を有する。あるいは、これらのピットは柱穴ではないかも知れない。貯蔵穴はカマドの向かって右に位置し、調査区域境界にかかって検出され、径70×90cm、深さ70cmの垂んだ長楕円を呈する。カマドは北壁に設けられ床面より20cmの高さで袖が遺存し、火床面は10cmの高さにある。

18号住居址は東側が道跡下にあるため西コーナー部分が検出されたに過ぎない。壁高は、西壁で24cm、北壁で10cmを測るが不明確である。西壁には幅15cm、深さ5cmの壁溝が認められる。柱穴、貯蔵穴、カマド等は検出されていない。

19号住居址は15号住居址に切られているため不明確ではあるが、南壁で4mを測る。壁高は、25cm前後で、幅20～30cm、深さ7～13cmの壁溝が巡る。柱穴は検出されなかったがカマドの向かって右、南東コーナーから70×75cm、深さ70cmの不均衡な台形を呈する貯蔵穴が検出された。カマドは東壁に設けられ、床面上25～30cmの高さで袖が遺存する。

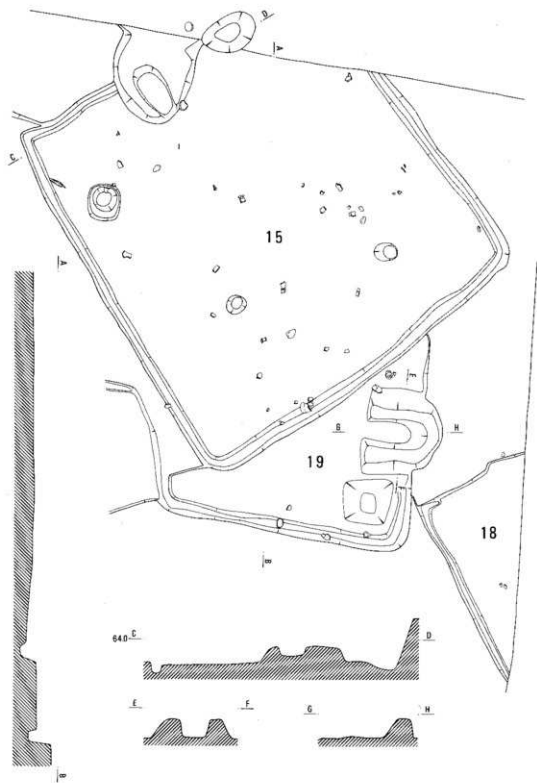
遺物の出土は、何れの住居址からも破片がわずかに検出されただけであるが、15号住居址からは、西壁の西コーナー寄りから炭化材が検出されている。

尚、15号住居址東北壁外から埴、埴各1が検出され、更に19号住居址東東部分から鉄線1が検出されている（第126図5）。これらから住居の存在も考えられたが、明確な遺構としてはとらえられなかった。

### 20・21号住居址（第8.53.54図）

20号住居址は南西コーナーと南壁の一部を検出したが、西側は21号住居址に切られている。壁高は4～7cmを測る。径30cm、深さ40cmの柱穴状のピットが検出されたが柱穴となるかは不明であり、また、住居址内を東西に走る幅15cm、深さ7cmの壁溝状遺構もこの住居址に伴っているか不明である。貯蔵穴、カマド等は検出されていない。

21号住居址は南北各コーナーの対角線東半分を検出したのみで、壁高は北東壁で17cm、南東壁

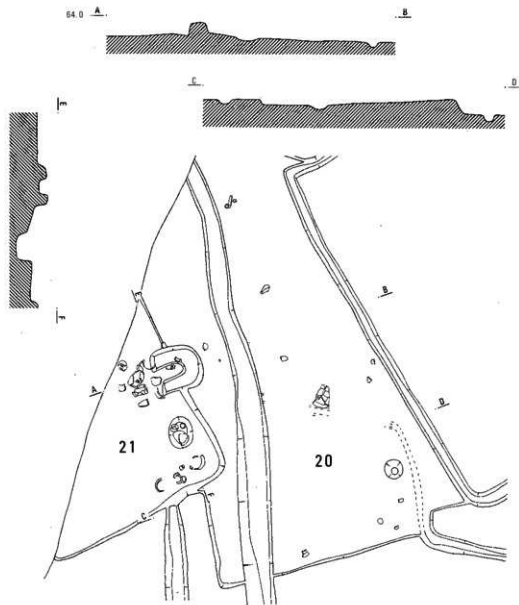


第7图 夏目遺跡15-18-19号住居址

で5cmと非常に低い。柱穴は検出されず、カマドの向かって右から径40×50cm、深さ20cmの楕円状の貯蔵穴が検出されている。カマドは東壁に設けられ袖高12～18cmで遺存する。

遺物は、20号住居址からは壁溝状遺構にかかり瓶が1個体、他に数点の破片が、21号住居址からはカマド及びその手前、貯蔵穴及びその南から、甕、坏が検出されている。

尚、20号住居址内を2号溝が、21号住居址内を1号溝がそれぞれ南北に走っている。



第8図 夏目遺跡20・21号住居址

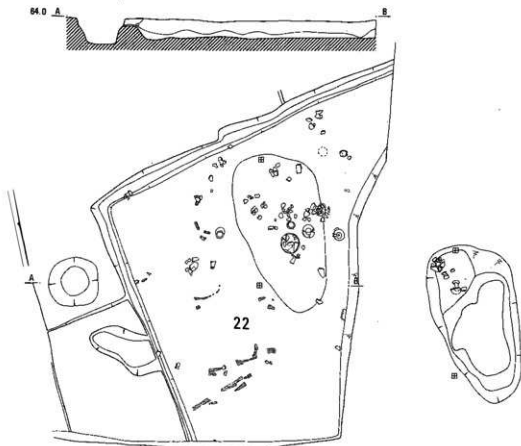
## 22号住居址 (第9.55.56図)

東と南が調査区域外にあり全体の規模、形態等は不明である。壁高は北壁東、西壁南で30cmを測り、幅12~30cm、深さ5cmの壁溝が巡る。

カマド、貯蔵穴、柱穴等は検出されず、北壁寄りに南北に長径を持つピットが検出されている。径1.4×2.6m、深さ65cm、北側の床面下約30cmにはほぼ平坦な中段を持つが、ここから高環等の遺物が検出されている(5・3・20)。このピットが当住居址に伴うものか、それ以前のものであるかは不明である。

遺物はピット内より出土の他、住居址中央より北寄りに甕、高環等が破片の状態で出土しており、また、西壁南寄り付近では炭化材が検出されている。覆土中からは口縁部に半截竹管文を有する縄文口縁部一点を検出した(第56図-21)。

尚、ピットの北東でほぼ完形に近い環が検出されたが、調査中に盗難に遭っている。



第9図 夏目遺跡22号住居址

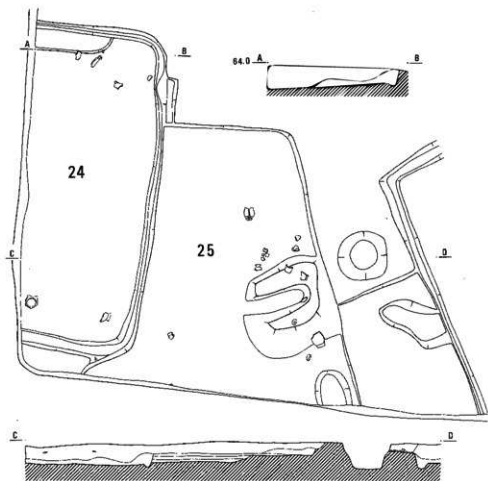
## 24・25号住居址 (第10・11・57・58図)

24号住居址西、25号住居址南は道路下にあり、また、これらの住居址は複合関係にあるため、全体の規模、形態等は不明である。

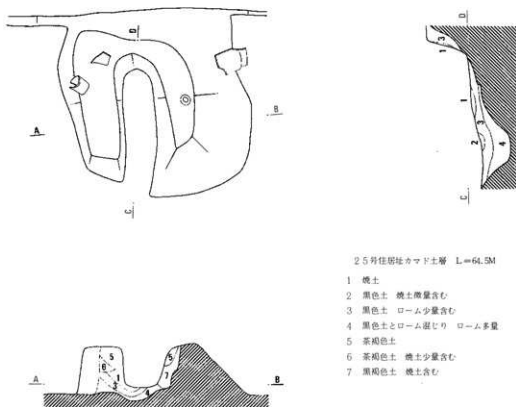
24号住居址は東壁の長さ5.2m、壁高は北壁で14cmを測り、幅10~25cmの壁溝が巡る。柱穴、貯蔵穴、カマド等は認められなかった。

25号住居址は東壁の南の壁高12cm、壁溝は認められない。カマドは東壁に設けられ袖高20~25cmを遺存する。火床部分はロームを深く掘りくぼめ、黒色土、ローム混じり土で充填している。カマドの向かって右に、道路にかかり、楕円を呈すると考えられるピットが検出されたが貯蔵穴となるかは不明である。他に柱穴等は検出されていない。

何れの住居址も遺物の出土は少なく、24号住居址北壁寄りと南壁寄り、25号住居址カマド周辺に破片で検出されただけである。



第10図 夏目遺跡24・25号住居址



第11図 夏目遺跡25号住居址カマド

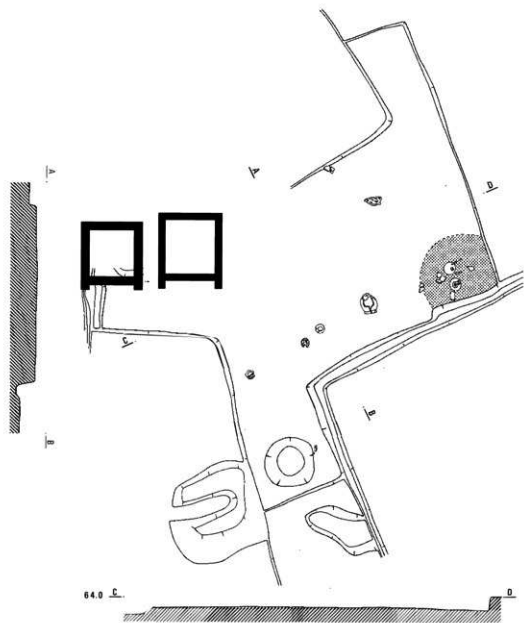
## 26号住居址 (第12・59・60図)

22、25、27号住居址と複合しており、東壁及び南壁と考えられる一部分が検出されているものの、不明確であり全体の規模、形態をとらえることはできない。複合している住居址の新旧関係は不明である。壁高は南壁10cm、東壁13～18cmと低く、壁溝は認められていない。

南壁に接して径85cm、深さ30cmの円形ピットが検出されている。22号住居址北側のピット内中段はこの住居址の貯蔵穴とも考えられる。

東壁南、22号住居址に接するあたりはカマド位置と考えられるが、壁高も12cmほどで非常に低く、周囲に焼土がみられるが不明確であり遺構としてはとらえがたい(網目)。この焼土の上ぼぼ中央に位置して2点の高坏が逆転の状態を検出され、その脚部内の土は焼けた状態であった。

遺物はカマド位置からの出土の他、その西側に甕1個体が押しつぶされたような状態で、また、埴、高坏等も同じような状態で出土している。焼土範囲北西、南壁ピット東からは炭化材が検出されている。



第12図 夏目遺跡26号住居址

## 27号住居址 (第13図)

5.0×5.2mの東コーナーがやや南へ張り出す正方形に近い形態を呈するが、北コーナー部分は28号住居址と複合しているため不明である。壁高は北壁では12cmを測り、壁溝は認められない。

柱穴と考えられるピットが4ヶ所、ほぼ対角線にかかる位置で検出されているが、そのうち北コーナーのものは28号住居址との複合部分より検出されており、位置、掘り込みの状態等から当住居址のものと考えられる。東コーナーには径60cm、深さ20cmのほぼ円形を呈するピットが、また西壁にも径40cm、深さ45cmのピットが検出されているが、時期は異なると考えられる。

東壁に一部焼土がみられたが遺構として明確にとらえることはできなかった。

遺物の出土は非常に少なく、ほとんどが破片で検出されている。

## 28号住居址 (第14・61図)

北壁が30号住居址と複合しているため不明であるが、一辺4.4mを測り、南西コーナーが若干張り出す正方形に近い形態を呈すると考えられる。壁は20～23cmの高さで、壁溝は幅10～18cm、深さ5cmほどを測り全周するものと考えられる。

柱穴はほぼ対角線上に位置して4ヶ所が検出され、径25～45cm、深さ35～50cmを測る。そのうち2ヶ所は30号住居址にかかって検出されている。

カマドの向かって右、南東コーナーに貯蔵穴があり、径55×60cm、深さ35cmで隅丸方形を呈し、西側よりゆるやかな落ち込み部分を有する。

カマドは軸高20cmを遺存している。床面上5cmに火床面があり、そこから支脚として使用されたと思われる甕下半部が逆転状態で検出され、さらにその下から同じ状態の甕が検出されている。またカマド右袖の壁と接するコーナーからは甕と甕が重なった状態で検出されている。

他に貯蔵穴西からは甕、甕口縁部等が出土している。カマド前方には棒状の自然石がみられた。

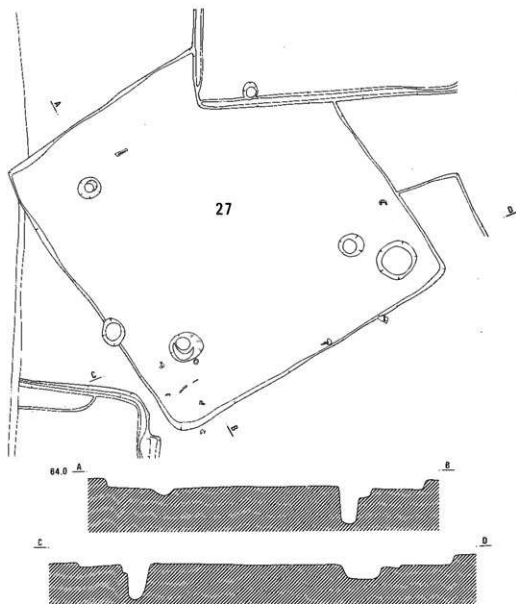
## 29号住居址 (第14・62図)

西側の大部分が道路下にあり不明確ではあるが、東壁5.1mを測る。壁高は18～27cmで壁溝は認められない。

カマドの向かって右、南東コーナーに径90cmを測る円形の貯蔵穴が検出され、甕等が破片で出土している。周辺からも坏、高坏等が検出されている。

東壁に設けられたカマドは軸高20cmで遺存し、火床面は床面上2～3cmを測る。甕、坏等が検出されている。カマド左側に棒状の自然石がみられた。





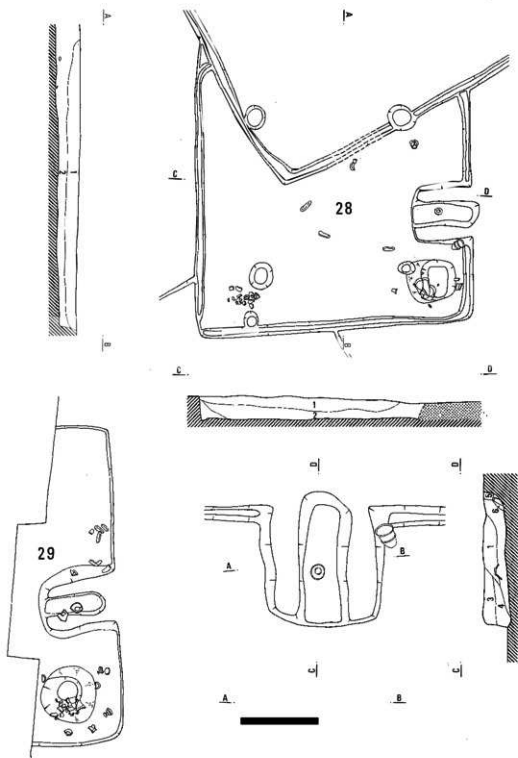
第13図 夏目遺跡27号住居址

28号住居址カマド土層 L=64.0M

- 1 暗黒褐色土 ローム粒子、焼土を含みしまり良い
- 2 黒褐色土 ローム、焼土微量含みしまり良い
- 3 黒灰色土 ローム、焼土微量含みしまり良い
- 4 黒灰色土 3層よりローム、焼土多量含みしまり良い
- 5 黄褐色土 ローム多量に含みしまり良い
- 6 黒色土 粘性有り
- 7 ロームと黒色土混じり、しまり良い

28号住居址土層 L=65.0M

- 1 暗褐色土 白色砂状のもの少量含む
- 2 暗褐色土 ロームブロック多量含む
- 3 褐色土 ローム粒子多量含む



第14図 夏目遺跡28・29号住居址・28号住居址カマド

### 30号住居址 (第15・63図)

一辺5.2mを測る正方形を呈し、南コーナーが28号住居址を切って構築されている。壁高23~30cmを測り、幅10~20cm、深さ6cmの壁溝が全周する。

柱穴は4ヶ所検出されており、東西柱穴は対角線上に、南北柱穴は対角線上東にやや外れて位置する。径は30cm前後でほぼ揃うが、深さは30~55cmである。他に南部に28号住居址のものと思われる柱穴が2ヶ所、西柱穴南には径50×35cm、深さ50cm、東壁北コーナー寄りには径55cm深さ25cmを測るピットがそれぞれ検出されている。

カマドの向かって左、西コーナーには貯蔵穴が検出されている。径1mの円形で床面下15cmまでならかな落ち込み部分がある。深さは55cmを測る。

北壁やや西寄りにカマドが設けられ、袖高15~30cmで遺存し、床面上5cmほどで火床となる。

遺物はカマド、貯蔵穴周辺から甕、坏等が出土した他、西壁南コーナー寄りのピット北からは石製の紡錘車が検出されている。また、南壁溝溝に接して棒状の自然石がみられた。

### 31号住居址 (第15・64図)

西側瓦が検出され西壁4.5mを測り、それに平行して住居址内を4号溝が切っている。壁高10~20cmと低く、幅20~25cm、深さ3~6cmの壁溝が巡る。

柱穴、貯蔵穴等のピット、カマド等の設備は検出されていない。

遺物は甕、坏が出土している。西コーナー付近壁溝上とその付近に棒状の自然石がみられる。

### 32号住居址 (第16・64図)

北西及び北東壁の一部が検出されているが、壁高18cmと低く不明確であり、壁溝は認められない。柱穴状ピットが2ヶ所検出され、径30cm、深さ40cmを測る。他に貯蔵穴、カマド等は検出されなかったが、34号住居址寄りに焼土ブロックが認められたが詳細は不明である。

30号住居址カマド寄りに甕1個体が検出された他、甕、埴、坏等が住居址内に散在した状態で出土しているが、複合関係が複雑な区域であるため、全てが当住居址に伴うものであるか不明である。

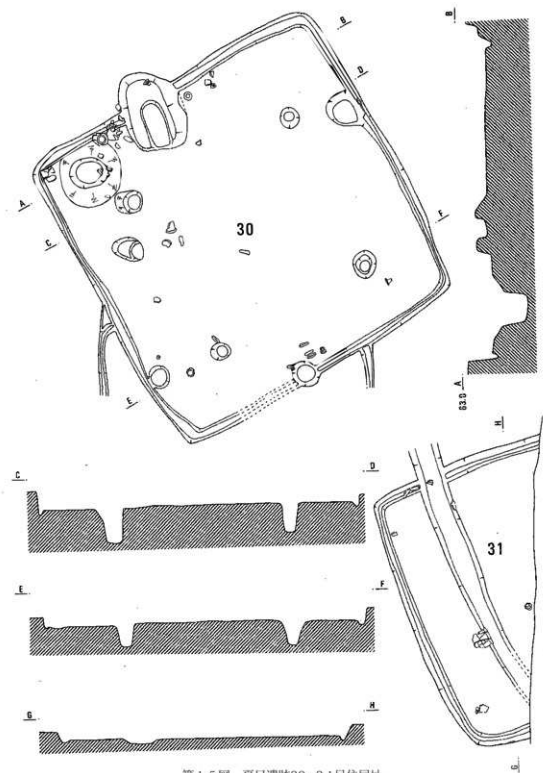
### 33号住居址 (第17・65・66図)

西側は道路下にあり、東瓦が検出されている。東壁の長さ7m、南東コーナーの壁高24mを測り不明瞭ながら幅10~20cm、深さ3~7cmの壁溝が巡る。

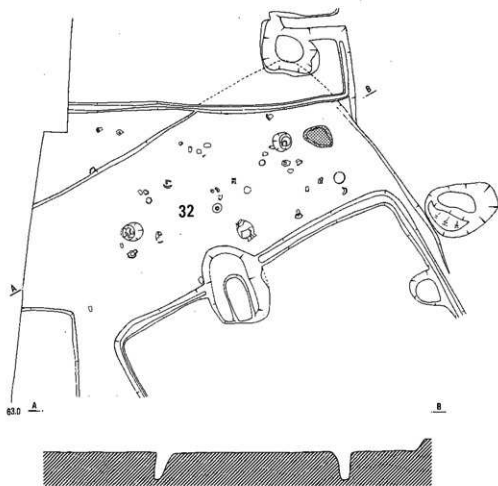
北東コーナー寄りに柱穴状ピットが1ヶ所検出され、径30×45cm、深さ40cmを測る。

カマドの向かって右、南東コーナーには、長径1.1m、深さ50cmを測る重なる円形の貯蔵穴が検出されており、北側を除く周囲三方を、幅5cm、深さ5cmほど掘り下げている。カマドの左から、一辺30~35cm、深さ15cmのピットが検出された他に、北東コーナーに接しては、一辺1.0~1.1m、深さ45cmの重なる方形を呈するピットが検出されている。

カマドは東壁南コーナー寄りに設けられており、袖高30cmで遺存する。



第15圖 夏目遺跡30・31号住居址



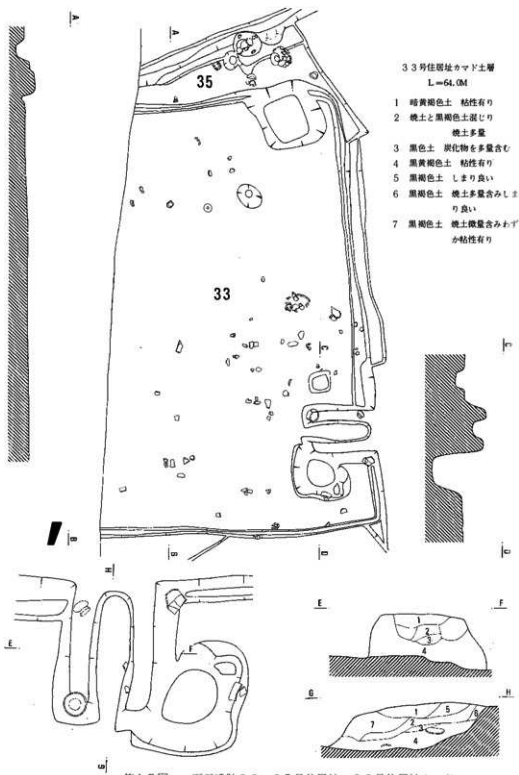
第16図 夏目遺跡32号住居址

遺物は、甕、瓶、埴、埴、環、高環等で、ほとんどが破片で検出されており、他に鉄滓1点が検出されている。

尚、調査の段階では33号住居址、34号住居址と区別したが、不明確なため同一住居址として扱った。

### 35号住居址 (第17・67図)

33号住居址の北に一部確認されているものの不明確であるが、遺物が比較的多く検出されているため、1個の住居址として把握したものである。



第17図 夏目遺跡33・35号住居址・33号住居址カマド

### 36号住居址 (第18・68図)

西コーナーと西壁一部が検出された以外は調査区域外にあり、規模、形態等は不明である。壁高40~47cmと比較的遺存状態は良いようである。壁溝が認められ、幅20~30cm、深さ4~9cmある。柱穴が1ヶ所検出され、径35×40cm、深さ42cmを測る。

遺物は壘底部、環等の破片、フラスコ型埴の口縁部等が出土している。

### 37・38号住居址 (第18・69・70・71図)

38号住居址は37号住居址の中に構築されており、西側は道路下にあるため、両住居址とも全体の規模、形態等不明である。

37号住居址は東壁の長さ6.3m、壁高は東壁30cm、北東コーナー付近では20cmを測る。東壁北半分から北東コーナー、北壁を幅15~20cm、深さ5cmの壁溝が巡る。コーナーに径1.15×0.95m、深さ45cm、床面下15cmに中段を持つピットが検出されている。その西には径25cm、深さ20cmのピットが検出された。カマドは検出されていない。

38号住居址は東壁の長さ4mを測り、壁高は37号住居址床面下18cmで、幅15~30cm、深さ3~6cmの壁溝が巡る。柱穴、貯蔵穴、カマド等は検出されなかった。

遺物は、37号住居址からは環、高環の破片が、38号住居址からは壘、環、高環、土鉢の他、炭化材が検出されている。

### 39号住居址 (第19・72図)

東側一部が検出されているが北東コーナーは40号住居址に切られ、規模、形態等は不明である。壁高は南東コーナー付近で35~40cmを測り、壁溝は認められない。

カマドの向かって右には径90cm、深さ56cm、西側に床面下35cmの中段を有する貯蔵穴状ピットが検出されている。柱穴は検出されなかった。

東壁南寄りに袖高10cmを遺存するカマドが検出されている。火床面からは壘底部が逆転の状態で見出されている。

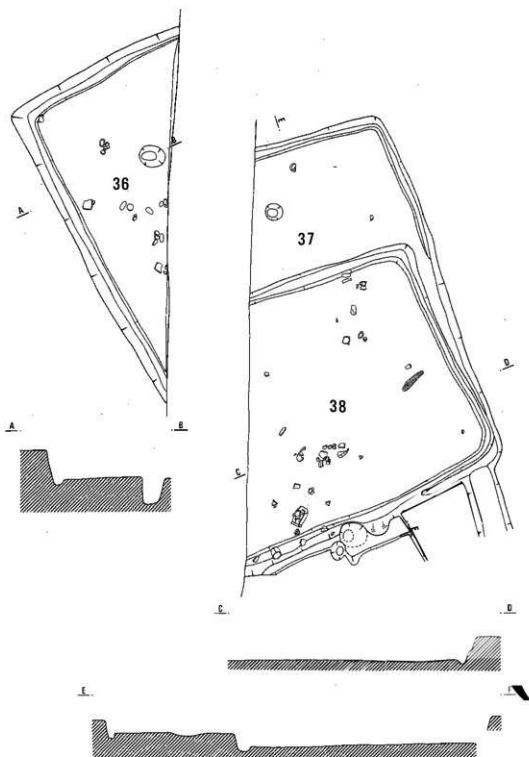
他に遺物は、北壁付近に壘、環等が破片で出土している。

### 40号住居址 (第19・73・74・75・76図)

5.1×5.2mのほぼ正方形を呈するが、南東コーナーを後世のものと思われる井戸状遺構が切っている。壁高は北壁で25cm、東、南壁で30cmを測り、幅20~25cm、深さ3~6cmを測る壁溝が全周している。

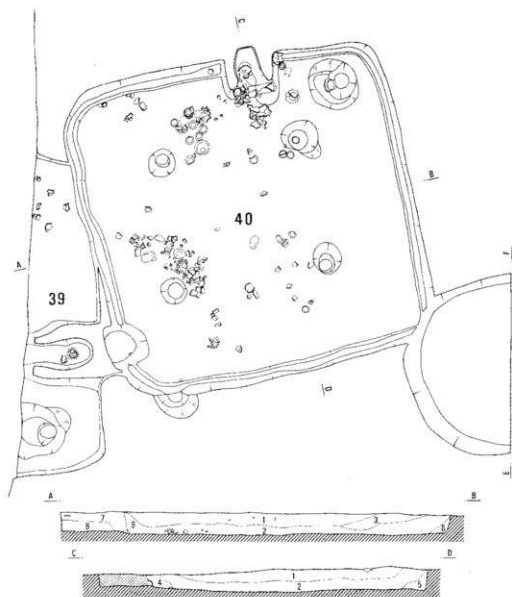
柱穴が4ヶ所検出されており、南西1ヶ所を除いて対角線上に位置する。径40~60cm、深さ25~50cmを測る。カマドの向かって右、北東コーナーに径80cm、深さ45cmの貯蔵穴が検出されており、床面下10cmに中段を有する。中からは壘口縁部が検出された。

北壁東寄りに設けられたカマドは袖高25cmを遺存する。火床及び焚き口付近から壘3点、瓶1点



第18圖 夏目遺跡36・37・38号住居址





39・40号住居址土層 L=53.0M

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック含む
- 3 黒褐色土 ロームブロック少量含む
- 4 黒褐色土 ロームブロック、焼土粒含む
- 5 黒褐色土 ロームブロック多量含む
- 6 黒褐色土 ローム粒多量含む
- 7 黒褐色土 やや固い
- 8 黒褐色土 やや明るくローム、焼土粒多量含む
- 9 ローム



第19図 夏目遺跡39・40号住居址

が検出されており、カマドの軸材として使用されたとされる。

遺物はカマド周辺の他、カマドの南西からは環がまとも出土し、また南西柱穴北側からもまとも出土がみられた。尚、住居内に角閃石安山岩が数点みられた。

#### 41・42号住居址 (第20・77図)

41、42号住居址東は調査区域外にあり、また複合関係にあるため全体の規模、形態等は不明である。

41号住居址は西壁の長さ3mを測り、壁高は17cmで壁溝は認められない。北壁東、調査区域境界にかり南北長1m、深さ36cmのビットが検出されたが、他に柱穴等は認められていない。

42号住居址で検出されたのは南西壁一部分と考えられるが不明確である。壁高は20～28cm、壁溝は認められていない。柱穴、貯蔵穴等のビットは検出されなかった。

調査区域境界にかり、42号住居址寄りにカマド跡と思われる焼土がみられた。

遺物の出土は何れの住居址からも少量で、鉢、瓿、環等が検出されているものの、複合関係が不明確なため必ずしもその住居址に伴ったものとは考えられない。

尚、41号住居址から角閃石安山岩が検出されている。

#### 43・44号住居址 (第20・78図)

43号住居址は大平が道路下にあるため南東コーナーと南壁一部分が検出されたに過ぎない。壁高5～15cmと非常に浅く、壁溝は認められない。西側道路下にかり深さ12cmを測るビットが検出されているが詳細は不明である。その東には、径25×30cm、深さ18cmほどの柱穴状ビットが認められた。

44号住居址は北側が道路下、東側が調査区域外にあるため南西コーナーと南壁一部が検出されたに過ぎない。壁高は24cmを測り、不明瞭ではあるが幅20cm前後、深さ4cmほどの壁溝が巡っているが、南壁東部分は壁溝の状態からみると掘り過ぎであるかとも思われる。柱穴、貯蔵穴等のビット、カマド等の設備は検出されなかった。

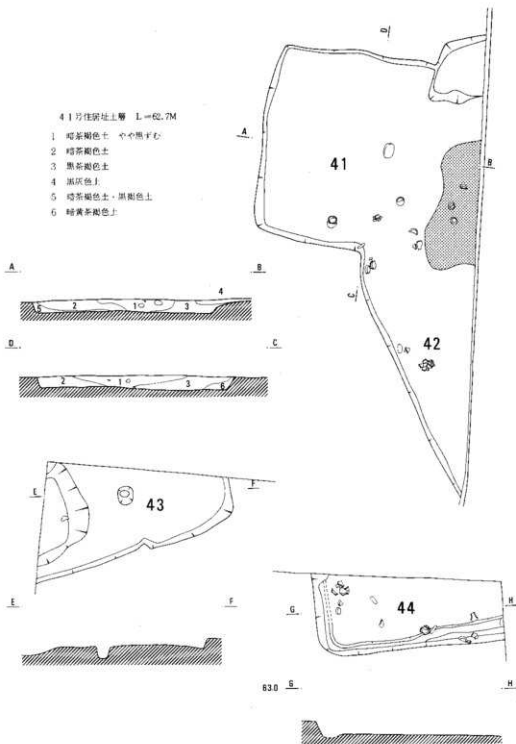
遺物の出土は何れの住居址からも少なく、43号住居址からは破片が一点、44号住居址からは甕、環等が数点検出されたがほとんどが破片の状態であった。

#### 45・46号住居址 (第21・79・80図)

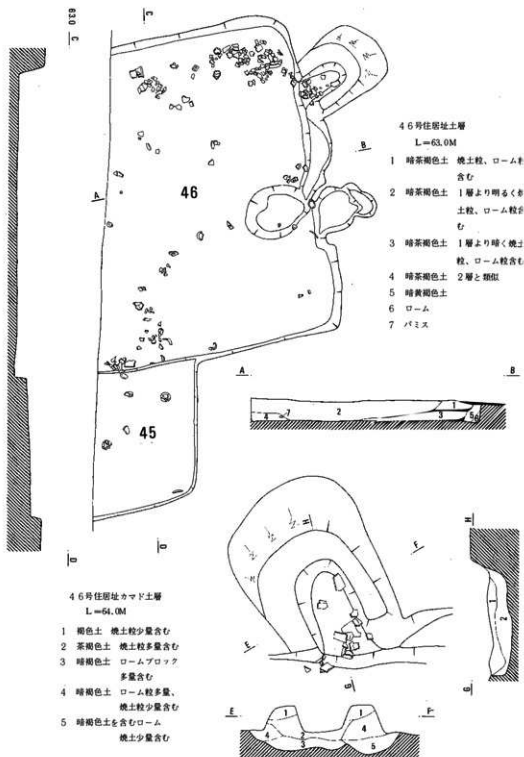
何れの住居址も西側は道路下であり、また複合関係にもあるため全体を把握することができなかった。実測図では不明瞭であるが、45号住居址は46号住居址より後に構築されたと考えられ、床面段差は20cmである。

45号住居址は南東コーナーが検出されただけで壁高は南壁17cmと低く、壁溝、柱穴、貯蔵穴、カマド等は検出されていない。

46号住居址は、東壁の長さ5.2mを測り、壁高は40cm前後を測るが壁溝は認められない。柱穴は認められず、東壁南寄りには径1.0～0.8m、深さ12cmを測るビットが検出されている。



第20图 夏目遺跡41・42・43・44号住居址



第21図 夏目遺跡45・46号住居址・46号住居址カマド

東壁にはカマド及びカマドと考えられる遺構が2ヶ所並んで検出されている。北に位置するものは、袖は50cmの高さで遺存し、火床は床面上25cmを測るが、南に位置するものは破損が著しく、カマドであろうと推定されるものの詳細を掴むことはできなかった。

出土した遺物は、45・46号住居址とも甕、坏が主で、46号住居址カマド及びその周辺と北東コーナーにまとまって出土している。南壁西寄りにまとまって検出された遺物は出土レベル等の状況から、45号住居址のものも含まれると考えられる。尚、46号住居址からは鉄製品が1点検出された。

#### 47号住居址 (第22・23・81図)

西側が道路下にかかって検出されており、東の48号住居址を切って構築されているため、規模、形態等不明である。壁高は26～29cmを測り、壁溝は認められない。

柱穴、貯蔵穴等は確認されていないが、カマドは東壁南寄りに48号住居址覆土中に構築されている。袖高30～47cmを遺存するこのカマドの高袖には甕が逆転の状態で検出されており、軸材として使用されたようである。火床は床面上7～8cmを測る。

遺物は甕、坏等が破片で出土した他、須恵器長頸壺口縁部が検出されている。

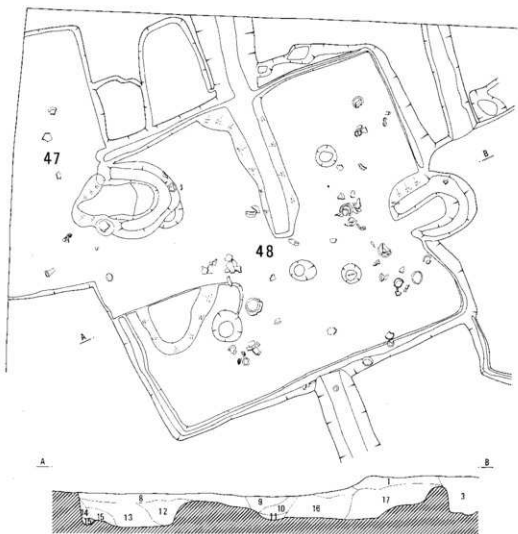
#### 48号住居址 (第22・82図)

4.9×5.8mの長方形を呈するが西コーナーは47号住居址に切られている。また、南壁と北壁それぞれのほぼ中央を切るように6号溝が走っている。壁高は38～45cmを測り、幅10～30cm、深さ4～8cmの壁溝が全周する。

柱穴はほぼ対角線上に位置して4ヶ所が検出されている。径30～50cm、深さ37～45cmを測る。他に住居址中央付近に柱穴状ピットが1ヶ所検出されている。南柱穴付近には不整形な落ち込みがみられる。

東壁やや南寄りの49号住居址覆土中にカマドが設けられており、袖高20～35cmを遺存する。

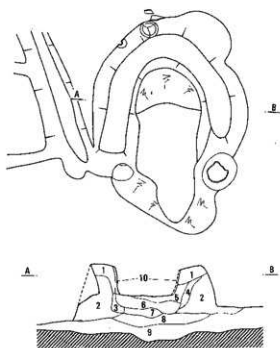
遺物は甕、坏等が住居址全体に散乱した状態で検出されているが、床直上のは少なくほとんどが覆土中からであった。他に、北東柱穴南から耳環が、カマドの向かって左袖先端部分と南東柱穴上ほぼ床面と同レベルの2ヶ所からは刀子が検出されている。



48・49号住居跡上層 L=63.0M

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1 暗黄褐色土                | 10 黒灰色土 ローム 焼土ブロック含む    |
| 2 暗黄褐色土                | 11 黒灰色土 ロームブロック含む       |
| 3 暗茶褐色土 7万溝            | 12 暗茶褐色土 8層より明るく焼土粒微量含む |
| 4 黒灰褐色土                | 13 暗茶褐色土 ローム粒子含む        |
| 5 暗黄褐色土 ロームブロック含む      | 14 ロームブロック              |
| 6 暗黄褐色土 5層よりロームブロック細かい | 15 暗茶褐色土 黒色強い           |
| 7 暗黄褐色土・黒灰色土           | 16 暗黄褐色土 やや明るい          |
| 8 暗茶褐色土                | 17 暗黄褐色土 焼土粒多量含む        |
| 9 黒灰色土 6万溝             |                         |

第22図 夏目遺跡47・48号住居跡



47号住居址カマド土層 L=62.5M

- 1 粘土
- 2 暗褐色土 やや軟弱
- 3 茶褐色土 しまり良い
- 4 暗茶褐色土 しまり良い
- 5 黒褐色土 焼土を微量含む 軟弱
- 6 黒色土 焼土ブロック含む
- 7 黒色土 焼土微量含む
- 8 暗褐色土 2層より明るい ロームブロック含む しまり良い
- 9 黒色土 ローム含む ややしり良い
- 10 焼土

第23図 夏目遺跡47号住居址カマド

#### 49号住居址 (第24・83図)

西側は48号住居址と7号溝に切られ、東コーナーは調査区域外にある。東壁は8号溝を切ると思われるが壁高低く不明確である。壁高は南壁で27cm、北壁では22cmを測り、南壁から南コーナーにかけては幅15~20cm、深さ3cmを測る壁溝が巡っている。

柱穴、貯蔵穴等は検出されなかった。

東壁には調査区域外にかかり、カマド様の高まりが検出されたがカマドとなるか詳細は不明である。ここからは甕の破片が検出されている。他に住居址東寄りから、坏、埴等が破片で出土している。

北壁にかかる円形の破線は、近時の擾乱である。

#### 50・51号住居址 (第25・26・84・85・86図)

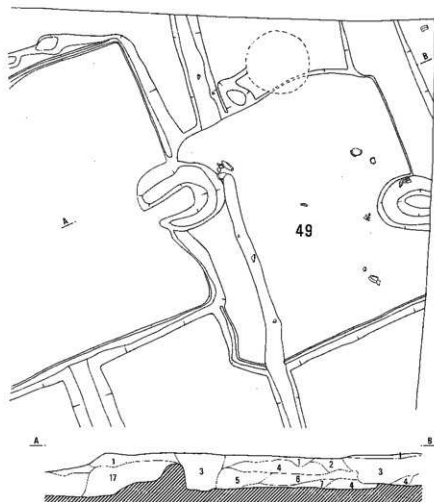
50・51号住居址は複合関係にあり、何れも西側が調査区域外にある。

50号住居址は南西コーナー部分が検出されただけで、壁高は南壁で25cmを測り、壁溝は認められない。カマドの向かって右に貯蔵穴が検出され、径0.7×1.1m、深さ30cm、南側に床面下20cmの中段を有する。中からは高環脚部が検出されている。東壁に設けられたカマドは袖高30cmを測る。

51号住居址は東朽が検出されており、東壁7mを測る比較的大形の住居址と考えられる。壁高は南壁30cm、北壁20cmを測る。壁溝は認められない。柱穴は南北コーナーの2ヶ所で検出され、径

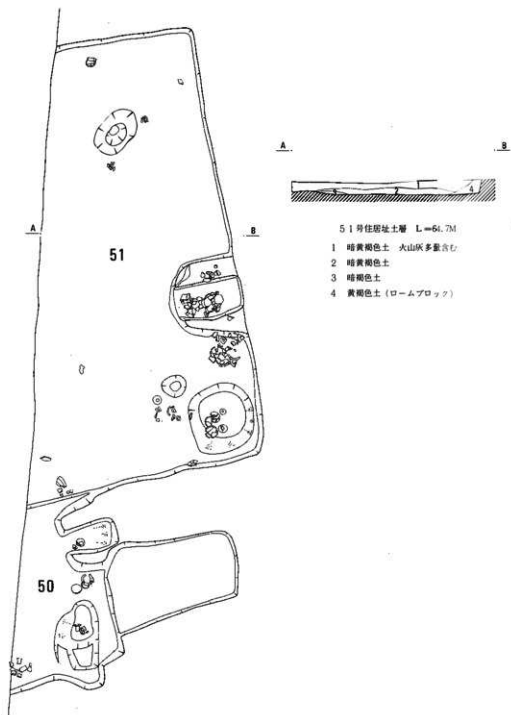
40～80cm、深さ40cmを測る。カマドの向かって右、南コーナーには貯蔵穴があり、径1.1×1.2mの歪んだ円形を呈する。東壁南寄りにカマドが設けられており、袖高25～30cmで遺存する。火床面は床面上10cmを測る。

遺物の出土は50号住居址では、貯蔵穴から高環脚部、カマド火床面から甕底部が逆転状態で検出された他、甕口縁部、坏等が検出されている。51号住居址では、貯蔵穴から高環、坏等が数点、カマド火床面から甕、甕底部、暗文を施した高環、子持ら壺等が検出され、また、カマド右袖壁部、貯蔵穴西からも一部出土しているが、カマドの南西、床面上10cmからは鉄滓が検出されている。

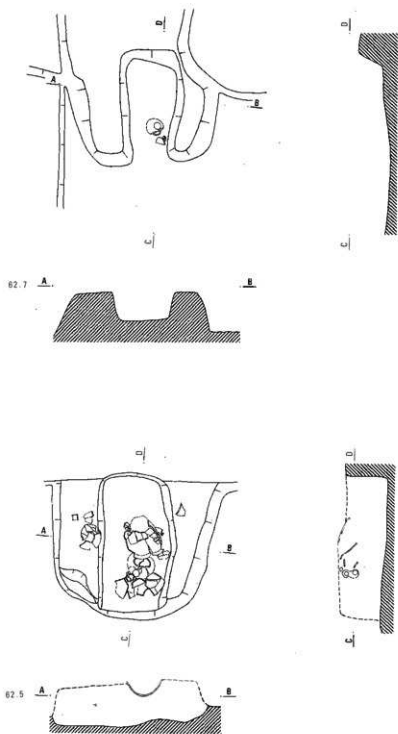


第24図 夏目遺跡49号住居址





第25図 夏目遺跡50・51号住居址



第26図 夏目遺跡50号住居址カマド・51号住居址カマド

## 52・53・54号住居址 (第27・87～91図)

これらの住居址は複合関係が複雑であり、そのため何れも規模、形態等は不明確である。

52号住居址は北側を53号住居址に切られ、南坪、北東コーナーが検出されている。壁高は南壁で38cmを測るが東壁北では10cmと低くなっている。西壁と南壁には幅15～30cmの壁溝が巡る。柱穴は径30～35cmのものが3ヶ所検出されている。カマドは東壁南コーナー寄りに設けられ、その向かって右、南東コーナーに接して径0.55×1.0mをもつ長楕円の貯蔵穴が検出されている。

53号住居址は東西4.5mを測り、壁高は西壁で20cm、壁溝は認められない。柱穴も認められずカマドの向かって右に、径60×70cmの円形の貯蔵穴が検出され、中からは環が出土している。カマドは東壁南寄りに位置すると考えられるが、軸高はわずかに7cmを遺存するのみであった。

54号住居址は52・53号住居址に切られており、北東コーナーと北壁一部が検出された。壁高20～26cmで壁溝は認められない。柱穴、貯蔵穴等のピットやカマドは検出されていない。

遺物は52号住居址では環が多く住居址全体に散乱した状態で検出されており、南壁近くでは床面直上からの出土がみられた。また南壁西コーナー付近からは鉄製品が検出され、わずかではあるが須恵器の破片もみられた。53号住居址からはカマド及び貯蔵穴寄りに破片で出土し、また南西コーナーから3点、住居址中央より北東コーナー寄りから1点、計4点の土玉が検出されている。他に石製品が2点検出されている。54号住居址では環が主であるが須恵器の破片も数点出土しており、また鉄製品も3点検出されている。(第91図-24・25・26)

尚、これらの住居址の新旧関係は、54・52・53号住居址の順に構築されたと思われる。

## 55号住居址 (第28・92図)

東側は道路下であり、西側の一部だけが検出された。壁高は26～35cmを測り、壁溝は認められない。西壁に接して2ヶ所の長方形ピットが検出されている。北のピットは85×55cm、深さ12cm、南のピットは125×70cm、深さ10cmを測る。

遺物の出土はみられなかったが、その後、工事に伴う立ち会い調査により、甕3点、環2点、須恵器環1点、須恵器蓋1点が検出された。

## 56号住居址 (第28・93図)

西側は調査区域外にあり、南東部は53号住居址に、北は11号住居址に切られているため全体の規模、形態等は不明である。壁高は東壁で20cmを測り、壁溝は認められない。柱穴状ピットが7ヶ所検出されているが柱穴となるかは不明である。径20～50cm、深さ15～26cmを測る。他に貯蔵穴、カマド等は検出されていない。

遺物の出土量は多くないが、壺、高環、埴、塔の他、土玉が3点検出されている。

### 57号址 (第27図)

大部分が道路下にあるため北東コーナーと北壁一部が検出されたに過ぎなかった。壁高は27cmを測るが遺物等は検出されず、はたして住居址になるかは不明である。

### 58号住居址 (第29・30・94・95図)

東コーナーは道路下にあり不明であるが、 $3.8 \times 4.2$ mの方形の平面形態を呈する住居址である。壁高40~50cmで、幅15~30cm、深さ5~8cmの壁溝が巡っている。

カマドの向かって右に径50×75cmを測る貯蔵穴状ピットが検出されたが、他に柱穴等は認められなかった。

北東壁のほぼ中央に位置してカマドが設けられているが、袖は検出の際誤って削除してしまった。煙道の形態から袖は比較的短いものと考えられる。このカマドの構築は、ほぼ長方形にロームを掘り下げ褐色粘土を充填して煙道を構成したものである。

遺物は南西壁寄りに破片で出土しているがわずかである。住居址周囲の西から南にかけてなだらかな凹状の落ち込みがあり、その中から高環、埴等が破片で検出され住居址内のものと接合関係がある。

### 59号住居址 (第31・96図)

住居址西は調査区域外にあり、9号溝に切られている。南東壁高30cmを測るが、全体の規模、形態等は不明である。壁溝は認められなかった。

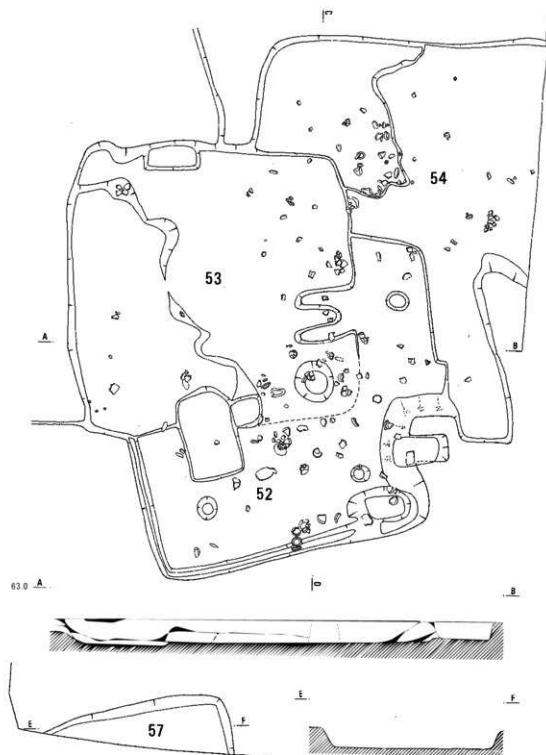
柱穴は検出されず、カマドの向かって右、東コーナーには貯蔵穴が検出され、径0.9×1.1mを測り、中からは埴が数点検出されている。

北東壁の東コーナーに接するあたりにカマドが設けられており、右袖からは甕が逆転状態で、また火床面からは完形の甕、埴が検出されている。

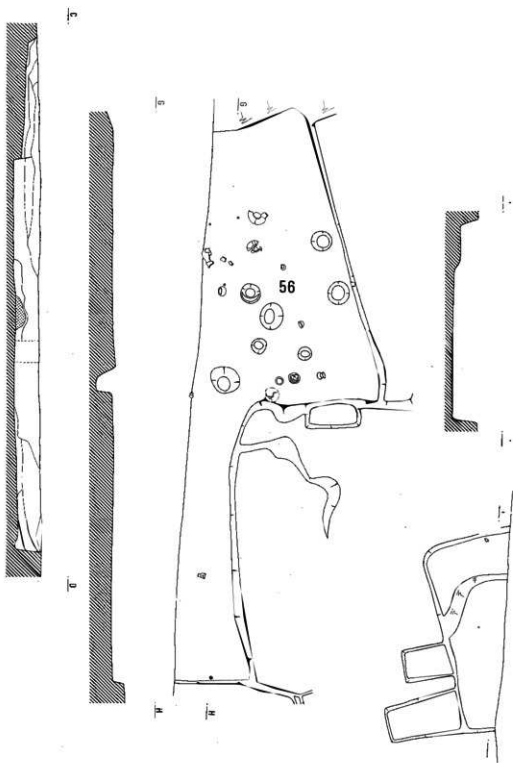
遺物は他に貯蔵穴西から甕、南西壁寄りと南コーナーからは埴が検出されている。

### 60号住居址 (第31・96図)

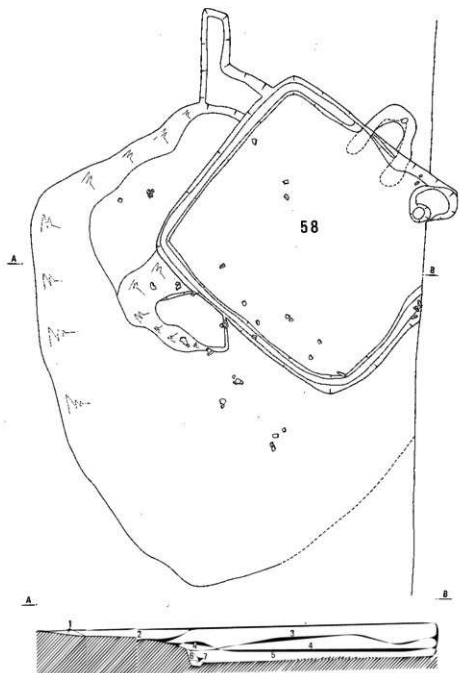
東コーナー部分が検出されたのみで、壁高は45~55cmを測る。鉢、高環等の遺物が破片で数点出土している。遺物の水洗作業中にガラス球が検出された。その後、昭和58年11月、この住居址の西部分の調査が実施され、南東壁5.1mの長さを測り、柱穴を持たない事が判明した。カマド及び貯蔵穴は北壁に存在すると考えられるが隣地に入っているため未調査である。その調査の際にも遺物の出土量は少なかったが覆土中から約4kgの鉄滓及びチップ、石製白玉類が検出された。但し、この住居が鍛冶遺構とは考えられない。(『本市埋蔵文化財調査報告第6基本住居跡群発掘調査報告書-夏目遺跡・三奈山古墳・三奈山7号墳-』を参照されたい。)



第27図 夏目遺跡52・53・54・57号住居址



第28図 夏目遺跡55・56号住居址

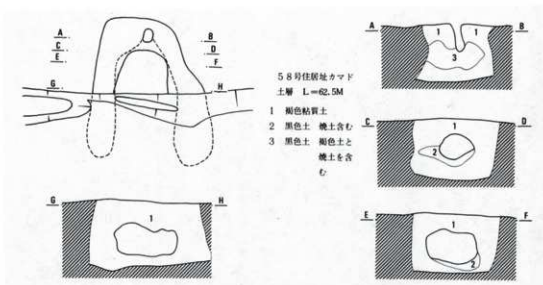


58号住居址土層 L=63.0M

- 1 黄褐色土 ローム
- 2 黄褐色土 ロームブロック含む
- 3 黄褐色土
- 4 暗黄褐色土 やや明るい

- 5 暗黄褐色土 ロームブロック少量含む
- 6 黄褐色土 3層組似
- 7 暗黄褐色粘質土

第29図 夏目遺跡58号住居址



第30図 夏目遺跡58号住居址カマド

## 61号住居址 (第31・97~100図)

一辺4.7mを測る若干歪んだ方形を呈する。壁高13~19cmを測り、幅15~20cm、深さ5cmの壁溝が全周している。

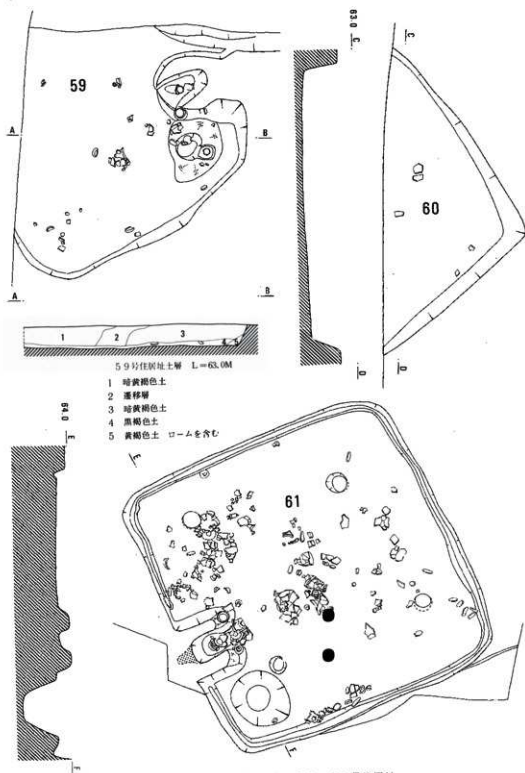
柱穴は4ヶ所が検出され、南北のピットは対角線上に、東西のピットは対角線を北に外れて位置する。径40~50cm、深さは32~45cmを測る。

カマドの向かって左、南コーナーには径0.85×1.0m、深さ53cmを測る貯蔵穴が検出されている。

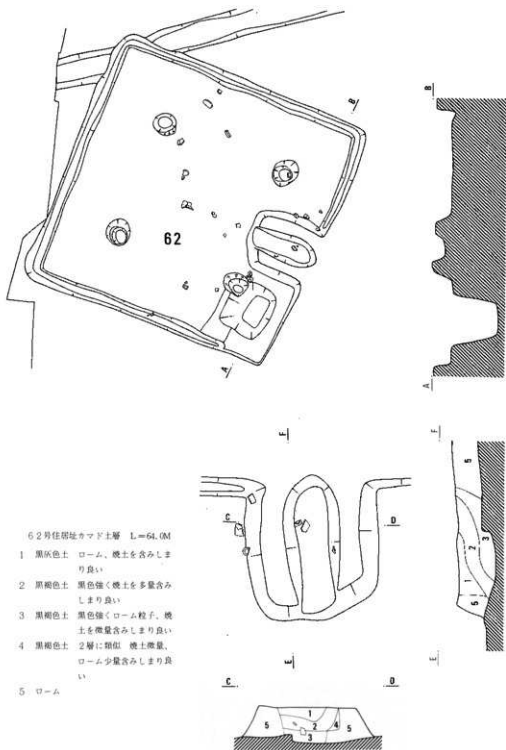
カマドは西壁や南寄りに設けられ、袖高14~22cmを遺存する。両袖には妻が軸材として使用されている。床面上3~4cmを測る火床面からは支脚として利用されていたと思われる高環が逆転して検出された。

遺物の出土は比較的多く、カマド北側、住居址中央部、南壁溝沿いに特にまとまってみられた。他に、角閃石安山岩製の環状石製品、剣形石製模造品が検出され、また、東コーナー北寄り、南壁、北柱穴、カマド右、壁溝に接した各部分から棒状の自然石が検出されている。





第31図 夏目遺跡59・60・61号住居址



第32図 夏目遺跡62号住居址・カマド

## 62号住居址 (第32・101図)

4.2×4.2mの整った正方形を呈する。壁高は20～25cmを測り、幅15～20cm、深さ4cmの壁溝が南コーナーを除いて巡っている。

柱穴はほぼ対角線上に位置して4ヶ所が検出されている。径35～40cm、深さ32～45cmを測る。カマドの向かって右、南コーナーには65×85cmの方形に近い形態を持つ貯蔵穴が検出され、深さは75cmを測る。

カマドは東壁ほぼ中央に設けられており、袖高23cmで遺存する。火床面は床面上10cmを測る。遺物は少なく、甕、坏等が破片で検出されている。

尚、北コーナーは20号溝に切られている。

## 63・64号住居址 (第33・102・103・104図)

63号住居址の北コーナーが64号住居址南壁及び南西コーナーを切って構築されている。63号住居址は4.2×4.4mの西コーナーが張り出す菱形を呈し、壁高は20～35cm、幅15～20cm、深さ4～6cmの壁溝が貯蔵穴北側を除いて全周している。柱穴はほぼ対角線上に4ヶ所検出され径25～50cm、深さ23～40cmを測る。カマドの向かって右には貯蔵穴が検出されており、径0.9×1.2mを測る。床面下12cmの深さまでなだらかに落ち込み、20cmほどで底になる。カマドは東壁やや南寄りに設けられており、袖高15～20cmを遺存する。

64号住居址は検出された北壁、東壁から、4.8×4.7mの正方形に近い形態を持つと考えられ、壁高は東西壁で25～30cm、北壁では30～35cmを測る。壁溝は幅20～25cm、深さ4cmのものが巡っている。柱穴は北東、北西2ヶ所が検出され、径40cm、深さ38～46cmを測る。北東柱穴内に1ヶ所、深さ9cmほどのピットが検出されている。カマドの向かって右に貯蔵穴が検出され、70×80cmの方形に近い形態を示すが、周囲に床面下5～10cmほどのなだらかな落ち込み部分を持つ。カマドは東壁中央に検出されており、袖高は40cmを測る。火床面は床面上4～5cmほどの高さである。

遺物は63号住居址では甕、坏、高坏等が破片で出土した他、土錘が3点、北コーナー、貯蔵穴西等から検出されている。また、64号住居址でもカマド周辺、北西柱穴周辺から破片が出土しているが、カマド釜き口付近から小形甕、貯蔵穴周囲から重なった状態の壺と飯、坏、大形甕等が検出されまた、土製の支脚も北西柱穴東から検出されている。

63・64号住居址土壁 L=64.0M

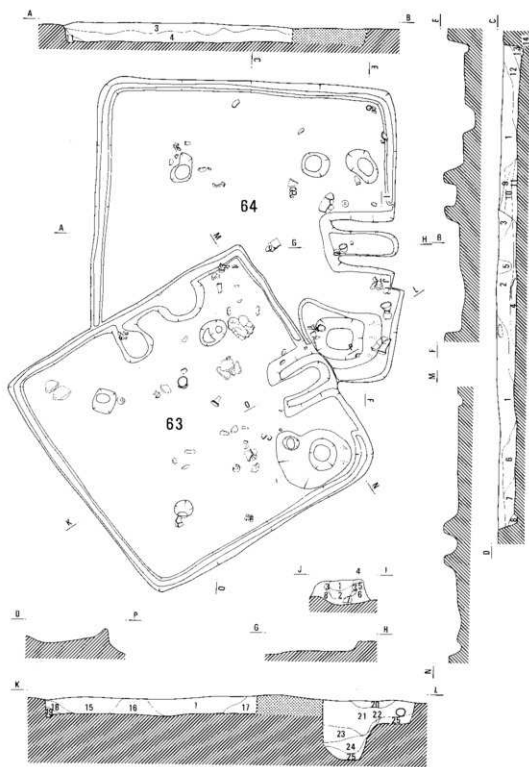
1 黒灰色土	12 黒灰褐色土・黄褐色土
2 黒灰褐色土 ローム状、焼土粒含む	13 暗黄褐色土
3 黒灰褐色土 焼土粒多量含む	14 暗黄褐色土 少量の黒色粒含む
4 黄褐色土	15 黒灰褐色土 パリス粒含む
5 黒灰褐色土 パリス粒多量含む	16 黒灰褐色土 少量の黒色粒含む
6 黒灰褐色土 灰色強くパリス粒多量含む	17 黄褐色土、ローム、焼土混じり
7 黒灰褐色土 焼土、ローム粒含む	18 黄褐色土
8 暗褐色粘質土・黒灰褐色土	19 暗褐色ローム質粘土
9 黄褐色土 ローム粒多量含む	20 焼土粒、ローム粒
10 黄褐色土 少量の焼土	21 黒灰褐色土 焼土粒多量含む
11 黄褐色土	22 黄褐色土
	23 黄褐色土・黄褐色土

24 黄褐色粘質土アロップ

25 黄褐色粘質土アロップ 24層より下層

64号住居址カマド土壁 L=64.0M

1 黒灰褐色土 ローム粒多量、焼土を微量含む混じり
2 黄褐色土 焼土多量込み非常に固くする
3 暗黄褐色土 焼土多量込み非常に固く
4 黄褐色土 火山灰を多量含む
5 黄褐色土 焼土少量込み固くする
6 黒灰褐色土 粘質有り
7 黄褐色土 粘質有り



第33图 夏目遺跡63・64号住居址

### 65号住居址 (第34・105~109図)

住居址の北側を18号溝が切っているが浅いため、住居の損傷はほとんどみられない。5.0×5.2mの重んだ方形を呈し、壁高43~53cmを測り、幅20~30cm、深さ5~10cmの壁溝が全周する。

柱穴はほぼ対角線上に位置して4ヶ所が検出されている。径25~30cm、深さ36~40cmとほぼ揃う。南壁東寄りに接して径75×85cm、深さ80cmを測る重んだ円形の貯蔵穴が検出された。

カマドは東壁南寄りに設けられ、袖高40cmを遺存する。床面上15cmを測る火床からは逆転した高坏が検出されている。支脚として使用されたと思われる。

遺物は比較的多く、貯蔵穴周辺、南西コーナー、北西コーナー付近にややまとまって出土しているが、カマド北からは土錘、カマド前方からは手捏ね土器が検出されている。

### 66号住居址 (第34・110図)

東側が道路下であり、一部が検出されたに過ぎない。西壁で4.7mを測り、壁高25~44cm、壁溝は認められない。東西に走る18号溝に切られているが非常に浅い。

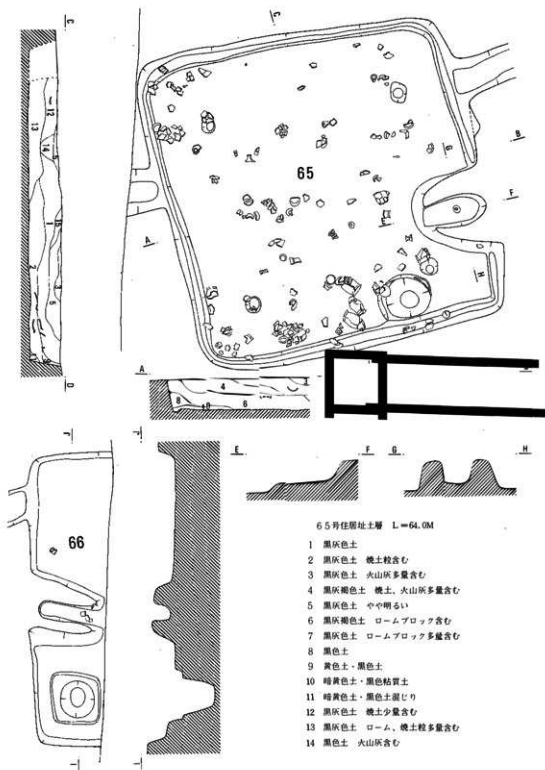
カマドの向かって左には貯蔵穴があり、一辺70~80cmの台形状に床面より10cmほど掘り下げさらにその中を径60cm、床面下65cmの円形に掘っている。

西壁に設けられたカマドは袖高20~30cmを遺存する。火床焼き口付近及び右袖から小形の甕が破片で出土した他、住居址北側から甕、碗、埴等も破片で検出されている。

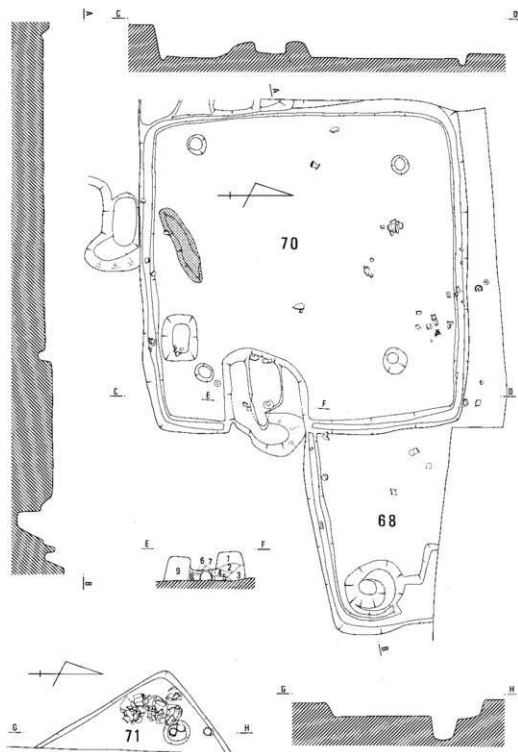
### 68号住居址 (第35・111図)

北側は道路下であり、南西は70号住居址に切られているために南東コーナー部分が検出されただけで、規模、形態等は不明である。壁高は20~30cm、南壁からコーナーにかけては幅20~30cm、深さ7~10cmの壁溝が走る。コーナーには径0.8×1.0m、深さ55cmの重んだ円形ピットが検出されている。複合する70号住居址との床面段差は10cmほどである。

出土遺物は少なく、甕、坏、埴等が検出されているが、おそらく、70号住居址北側の若干の遺物も当住居址のものであろう。



第34図 夏目遺跡65・66号住居址



第35图 夏目遺跡68・70・71号住居址

## 69号住居址 (第36・112~114図)

住居の西半分は調査区域外にあり、北は70号住居址に切られており、南東コーナー部分が検出されたに過ぎない。壁高は南壁30cm、東壁37cmを測り、壁溝は幅15~20cm、深さ4~7cmのものが巡っている。

柱穴は1ヶ所検出され、径30×45cm、深さ40cmで、コーナーに接しては65×75cm、深さ45cmの方形の貯蔵穴が検出されている。

カマドは東壁に設けられており、北側に深さ15cmほどの長楕円形ピットが検出されているが後世のものと思われる。火床面は床面上5cmにあり、そこからは甕、高環等が検出されているが、支脚として使用されたと考えられる高環の下からは、さらに高環が検出されている。

遺物は比較的多く、カマド、貯蔵穴周辺、カマド西にまともって、甕、塊、環、高環等が出土しており、また、調査区域境界寄りからは須恵器跡が、調査区域外からは土師器跡が出土している。

## 70号住居址 (第35・115図)

5.2×5.3mの正方形に近い形態を呈する。壁高は南東コーナーで45~55cmを測り、壁溝は幅20~30cm、深さ6~10cmを測り全周する。

柱穴は4ヶ所が検出され、南西柱穴を除き対角線上に位置する。径30~40cm、深さ35~50cmを測る。南壁東寄りに接して75×55cm、深さ68cmの方形の貯蔵穴が検出され、中から環が出土している。

また、貯蔵穴の西には長さ1.3m、幅30cm、高さ25cmの焼土のたかまりがみられた。

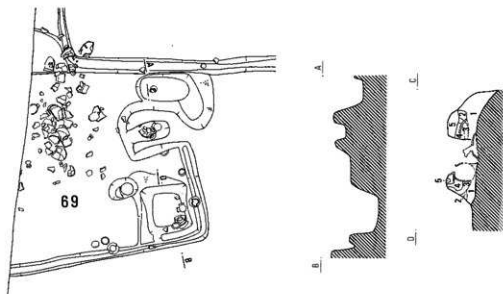
東壁の南寄りにはカマドが設けられており軸高45cmを遺存する。火床面は床面上10cmを測り、甕下半部が逆転して検出されており、支脚として使用されていたものと考えられる。煙道部分は浅く掘り残された状態であるが不明瞭である。

遺物は比較的数量少なく、ほとんどが破片で検出されている。

## 70号住居址カマド土層 L=02.5M

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1 暗褐色土 焼土微量含む固くしまる    | 5 暗黄褐色土      |
| 2 焼土                  | 6 焼土 黒色土混じり  |
| 3 暗褐色土 1層より暗く1層より柔らかい | 7 黒色土 炭化物含む  |
| 4 黄褐色土                | 8 暗褐色土 3層と類似 |



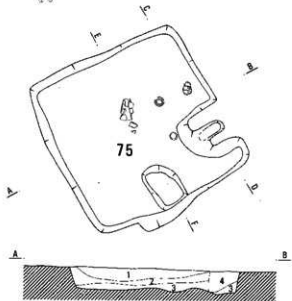
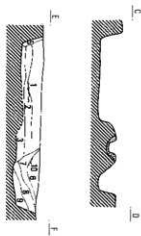


69号住居址カマド土層 L=64.0M

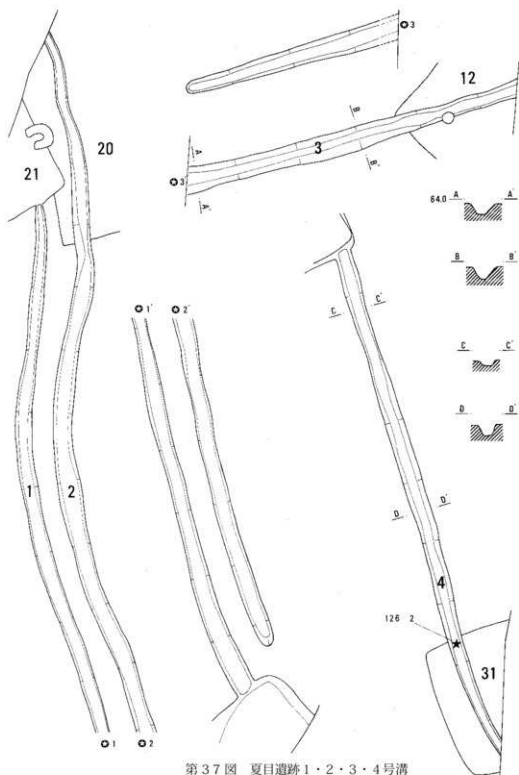
- 1 黄褐色土 粘質ローム
- 2 黄褐色土 焼土ブロック混じり
- 3 褐色土 白砂状粒子含む
- 4 焼土
- 5 暗褐色土 砂質土

75号住居址土層 L=63.2M

- 1 黒褐色土 ローム粒子少量含む
- 2 褐色土 黒褐色土と多量のローム粒子混じり
- 3 ローム
- 4 褐色土 ソフトローム状 攪乱か
- 5 褐色土 ロームブロック含む
- 6 暗褐色土 褐色土混じりで天明火山灰含む 部分的に純層となる
- 7 暗褐色土 粘性有り 部分的に6層を含む
- 8 暗褐色土 6層と類似するがローム粒子多い
- 9 暗褐色土 黒褐色土、ロームを含む
- 10 天明火山灰純層



第36図 夏目遺跡69・75号住居址



第37图 夏目遺跡1・2・3・4号溝

## 71号住居址 (第35・116・117図)

東側は道路下にあるため、西コーナー部分が検出されただけである。壁高22～26cmを測るが壁溝は認められない。

北壁寄りに径40cm、深さ33cmのビットが1ヶ所検出され、中からは5個体の坏が、2個体と3個体ずつ重なった状態で検出され、その北からは小形の甕と甔が同じく重なった状態で検出されている。また、コーナー部分には数個体の甕が押しつぶされたような状態でままとって検出されている。

## 75号住居址 (第36・118図)

当遺跡の今回調査範囲のうち最も北に位置する住居址である。一辺2.7mと小形で壁高は35cmを測り、壁溝は認められない。

南壁中央に接して50×70cmのビットが検出されているが堆積土の状態から後世の土壇と推せられる。同時に南壁張り出し部分もそのための攪乱によるものと考えられる。他に柱穴等のビットは検出されていない。

カマドは東壁コーナー寄りに設けられており、袖高25cmほどで遺存する。

遺物は甕、坏等が数点出土しているだけである。

## 溝

今回の調査で18の溝が検出され、これら大半は集落の存在した時期以後のものと考えられているが、検出された遺物は、4号溝覆土中から丸瓦の破片、5号溝からは多量の土師器、須恵器、鉄製品等、6号溝からは完形の灰釉片口環、10号溝覆土中から土師器環の破片、11号溝から磁骨器、鏃鉢、須恵器、土師器等の破片で、この他の溝からは皆無であり、溝の存在時期を確定することは難しい。

### 1・2号溝 (第37図)

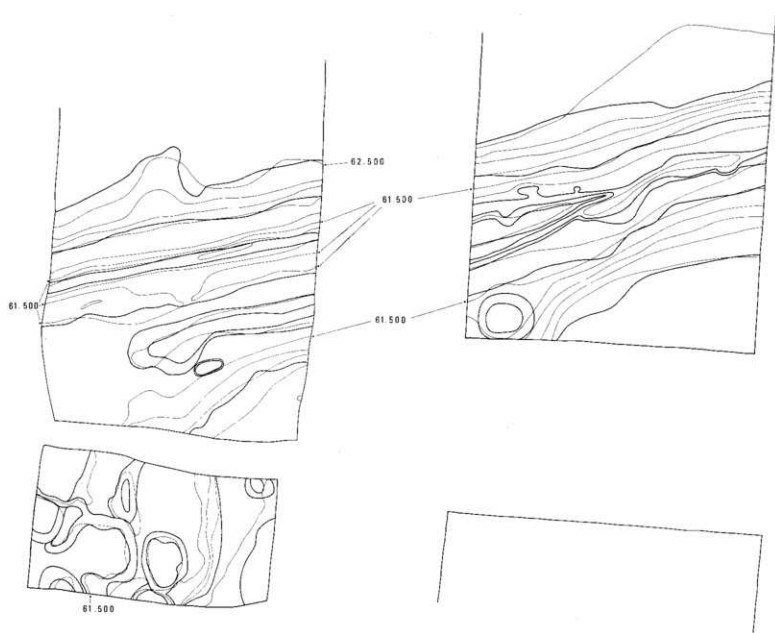
調査区域中最も南に位置し、1号溝約29.7m、2号溝約33.6mが平行して検出されている。1・2号溝とも幅30～75cm、深さは1号溝では21号住居址南、2号溝では21号住居址東で5～6cmを測り、北端を1号溝は21号住居址、2号溝は20号住居址を切り調査区域境界にかかす。南端は当遺跡の南に存する河川跡に接する。

### 3号溝 (第37図)

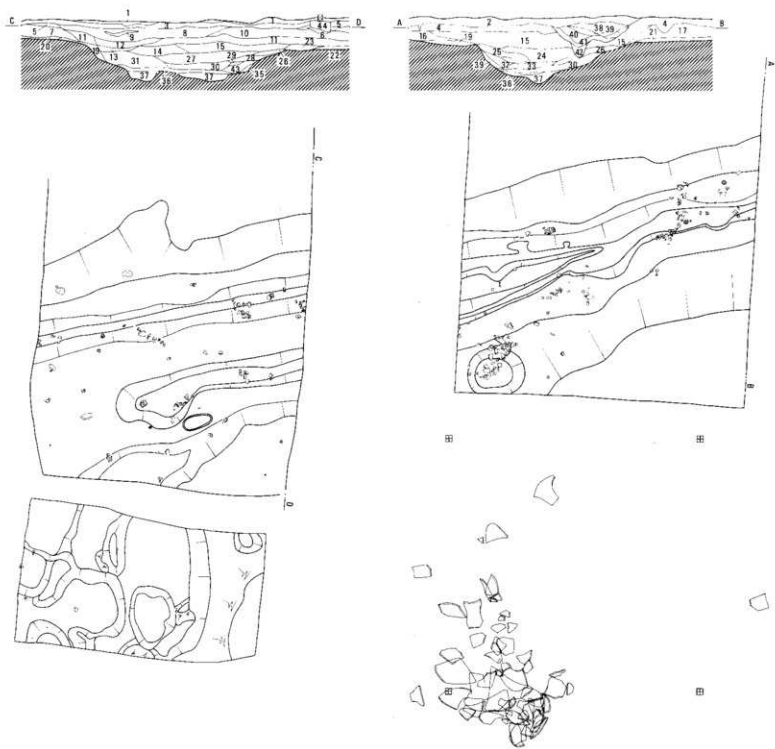
道路を挟んで西側約7m、東側約11mが検出され、東端は12号住居址を切り調査区域境界にかかす。幅50～80cm、深さ30～40cmを測る。

### 4号溝 (第37・126図2)

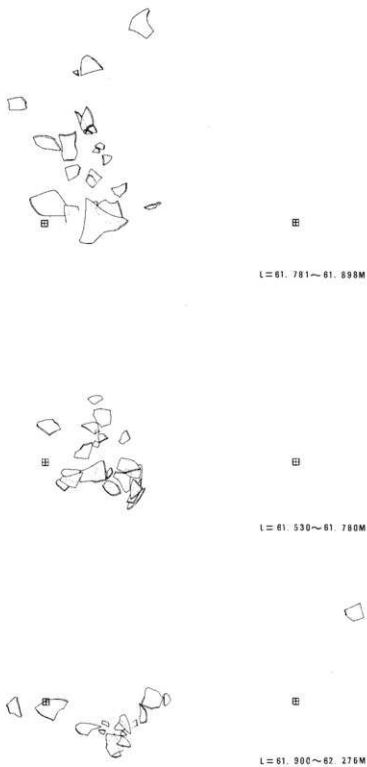
北端は37号住居址、南端は31号住居址にかかり約17mが検出されている。幅45～60cm、深さ15～35cmを測り、31号住居址内にかかす覆土中から丸瓦の破片が検出された。



第38图 夏目遺跡5号溝(1)



第39图 夏目遺跡5号溝(2)・須臾器出土状況(1)



第40図 夏目遺跡5号溝須恵器出土状況(2)

## 5号溝（第38～40・119～124図）

この溝は集落が形成されている微高地上、ほぼ中央の最も高い位置に検出され、その南北に溝を挟むように住居址が散在している。幅6～8m、深さは約1.2mを測るが、道路を挟んだ西側では流れの変化によると思われる河岸線の乱れが認められる。今回の調査で確認されたこの溝以外の溝は、何れもロームを掘り込んだだけの比較的浅いものであるが、この溝の掘り込みは砂礫層まで達している。発掘の段階では気付かなかったが、土層断面図実測の際に、この溝が埋没した後にその上に幅約2.5mほどの溝が流れていたことが確認された。また、川底近くの様子では、はじめに存在した溝が埋まった後に再びその南側を掘り込んだようである。

遺物は、和泉期～真間期にかけての土師、須恵器等が大量に検出されたものの、ほとんどが破片であり、復原によって図示できるものはそのうちの一部である。道路東側の調査区域境界寄りの川底付近、西側川底からまともって、土師器では甕、甗、埴、坏、高坏、須恵器では甕、埴、坏、平瓶、横瓶、円面硯等が検出されている。その他、須恵器大形甕が東側南岸道路寄りに、岸壁中位から川底にかけて破片が何層にも重なった状態で検出されている。

これらの遺物の他、道路西側南西寄りと東側道路寄りの川底近くから数点の鉄製品、下層からは石製品が一点検出された。

尚、検出された土師、須恵器の復原段階で、溝の北側にある住居址、或は溝から検出されたものと接合関係がみられる。

## 5号溝土層 L=63.0M

- |                                      |                   |                                       |
|--------------------------------------|-------------------|---------------------------------------|
| 1 盛土                                 | 24 暗褐色土           | 焼土、土器片を多量に、炭化物を微量含みし<br>まり有り          |
| 2 暗褐色土 耕作土                           | 25 暗褐色土           | 焼土を多量と土器片を含み24層より黒色強く<br>かたくしめる       |
| 3 暗褐色土 大山河を多量に含み硬くしめる                | 26 黒褐色土           | 焼土、土器片をわずかに含みしまり有り                    |
| 4 灰色土 大山河を多量に含む 褐色を帯びる               | 27 暗褐色土           | 焼土粒子を微量含みやや明るく粘性有り                    |
| 5 暗褐色土                               | 28 黒褐色土           | 焼土粒子を多量含み粘性有り                         |
| 6 黒褐色土                               | 29 褐色土            | 粘性強い                                  |
| 7 黒褐色土                               | 30 暗褐色土           | 27層より明るく粘性が強い                         |
| 8 暗褐色土 大山河を少量含み3層よりしまり無し             | 31 暗褐色土           | 硬くしめる                                 |
| 9 黒褐色土 大山河を微量含む                      | 32 黒褐色土           | 焼土、土器片を含みややしまり有り                      |
| 10 暗褐色土                              | 33 黒褐色土           | 24、25、32層より焼土、土器片を少量含み、<br>黒色強く、ややかたい |
| 11 黒褐色土 焼土粒子を微量含みしまり有り               | 35 黒褐色土           | ロームブロックを含みやや明るい                       |
| 12 黒褐色土                              | 36 小礫と上層の暗褐色土との混和 |                                       |
| 13 黒褐色土 12層よりやや黒色強い                  | 37 小礫と砂の混和        |                                       |
| 14 黒褐色土 焼土粒子を微量含み11層よりかたい            | 38 暗褐色土           | 大山河を含み2層より明るい                         |
| 15 黒色土 暗褐色土を含む                       | 39 黒色土            | 暗褐色土を含む                               |
| 16 黒色土 ロームブロックを微量と大山河を含みやや褐色<br>を帯びる | 40 褐色土            | やや灰色を帯びしまりあり無し                        |
| 17 黒色土 大山河、砂粒を含みやや灰色を帯びる             | 41 黒褐色土           | ややかたい                                 |
| 18 茶褐色土とロームブロックの混和土                  | 42 黒灰色土           | 砂を多量に含みしまり無し                          |
| 19 黒褐色土 ローム粒子を多量に含む                  | 43 暗褐色土           | ローム粒子を多量に含み、29層より明るい                  |
| 20 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む                | 44 検出             |                                       |
| 21 暗褐色土 ロームブロックを多量に含む                |                   |                                       |
| 22 黒褐色土 ロームブロックを含み粘性有り               |                   |                                       |
| 23 黒色土 やや褐色を帯びしまり有り                  |                   |                                       |

## 6・7号溝(第41・125図1)

6号溝は48号住居址、7号溝は49号住居址を切っており、北端は道路に、南端は調査区域境界にかかると見られる。6号溝は約17mが検出され、幅50～90cm、深さ28～36cmを測る。48号住居址南から灰釉片口環が完形で、また、覆土中からは土師器環の破片が検出されている。7号溝は約9.6mが検出され、幅35～40cm、深さ20～30cmを測る。

## 8・9号溝(第41・42図)

8号溝は道路を挟み北側約2.4m、南側約3mが検出されており、南側では、49号住居址を切っていると思われるが不明瞭である。北側約8mで9号溝と重複し、新旧関係は8号溝が古く、9号溝が新しい。幅0.8～1.6m、深さは道路南側6cm、北側13～44cmを測る。

9号溝は道路を挟んで東側約14.4m、西側約7.9mが検出され、8号溝との重複部東でL字状に曲がっている。また、道路西側の西端部は59号住居址を一部切っている。幅0.6～1.65m、深さ45～80cmを測る。

## 10・11号溝(第41・125図3～5)

10号溝約8.2m、11号溝約8.6mが検出され、何れも東端は道路、西端は調査区域境界にかかると見られる。10号溝は幅0.85～1.3m、深さ6～19cmを測り、覆土中から土師器環の破片が検出されている。11号溝は幅1.3～1.8m、深さ60～70cmを測る。覆土中に多量の塵が検出され、須恵器、土師器等の破片も認められ、その中からは中世のものと思われる蔵骨器、播鉢、鉄製品の破片が確認された。

## 12・19号溝(第42図)

12号溝は一部不明瞭であるが約18.6mが検出され、南端は道路、北端は16号溝にかかり、幅は45～60cm、深さ3～9cmを測る。

19号溝は約3.3mが検出され、幅60～70cm、深さ37～50cmを測る。

## 13号溝(第42図)

南端が調査区域境界にかかり約4.7mが検出されている。幅約1m、深さ30cmを測る。

## 15・16号溝(第42図)

15号溝は約4.3m、16号溝は約6.7mが検出されており、16号溝の途中で重複している。15号溝は幅40～80cm、深さ9cm、16号溝は幅0.8～1.2m、深さ15～35cmを測る。

## 17号溝(第43図)

調査区域中の最北に位置し、東端は道路、西端は調査区域境界にかかり約7.6mが検出されている。幅1.2～1.9m、深さ30～45cmを測る。

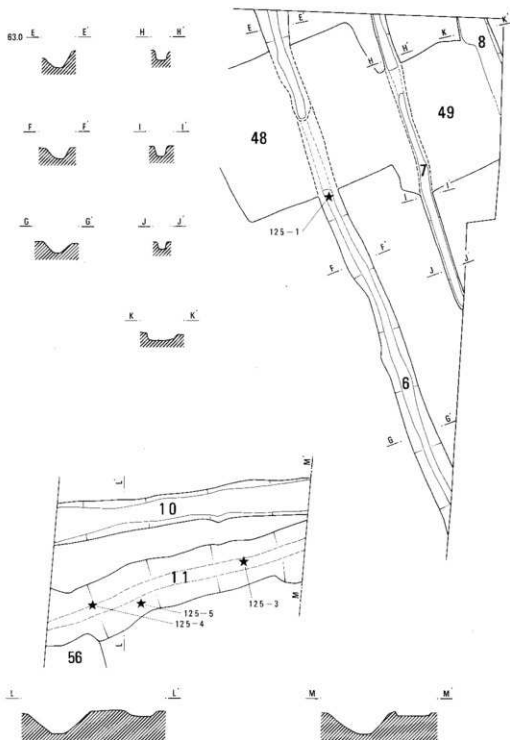
## 18号溝(第43図)

西端の調査区域境界から66号住居址西壁まで約8mが検出されているが、途中65号住居址を切っており不明瞭である。幅50～70cm、深さ25cm程である。

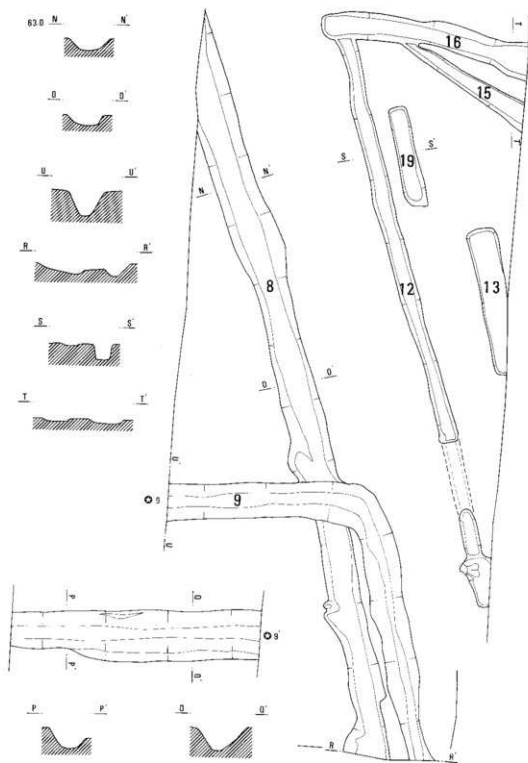
## 20号溝(第43図)

西端は調査区域境界、東端は道路にかかり約9mが検出されている。西側は62号住居址を切っており、幅は45～50cm、深さ15～20cmを測る。

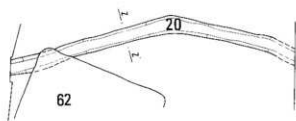
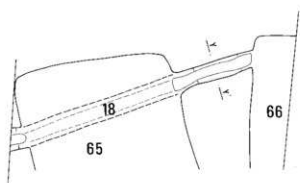
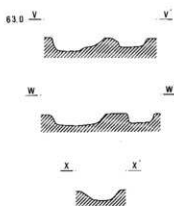
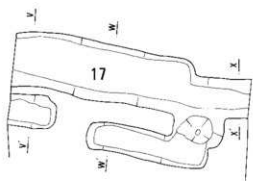




第41图 夏日遺跡6·7·8·10·11号溝



第42图 夏目遺跡8·9·12·13·14·15·16·19号溝



第43图 夏目遺跡17·18·20号溝

## 3 出土遺物

夏目遺跡10号住居址 (第44・45図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 19.9 器高 28.5	胎・白色粒子多 石英 角閃石 成・胴部粘土帯積み上げ 底部と胴部 胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 口縁部二回のミ ズビキ 内面 胴部ナデ 焼・良 胴部外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・ビット2 残・ほぼ完形
甕	2	口径 13.8 器高 24.3	胎・褐鉄粒多 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズ リ後ナデ (やや光沢有り) 内面 胴部ヘラナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 (内面やや淡い) 使・外面一部炭素付着 出・ビッ ト2 残・ほぼ完形
甕	3	口径 (16.8) 器高 26.2	胎・白色粒子 砂粒 成・底部と胴部 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・普 色・外 橙褐色 黒灰褐色 内 黄 褐色 黒灰褐色 使・内外面風化摩滅 炭素付着 二次的熱受ける 出・ ビット1 残・底部 胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	4	口径 (17.1)	胎・砂粒 石英 角閃石 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部下部ヘラケズリ 中部及び上部ヘラケズ リ後ナデ 内面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・良 外面 一部炭素付着 色・橙褐色 出・ビット2 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	5		胎・0.2~0.3砂粒 褐鉄粒 成・底部と胴部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 風化不明瞭 焼・普 色・橙褐色 (赤味強い) 使・外面 底部周辺摩滅特に著しい 内面 風化 出・ビット1 残・底部
甕	6		胎・0. 砂粒 成・底部 (上がり底か?) 胴部下半と上半接合 整・外 面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ 焼・普 外面炭素付着 色・外 橙 褐色 内 灰褐色 出・ビット2 残・底部
甕	7		胎・白色粒子 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整 ・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・ビット2 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部一部
甕	8	口径 26.4	胎・砂粒 石英 白色粒子 褐鉄粒多 成・口縁部二段積み上げ 整・外 面 ヨコナデ (ハケ調 整後ヨコナデか?一部ハケ目残る) 内面 ヘラケ ズリ後ナデ 焼・やや悪 色・橙褐色 使・口縁部内面摩滅 (器台として 使用か?) 出・ビット2 残・口縁部
甕	9		胎・砂粒多 石英 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ

高環	10		整・内外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 外面黒ずむ 出・ビット2 残・胴部ヲ 口縁部一部
環	11		胎・砂粒 白色粒子 石英 褐鉄粒 成・裾部と脚部接合 脚部と環底部接合 整・外面 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ヘラケズリ 裾部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 出・ビット2 残・脚部
碗	12	口径 11.3 器高 5.3	胎・白色粒子 石英 角閃石 褐鉄粒 成・底部と胴部 胴部下半と上半接合 整・外面 口縁部ヨコナデ 内面 口縁部ヨコナデ後暗文 胴部内外面ナデ 焼・良 色・橙褐色 出・ビット2 残・ヲ
罎	13		胎・砂粒多 石英多 角閃石 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・ビット2 残・底部 胴部 口縁部ヲ 備・口縁部内面に切痕?
罎	14	口径 8.1 器高 9.2	胎・白色粒子 石英 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部及び胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面底部炭素付着 色・橙褐色 残・ほぼ完形
刀子・鎌	15		刀子刃部と鎌基部が錆によって接着している。刀子の長さ6.4cm、幅1.7cm、厚さ3mm、鎌の長さ6.4cm、基部の幅3.1cm、厚さ2mmである。鎌は曲刃鎌と考えられる 両者とも錆化が進み刃部の状態は不明瞭である。

## 夏目遺跡11号住居址 (第46・47・48図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・0.2~0.5小石多 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・内外面風化不明瞭 焼・善 色・外 橙褐色 暗灰色 内 暗褐色 使・内外面風化不明瞭 外面炭素付着 残・底部 胴部ヲ 口縁部一部 備・復原不良
甕	2	口径(15.0) 器高 23.3	胎・砂粒 白色粒子 褐鉄粒 石英 角閃石 成・胴部下半と上半 頸部接合(内面接合痕明瞭) 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ後ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 胴部外面炭素付着 色・橙褐色 内面上部黒ずむ 出・竈裾 残・ほぼ完形
瓶	3	口径 15.2 器高 9.2	胎・砂粒 石英 角閃石 白色粒子 褐鉄粒 成・孔は内側より穿つて 外面に粘土の盛り上がり ヘラ切り 整・外面 胴部ヘラケズリ 胴部上半ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ヘラケズリ後ナデ 弧状ヘラ痕 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面炭素付着 色・外 橙褐色及び明橙褐色

瓶	4	口径 14.0 器高 19.0	内 橙褐色 出・竈裾 残・胴部 口縁部片 胎・褐鉄粒 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 孔部ヘラ切り 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 形・孔 は中心からはずれ る焼・著 内外面一部炭素附着 色・橙褐色 接・竈 袖 竈裾 貯蔵穴内 残・ほぼ完形
甕	5		胎・0.3~0.4長石 白色粒子 成・底部と胴部 胴部下半と上半接合（ 内面接合痕明瞭） 底部（上がり底か？） 整・外面 胴部（接合部分指 頭押さえか？） 内面 底部ヘラオサエ 胴部内外面ヘラケズリ後ナデ 焼・著 色・外 赤褐色 内 黄褐色 下半黒ずむ 出・竈裾 残・底部 胴部下半
甕	6	口径 14.3 器高(16.3)	胎・砂粒 0.5~0.6小石少 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土 帯積み上げ（上半接合痕明瞭） 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘ ラケズリ後ナデ 内面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著 底部内外面炭素附着 色・橙褐色 使・外面 底部下半風化摩滅 出・竈裾 残・胴部（一部欠損） 口縁部
甕	7	口径 15.2 器高 22.7	胎・白色粒子多 石英 褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上 げ 整・外面 胴部下半ヘラミガキ 上半風化不明瞭 内面 胴部ナデ（ 接合部分ヘラケズリ） 口縁部内外面ヨコナデ 焼・悪 外面胴部下半一 部 内面口縁部一部炭素附着 色・黒褐色 使・内外面風化摩滅 残・ほ ぼ完形
高环	8		胎・石英 角閃石 成・脚部と裾部接合 脚部粘土紐巻き上げ（接合痕明 瞭） 整・外面 裾部ヨコナデ後暗文状のヘラミガキ 脚部ナデ後ヘラミ ガキ 内面 裾部ヨコナデ 脚部不明 焼・良 色・橙褐色 出・竈裾 残・裾部 脚部
高环	9		胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・裾部と脚部接合（脚部と环底部筋状粘土 で接合） 整・外面 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ナデ 裾部内外 面ヨコナデ 焼・良 色・淡橙褐色 残・裾部（一部欠損） 脚部
高环	10	口径 17.8 器高 15.0	胎・石英 白色粒子 成・裾部と脚部 脚部と环底部接合 環縁部粘土紐 積み上げ（6本？） 内面接合痕一部明瞭 脚部粘土紐積み上げ（内面接 合痕明瞭） 整・外面 脚部ナデ（环底部との接合部分ハケ調整 环底 部及び環縁部ハケ調整後ナデ 口唇部ヨコナデ 内面 脚部及び环底部ナ デ 環縁部ヨコナデ 裾部内外面ヨコナデ 焼・著 色・橙褐色 出・竈 裾 床直 残・ほぼ完形
高环	11	口径 18.1 器高 13.7	胎・砂粒 白色粒子 褐鉄粒 成・裾部と脚部 脚部と环底部 环底部と 環縁部接合 整・外面 裾部ハケ調整後ヨコナデ 脚部ナデ 环底部ヘラ ケズリ後ナデ 環縁部ハケ調整後ヨコナデ 内面 裾部ヨコナデ 脚部不

高坏	1 2	口径 14.5 器高 12.5	明 坯底部ナデ 环縁部ハケ調整後ヨコナデ (ハケ調整痕一部明瞭) 焼・善 外面环縁部一部炭素付着 色・橙褐色 残・ほぼ完形 胎・白色粒子多 成・脚部と坯底部 坯底部と环縁部接合 整・内外面風化不明瞭 焼・善 色・橙褐色 内面环縁部黒ずむ 使・風化 残・脚部坯底部 环縁部欠
高坏	1 3	口径 16.6 器高 14.3	胎・石英 角閃石 白色粒子 成・裾部と脚部 脚部と坯底部 (顔状粘土で接合) 坯底部と环縁部接合 整・外面 脚部及び坯底部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ヘラケズリ 坯底部ナデ 裾部内外面ヘラケズリ後ヨコナデ (ミズビキ) 环縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
高坏	1 4	口径 17.6	胎・石英 角閃石 白色粒子 成・裾部と脚部 脚部 (内面天井部粘土充填) と坯底部 坯底部 (内面接合痕一部明瞭) と环縁部接合 整・外面 脚部及び坯底部ヘラケズリ後ナデ 环縁部ヨコナデ 内面 脚部ヘラケズリ 坯底部ナデ 环縁部ヨコナデ (ヘラオサエ痕有) 裾部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 使・外面脚部に焼土付着 出・竜袖 接・竜袖貯蔵穴内 残・裾部欠損
高坏	1 5	口径 16.8	胎・砂粒 石英 褐鉄粒 白色粒子 成・坯底部と环縁部接合か? 整・外面 坯底部ヘラケズリ 环縁部ハケ調整後ヨコナデ? 内面 坯底部ナデ 环縁部ヨコナデ (ヘラオサエ痕有) 焼・良 环縁部外面炭素付着 色・橙褐色 (环縁部) 淡橙褐色 (坯底部) 出・竜裾 残・坯底部 环縁部 備・环縁部 坯底部胎土異なる
高坏	1 6	口径 17.7	胎・砂粒 石英 白色粒子 褐鉄粒 成・坯底部と环縁部接合か? 整・内外面 坯底部ナデ 环縁部ヨコナデ 焼・悪 色・橙褐色 使・内外面一部焼土付着 内面一部炭素付着 (二次的熱を受けたか?) 出・竜袖 竜裾 残・环縁部
罎	1 7	口径 9.2 器高 7.9	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 白色粒子 成・底部と胴部 (内面接合痕明瞭) 胴部と口縁部接合 穿孔のノッキング痕明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 胴部ナデ 内面 底部及び胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 後暗文 焼・良 色・橙褐色 残・完形
埴	1 8	口径 15.0 器高 14.4	胎・褐鉄粒 白色粒子 角閃石 石英 成・不明 整・外面 胴部叩きかノッキング痕か? 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面 底部 胴部下半 内面 底部一部炭素付着 色・橙褐色 出・竜裾 残・ほぼ完形
埴	1 9	口径 11.4 器高 6.4	胎・砂粒多 成・底部と胴部接合か? 胴部と口縁部接合 整・外面 口縁部ヨコナデ 内面 口縁部ヨコナデ (ミズビキ) 底部内外面ヘラケズリ 胴部内外面ヘラケズリ後ナデ 焼・善 色・橙褐色 使・内外面炭素

塊	20	口径 11.6 器高 5.9	付着(二次的熱を受ける) 出・竈袖 残・ほぼ完形(口縁部一部欠損) 胎・石英 角閃石 褐鉄粒 白色粒子 成・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ後粗いハ ケ調整 焼・ 善色・橙褐色 使・内外面一部炭素付着 出・竈袖 残・ ほぼ完形
塊	21	口径 11.1 器高 4.3	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・胴部と口縁部接合 整・外面 胴部ヘラケズ リ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・ 良色・橙褐色 残・ほぼ完形(口縁部一部欠損)
環	22	口径 14.0 器高 4.6	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・不明 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴 部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・竈袖 残・ほ ぼ完形(口縁部一部欠損)
有孔 円板	23		径3.1cm 厚さ6mmで、中央に径2mmの小孔を穿つ。石材は滑石。表面は 3方向から研磨され、その痕跡が線状となり明確に残っている。また、研 磨はあまり丁寧ではなく、自然面がかなり残されている。側面の研磨も丁 寧ではなく、稜を残している。色調は黒緑色。

夏目遺跡12号住居址(第49図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・黒色粒子 褐鉄粒 成・頸部接合 口縁部二段積み上げ 粘土帯積み 上げ 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ後ナデ 内面 胴 部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・悪 外面胴部炭 素付着 色・橙褐色 使・外面胴部下半炭素付着 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	2		胎・砂粒多 成・不明 整・外面 風化不明瞭(ヘラケズリ後ナデか?) 内面 ナデ 焼・ 良色・外 橙褐色 内 黄褐色 使・内面胴部下半環 状に炭素付着 残・底部 胴部下半
高環	3		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・裾部と脚部 脚部と環底部 環底部と環縁部 接合 脚部粘土紐積み上げ 整・外面 脚部ヘラケズリ後ヘラミガキ 環 底部ヘラケズリ 内面 脚部及び環底部ナデ 裾部及び環縁部内外面ヨコ ナデ 焼・ 良色・橙褐色 外面環縁部やや黒ずむ 残・裾部一部 脚部 環底部 $\frac{1}{2}$ 環縁部 $\frac{1}{2}$
高環	4		胎・白色粒子 成・環底部と環縁部接合 整・外面 環底部ヘラケズリ後 ナデ 環縁部ヨコナデ 内面 環底部ナデ 環縁部ヨコナデ後暗文 焼・ 良 色・橙褐色 接・中央部西寄り 南西壁コーナー付近 残・環底部 環縁部 $\frac{1}{2}$
高環	5		胎・褐鉄粒 成・環底部と環縁部接合(脚部と環底部接合 接合部分で分 離) 整・外面 環底部ヘラケズリ 環縁部ヨコナデ 内面 環底部ヘラ



高 環	6		ケズリ後ナデ 環縁部ヨコナデ後暗文 焼・良 外面環底部炭素付着 色・橙褐色 残・環底部 環縁部欠
	7	口径(12.3) 器高(6.0)	胎・白色粒子 石英 成・裾部と脚部 脚部下半と上半接合(接合痕不明瞭) 整・外面 裾部ヘラケズリ後ヨコナデ 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 裾部ヨコナデ 脚部ナデ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部一部 脚部
	8	口径 13.8 器高 5.8	胎・褐鉄粒 成・底部と胴部 頸部接合(接合部分で分離) 整・外面 底部ヘラケズリ 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部及び胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 残・ほぼ完形(口縁部欠損)
環			胎・褐鉄粒 成・胴部下半と上半 胴部と口縁部接合(胴部弧状ヘラ成形成) 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ 内面 胴部ナデ(弧状ヘラ痕有り) 底部内外面ヘラケズリ 焼・善 色・橙褐色 使・底部摩滅 胴部剥離 残・ほぼ完形

## 夏目遺跡13号住居址(第50図1・2)・14号住居址(第50図3)

器種	番号	法量(cm)	特 徴
高 環	1		胎・白色粒子 成・胴部と口縁部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 ナデ ヘラオサエ 弧状ヘラ痕 焼・良 色・外 橙褐色 内 黄褐色 残・胴部上半一部 口縁部欠
	2		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・裾部と脚部接合 整・外面 裾部ヨコナデ 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 裾部ヨコナデ(ヘラオサエ有) 脚部ヘラケズリ後ナデ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部欠 脚部
甕	3		胎・角閃石 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 内面炭素付着 色・外 橙褐色 内 黒灰色 残・胴部及び口縁部欠

## 夏目遺跡15号住居址(第51図)

器種	番号	法量(cm)	特 徴
甕	1	口径 16.3	胎・白色粒子 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部風化不明瞭 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 内面炭素付着 色・外 橙褐色 内 黒色 残・胴部一部 口縁部
甕	2	口径 11.7	胎・石英 黒色粒子 褐鉄粒 成・頸部接合(内面接合痕不明瞭) 胴部粘土帯積み上げ 整・内外面 胴部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・口縁部欠
環	3		胎・粘土練込 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 形・口唇部に沈線有り 焼・良 色・橙褐色 残・底部欠 口縁部欠

环	4		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
环	5	口径 12.7 器高 3.5	胎・白色粒子少 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 内外面炭素付着色・橙褐色(黒ずむ) 出・壺襷 残・ほぼ完形(口縁部一部欠損)
环	6	口径 14.2 器高 4.0	胎・石英 角閃石 小石少 成・底部と口縁部接合か? 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 使・内面鉄分付着 残・ほぼ完形 備・粗雑

## 夏目遺跡19号住居址(第52図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・砂粒 成・胴部下半と上半接合(接合部分で分離) 底部木葉痕 上がり底 整・外面 風化不明瞭(ヘラケズリ) 内面 ナデ 焼・普色・外 橙褐色 内 黄褐色 出・壺内 残・底部 胴部一部
甕	2	底径 6.5	胎0.2砂粒 白色粒子 成・胴部下半と上半接合 粘土帯積み上げ 上がり底 整・外面 ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・普 内面炭素付着色・橙褐色 出・壺内 残・底部 胴部一部
甕	3		胎・石英 褐鉄粒 成・底部と胴部接合 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ(ヘラオサエ有) 焼・外面 一部炭素付着 内面 炭素付着色・外 橙褐色 内 黒色 残・底部
甕	4	底径 6.2	胎小石少 砂粒少 白色粒子 石英 成・底部と胴部接合 整・外面 風化不明瞭 内面 ナデ ヘラオサエ有 焼・普 内面炭素付着 色・外 橙褐色 内 黒色 使・外面風化剥離 残・底部
甕	5	口径 12.3 器高 9.3	胎・小石少 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 外面 一部炭素付着 内面 炭素付着 色・橙褐色 残・底部 胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
环	6	口径 12.3	胎・白色粒子 石英 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部風化不明瞭 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 口唇部に沈線 焼・普色・橙褐色 使・内面鉄分沈着 焼土付着 残・ほぼ完形 備・外面二次的熱を受ける

## 夏目遺跡20号住居址(第53図1)・21号住居址(第53図2~4・第54図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甗	1	口径 22.5 器高 30.4	胎・黒色粒子多 石英 長石 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色

甕	2		・橙褐色 残・ほぼ完形(口縁部欠損) 胎・白色微石 角閃石多 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼 ・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・電襦 残・口縁部欠
甕	3		胎・小石 角閃石 石英 成・頸部接合か? 胴部粘土帯積み 上げか? 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼 ・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色(外面黒ずむ) 出・電襦 残・胴 部及び口縁部欠
甕	4		胎・白色微石 小石 成・頸部接合 整・外面 底部及び胴部ヘラケズリ 内面 底部ヘラオサエ 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・ 外 橙褐色(一部炭素付着) 内 黄褐色 使・内面一部黒ずむ 残・底 部 胴部欠 口縁部一部
甕	5	口径 15.4	胎・0.2~0.3砂粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ(内面一部接合 痕明瞭) 整・外面 胴部下半ヘラケズリ後ナデ 上半ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 使・外面風化 残・胴部欠 口縁部欠
甕	6	口径 14.9	胎・0.2~0.3小石 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合か?(口縁 部粘土帯積み上げ) 整・外面 胴部ヘラケズリ 焼・善 内外面一部炭 素付着 色・橙褐色(内面黒ずむ) 使・外面 胴部下半剝離摩滅 出・ 電襦 残・底部欠損
甕	7	底径 4.5	胎・砂粒多 成・胴部下半と上半接合 整・内外面風化不明瞭 焼・善 色・橙褐色(外面黒ずむ) 残・底部 胴部欠
甕	8		胎・白色微石多 角閃石多 成・不明 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ か? 内面 胴部ナデ 焼・善 色・橙褐色 残・底部
瓶	9	口径 25.2 器高 27.9	胎・角閃石多 成・孔部ヘラ切り 頸部接合 胴部粘土帯積み 上げ(内面 一部接合痕明瞭) 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 孔部周辺ヘラケズ リ後ナデ 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・ 東壁寄りピット内 残・ほぼ完形
鉢	10	口径 19.9	胎・粗砂粒 小石 角閃石 褐鉄粒 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・口縁 部欠
高环	11		胎・石英 角閃石 褐鉄粒多 成・脚部と环底部接合 脚部粘土帯積み上 げ 整・外面 風化不明瞭 内面 裾部ヘラオサエ有り 脚部ナデ 环底 部ナデ後暗文状ヘラミガキ 焼・良 色・橙褐色 出・電襦 残・脚部
环	12	口径 11.6 器高 4.0	胎・砂粒少 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 器面軟弱 色・橙褐色 残・ほぼ完形

環	13	口径 12.1 器高 3.8	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 底部
環	14	口径 12.4 器高 4.9	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラ ケズリ後ナデ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形
環	15	口径 14.4 器高 4.4	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内 面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ (内面ハケ目状残る) 焼・善 色 ・橙褐色 残・ほぼ完形
環	16		胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 器面軟弱 色・橙褐色 使・風化 (器面軟弱のため調整不明瞭) 残・ $\frac{1}{2}$
環	17	口径 12.8 器高 4.2	胎・細砂 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデか? 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 器 面軟弱 色・橙褐色 使・外面底部摩滅 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 底部
環	18	口径 12.7 器高 3.8	胎・細砂 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後 ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面口縁部一部 炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・ほぼ完形
環	19	口径 13.8 器高 3.5	胎・白色粒子 褐鉄粒多 成・底部と胴部接合 整・外面 底部ヘラケズ リ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
環	20	口径 12.9 器高 4.1	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 口縁部二回のミズビキか? 内面 底部同心円状ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 接・貯蔵穴内 貯蔵穴内 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)

## 夏目遺跡2号住居址 (第55・56図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径(18.8) 器高(9.4)	胎・石英 白色粒子 褐鉄粒 角閃石 成・底部と胴部 胴部下半と上半 頸部接合 底部上げ底状 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 胴部下半ナデ 上半ヘラナデ 口縁部風化不明瞭 焼・善 外面一 部炭素付着 色・橙褐色 使・風化著しい 器面ザラつく 出・土埴上 接・土埴上 土埴付近 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
甕	2	口径 17.5 器高 27.7	胎・石英 白色粒子 砂粒 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・善 外面炭素付着 色・橙褐色 出・土 埴上 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)

甕	3	底径 4.6	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・胴部下半と上半接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ヘラケズリ後ナデ (ヘラオサエ有) 焼・善 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・土域内 残・底部
甕	4	口径 12.6 器高 15.7	胎・白色粒子 黒色粒子 (角閃石) 褐鉄粒 成・底部と胴部 胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ (内外面部分的に明瞭) 整・内外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・良 内外面炭素付着 色・橙褐色 (赤味) 使・外面一部剝離 残・ほぼ完形
高坏	5	口径 19.0 器高 16.2	胎・白色粒子 小石少 成・裾部と脚部 脚部と坏底部 坏底部と环縁部接合 脚部粘土紐螺旋状巻き上げ 整・外面 脚部ヘラケズリ後ナデ 坏底部ヘラケズリ 内面 脚部及び坏底部ナデ 裾部及び环縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・外 橙褐色 (赤味) 内 橙褐色 (黒ずむ) 出・土域内 残・ほぼ完形
高坏	6		胎・褐鉄粒 石英 角閃石 白色粒子 成・裾部と脚部 脚部と坏底部接合 整・外面 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ヘラケズリ 裾部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・脚部
高坏	7	口径 17.5 器高 14.3	胎・白色粒子 石英 成・裾部と脚部 脚部と坏底部 坏底部と环縁部接合 整・外面 脚部ヘラミガキ 坏底部ヘラケズリ後ナデ 环縁部ヨコナデ 内面 脚部ヘラケズリ 坏底部ナデ 环縁部ヨコナデ後暗文 裾部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・床直 残・ほぼ完形 (裾部一部欠損)
高坏	8	口径 17.8 器高 13.7	胎・白色粒子 石英 成・裾部と脚部 脚部と坏底部 坏底部と环縁部接合 (脚部下半と上半接合か?) 整・外面 裾部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ (ミズビキ後暗文か?) 脚部ヘラケズリ後ヘラミガキ 坏底部ヘラケズリ 环縁部ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ 内面 裾部ヨコナデ 脚部及び坏底部ナデ 环縁部ヨコナデ後暗文 焼・良 内外面裾部一部 外面环縁部一部炭素付着 色・橙褐色 出・土域上 残・ほぼ完形 (裾部及び环縁部一部欠損)
高坏	9		胎・褐鉄粒 成・脚部と坏底部 坏底部と环縁部接合 整・外面 脚部ヘラケズリ後ナデ 坏底部ハケ調整 内面 脚部ヘラケズリ 坏底部ナデ 焼・良 色・橙褐色 出・土域上 残・脚部 坏底部
高坏	10	口径 18.0 器高 14.2	胎・白色粒子 石英 成・裾部と脚部 脚部と坏底部 坏底部と环縁部 环縁部下半と上半接合 脚部は粘土紐積み上げ (内面接合痕明瞭) 整・外面 脚部及び坏底部ヘラケズリ後ナデ 环縁部下半ヘラケズリ後ヨコナデ 上半ヨコナデ 内面 脚部及び坏底部ナデ 环縁部ヨコナデ後暗文 裾部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形

高环	1 1	口径 15.6 器高 16.5	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・裾部と脚部 脚部と底部 底部と胴部 胴部と口縁部接合 脚部粘土紐巻き上げ (内面接合痕明瞭) 底部ヘラ成形 整・外面 裾部ヨコナデ後ヘラ調整 (ケズリ後ナデか?) 脚部及び底部ヘラケズリ後ナデ 内面 裾部ヨコナデ 脚部及び底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・蒼色・橙褐色 出・土壇上 残・ほぼ完形
	高环 1 2	口径 16.7	胎・褐鉄粒 成・环底部と环縁部接合 整・外面 环底部ヘラケズリ後ナデ 内面 环底部ナデ 环縁部内外面ヨコナデ後暗文 焼・良色・淡橙褐色 出・土壇上 残・环底部 环縁部
高环 1 3	底径 19.8	胎・白色微石 石英 成・裾部下段と上段接合 整・内外面風化不明瞭 (ヨコナデか?) 焼・良 裾部端一部炭素付着 色・橙褐色 出・土壇上 残・裾部	
高环 1 4		胎・石英 角閃石 成・脚部と环底部接合 脚部粘土紐積み上げ 整・外面 脚部及び环底部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部及び环底部ナデ 焼・良色・橙褐色 出・北西コーナー寄り壁 残・脚部 环底部	
境	1 5	口径 12.6 器高 6.2	胎・白色粒子 成・底部と胴部 胴部と口縁部接合 (内面一部接合痕明瞭) 胴部内面ヘラ成形 (ハオサエ有) 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部下半ナデ 上半ヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 出・土壇上 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
	境 1 6	口径 14.7 器高 5.8	胎・白色粒子 褐鉄粒 石英 成・胴部と口縁部接合 整・外面 風化不明瞭 内面 ナデ 焼・蒼色・橙褐色 内面底部黄褐色 残・ほぼ完形 備・二次的熱受けるか?
境 1 7	口径 12.7 器高 5.4	胎・褐鉄粒 白色粒子 石英 角閃石 成・不明 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 胴部上半ナデ 内面胴部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 出・床直 土壇上 接・土壇上 土壇付近 残・ほぼ完形	
境 1 8	口径 13.1 器高 5.8	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・不明 胴部と口縁部接合か? 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部及び胴部ヘラナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・蒼色・橙褐色 (赤味強い) 接・土壇付近 土壇上 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)	
境 1 9		胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 弧状ヘラ痕 内面 胴部ヘラナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・黄褐色 残・ㄥ	
埴	2 0	口径 7.6 器高 8.8	胎・褐鉄粒 角閃石 白色粒子 石英 成・胴部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・土壇内 残・完形
	縄文 2 1		焼・蒼色・橙褐色 その他不明瞭 口縁直下横二条の半截竹管を施しそ

		の後縦に施文する 以下無文部か？
--	--	------------------

## 夏目遺跡 24号住居址 (第57図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・黄褐色 残・ $\frac{1}{2}$
甕	2	口径 18.5	胎・白色粒子 0.2~0.3 砂粒 小石少 成・頸部接合 (口縁部粘土帯積み上げか?) 整・口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・床直 残・口縁部
環	3		胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 (接合部分で分離) 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙褐色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部一部

## 夏目遺跡 25号住居址 (第58図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・小石多 褐鉄粒少 成・風化摩滅不明瞭 整・外面 胴部風化不明瞭 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・橙褐色 (内面灰色帯びる) 接・竈袖 竈裾 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	2	口径 13.3 器高 13.6	胎・白色粒子多 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・内外面胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ (内面底部及び胴部ヘラオサエ有り) 焼・普 色・橙褐色 残・ほぼ完形
甕	3	底径 7.2	胎・砂粒多 角閃石 成・不明 整・外面 底部及び底ヘラケズリ 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ (ヘラ有り) 焼・普 色・橙褐色 残・底部
高環	4		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・風化摩滅不明瞭 整・外面 脚部接合部ヘラオサエ 内面 底部弧状ヘラオサエ (内外面風化摩滅不明瞭のため細部不明瞭) 焼・普 色・橙褐色 出・竈裾 残・裾部一部 脚部 底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
高環	5		胎・褐鉄粒 成・脚部接合部分で分離 整・内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・竈袖 残・脚部
高環	6		胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・裾部と脚部接合 整・外面 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ナデ 裾部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・脚部
環	7		胎・白色粒子 細砂粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙褐色 出・竈裾 残・ $\frac{1}{2}$

环	8.		胎・白色粒子少 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナ デ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面二回ヨコナデ 焼・良 色・ 橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
---	----	--	--

## 夏目遺跡26号住居址(第59・60図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 15.9	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土 帯積み上げ 整・内外面胴部ナデ 口縁部ミズビキ 焼・良 外面一部炭 素付着 色・橙褐色 使・内面鉄分付着か? 残・ほぼ完形
甕	2	底径 8.0	胎・石英 褐鉄粒 成・不明 整・内面 ナデ 焼・良 色・橙褐色 使 ・底部摩滅 残・底部
高环	3		胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・裾部と脚部 脚部と环底部 环底部と 环縁部接合 脚部粘土帯積み上げ 整・内外面裾部ヨコナデ 脚部ナデ? 环底部及び环縁部風化不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・裾部 $\frac{1}{2}$ 脚部 环底部 $\frac{1}{2}$ 环縁部 $\frac{1}{2}$ 備・復原不良
高环	4		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・裾部と脚部接合(内面接合慎明瞭) 整・外 面 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ナデ 裾部内外面ヨコナデ 焼・ 善(内外面炭素付着) 色・橙褐色 残・裾部 $\frac{1}{2}$ 脚部 $\frac{1}{2}$
碗	5	口径 9.6 器高 6.7	胎・石英 角閃石 褐鉄粒多 成・胴部中央部 頸部接合 整・外面 胴 部ヘラケズリ後ナデ 内面 ヘラナデ(ヘラオサエ有り 弧状ヘラか?) 焼・良 外面炭素付着 色・外 黒褐色及び橙褐色 内 灰褐色及び橙褐 色 残・ほぼ完形
碗	6		胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・不明 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 内面 底部ヘラケズリ 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼 ・善 色・橙褐色 使・外面胴部帯状に炭素付着 出・竈 残・口縁部 $\frac{1}{2}$
埴	7		胎・褐鉄粒 成・頸部接合 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 内面 ナデ 焼・良 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 残・口縁部欠 損 備・手捏風
埴	8	口径 10.8 器高 12.7	胎・白色粒子 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 胴部外面及び口縁部内外面一 部炭素付着 残・ほぼ完形 備・二次的熱受けるか?
埴	9	口径 12.5	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 口縁部粘 土帯三段積み上げ 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部ヘラミガキか? 内 面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 内外面一部炭素付着 色 ・橙褐色 残・ほぼ完形(口縁部一部欠損)
埴	10	口径 8.1	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒多 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部上



		器高 8.5	粘土帯積み上げ 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ハケ調整後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色 ・橙褐色 残・ほぼ完形
--	--	--------	--

## 夏目遺跡28号住居址 (第61図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 16.5	胎・石英多 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 胴部ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 使・外面風化の ためザラつく 残・胴部一部 口縁部
甕	2		胎・白色粒子 石英 成・口縁部三段積み上げか? 整・内外面風化不明 瞭 焼・良 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・口縁部
甕	3	底径(7.0)	胎・白色微石 石英 角閃 石成・不明 底部上がり底 整・外面 ヘラ ケズリ後ナデ 内面 ナデ 焼・善 外面炭素付着 色・橙褐色 出・甕 内 残・底部
甕	4	口径(11.7) 器高 16.2	胎・白色粒子 石英多 褐鉄粒 成・頸部接合 底部ケズリ出し 胴部粘 土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外 面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 内面やや赤味帯びる 出・甕内 残・ 口縁部一部欠損
瓶	5	口径 23.1 器高 25.0	胎・褐鉄粒多 成・頸部接合 孔部ヘラ切り 胴部粘土帯積み上げ 整・ 外面 胴部ヘラケズリ 内面 孔部周辺ヘラケズリ後ナデ 胴部ナデ 口 縁部内外面ヨコナデ 焼・良 胴部外面及び口縁部内面炭素付着 色・橙 褐色 出・貯蔵穴内 残・完形
瓶	6	口径 14.3 器高 11.9	胎・白色粒子 褐鉄粒多 成・孔部ヘラ切り 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙 褐色 出・貯蔵穴内 残・完形
甕	7	口径 11.4 器高 10.8	胎・砂粒 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 形・変形 焼・善 外面炭素付着 色・橙褐色 内面黒ずむ 残・ほぼ完形 備・No.6の瓶が上に重なり出土
坏	8	口径 11.4 器高 4.3	胎・白色粒子少 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底 部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 外面一部黒ずむ 残・ほぼ完形 備・二次的熱受ける
坏	9	口径 10.9 器高 3.9	胎・白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面一部炭素付着 色・橙褐 色 出・床直 残・口縁部一部欠損

## 夏目遺跡29号住居址 (第62図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 16.2 器高 29.7	胎・白色微石 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部 ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ヘラナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 内面灰褐色 残・完形
甕	2		胎・褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積上 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
甕	3		胎・白色微石 褐鉄粒 石英 成・胴部下半と上半接合 胴部粘土帯積み 上げ 整・外面 ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・善 外面炭素付着 色・ 橙褐色 (赤味) 使・風化 (二次的熱) のため器面軟弱 出・甕内 残・ 底部 胴部下半
甕	4	口径 26.0 器高 27.7	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 孔部ヘラ切り 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面 $\frac{1}{2}$ 炭素付着 色・橙褐色 残・ほぼ完形
高环	5		胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・脚部と底部 底部と口縁部接合 整・外 面 脚部及び底部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ヘラケズリ後ナデ 底部 ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 出・甕内 残・脚部 底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
高环	6	口径(13.0) 器高(10.0)	胎・白色粒子 砂粒 角閃石 成・風化不明瞭 整・外面 脚部及び底部 ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ヘラケズリ後ナデ 底部ナデ (ヘラオサエ 有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・内面口縁部炭 素付着 残・裾部一部 脚部 底部 口縁部 $\frac{1}{2}$
高环	7		胎・白色粒子 石英 成・裾部と脚部 脚部と底部接合 整・外面 脚部 及び底部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ヘラケズリ 底部ヨコナデ 口縁 部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部一部 脚部 底部 $\frac{1}{2}$
环	8	口径 11.5 器高 4.5	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘ ラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・ 橙褐色 出・甕袖 接・甕袖 貯蔵穴西 残・口縁部一部欠損
环	9		胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・善 色・橙褐色 出・甕袖 残・ $\frac{1}{2}$
环	10		胎・白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部風化不明瞭 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐 色 使・内外面口縁部炭素付着 (二次的熱受ける) 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
环	11	口径(11.6)	胎・褐鉄粒 成・胴部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ

環	1 2	器高 5.6	内面 底部下半ナデ (ヘラオサエ有り) 底部ヨコナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善色・橙褐色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
		口径 11.4 器高 4.3	胎・白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・底部 (一部欠損) 口縁部 $\frac{1}{2}$
環	1 3	口径 11.8	胎・白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ
		器高 4.8	内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・口縁部一部欠損
環	1 4	口径 12.4	胎・白色粒子 角閃石 褐鉄粒少 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善色・橙褐色 残・口縁部一部欠損
		器高 5.0	
環	1 5	口径 12.6	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 使・内面口縁部剝離 残・ $\frac{1}{2}$ 備・二次の熱受ける
		器高 4.8	
環	1 6	口径 12.9	胎・色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 使・外面 内面口縁部炭素附着 残・底部 (一部欠損) 口縁部 $\frac{1}{2}$
		器高 4.7	
埴	1 7		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・胴部下半と上半接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 焼・良 外面一部炭素附着 色・褐色 残・胴部 $\frac{1}{2}$

## 夏目遺跡30号住居址 (第63図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 15.8	胎・白色微石多 角閃石多 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面
		器高 31.8	風化摩滅不明瞭 内面 胴部ヘラナデ ヘラオサエ有 焼・良色・褐色 使・外面胴部焼土及び炭素附着 接・壺裾 貯蔵穴内 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
甕	2	口径 13.0	胎・白色微石 石英 褐鉄粒 成・胴部下半接合 頸部接合 胴部粘土帯
		器高 22.4	積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・善色・外面 橙褐色 内面 黄褐色 使・内面 胴部下半一部炭素附着 残・ほぼ完形
甕	3	口径 14.1	胎・石英 褐鉄粒多 成・底部と胴部 胴部下半 頸部接合 粘土帯積み
		器高 21.7	上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 使・底部及び胴部下半風化摩滅 著しい 出・壺周辺 残・ほぼ完形
高環	4		胎・褐鉄粒 成・粘土帯積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 裾部ヨコナデ 脚部絞り痕明瞭 ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・裾部 $\frac{1}{2}$

高环	5		脚部 胎・黒色粒子 褐鉄粒 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 脚部接合部からヘラケズリ 焼・良 内面裾部炭素附着 色・橙褐色 (内面裾部黒灰色) 残・裾部 $\frac{1}{2}$ 脚部 坏底部 $\frac{1}{2}$
环	6	口径 12.7 器高 4.5	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・淡橙褐色 使・内外面風化摩滅 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
环	7	口径(12.3) 器高(6.1)	胎・石英 褐鉄粒 成・不明 整・内外面風化不明瞭 焼・悪 色・外橙褐色 内 灰褐色 使・風化摩滅著しい(特に口唇部) 出・電裾 残・ほぼ完形 (口唇部欠損 擬口縁状) 備・二次的熱受ける
环	8	口径 13.2 器高 4.9	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・著 色・橙褐色 出・電裾 接・電裾 南西壁付近 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
环	9	口径 13.5 器高 4.6	胎・褐鉄粒多 成・底部と胴部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・著 色・淡橙褐色 接・電裾 電付近 残・完形
环	10	器高(5.0)	胎・褐鉄粒 白色粒子 角閃石 石英 成・底部と口縁部接合 整・外面底部風化不明瞭 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 底部外面一部炭素附着 色・褐色 残・底部 口縁部 $\frac{1}{2}$
环	11	口径 12.0 器高 4.5	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部炭素附着 色・黄褐色 残・底部 口縁部 $\frac{1}{2}$
埴	12		胎・黒色粒子 成・頸部接合 整・内外面 胴部ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・著 色・橙褐色 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$ 使・内面鉄分附着
紡錘車	13		上面径2.5cm 下面径4.5cm 高さ(厚さ)2.3cmで、中央に径7~8mmの孔を穿つ。石材は滑石上面は自然面をわずかに研磨しているのみである 側面は研磨面の境がわずかな線をなし、内湾する曲線を描く。上面及び側面は灰白色 下面は緑灰色。重さは5.2gである。

## 夏目遺跡3 1号住居址 (第64図1~2)・3 2号住居址 (第64図3~18)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 19.0	胎・褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著 色・橙褐色 内 灰色 使・外面焼土附着 風化 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部
环	2	口径 12.2 器高 4.5	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・ 唇と口縁部接合 整・外面 底部器面軟弱 風化不明瞭 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ

壺	3	口径(16.7) 器高 31.0	焼・良色・橙褐色 残・ㄥ 胎・白色粒子 角閃石 小石 成・頸部接合 粘土帯積み上げか? 底部自重により上がる 整・内外面 胴部ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・外 淡橙褐色 内 黄褐色 使・外面 胴部上半剥離風化 残・ほぼ整形
壺	4	口径 11.5 器高 16.0	胎・褐鉄粒 石英 角閃石 成・底部と胴部 胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部下半ヘラケズリ後ナデ 上半ナデ 内面 胴部ヘラナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・床直 残・胴部以下一部欠損
壺	5		胎・褐鉄粒 角閃石 成・頸部接合 整・内外面 胴部ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・口縁部ㄥ
壺	6		胎・褐鉄粒多 成・頸部接合 内面接合痕明瞭 整・内外面 胴部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 焼・善色・橙褐色 残・口縁部ㄥ
壺	7		胎・白色粒子 角閃石 成・不明 整・外面 ヘラミガキ 内面 ナデ 焼・善色・暗褐色 残・底部
飯	8	口径 17.0 器高 13.0	胎・褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合(胴部粘土紐積み上げ) 孔部ヘラケズリ 整・外面 孔部周辺ヘラケズリ 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・ㄥ
高环	9		胎・角閃石 成・裾部と脚部接合 粘土紐巻き上げ 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 裾部ヨコナデ 脚部ナデ 焼・善色・橙褐色 残・裾部一部 脚部
高环	10	口径(18.9)	胎・褐鉄粒多 角閃石 石英 成・脚部と環底部筋状粘土で接合 環底部と環縁部接合 整・内外面 環底部ナデ 環縁部ヨコナデ 焼・善 環縁部外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・環底部外面切痕重 残・環底部 口縁部ㄥ
高环	11	底径 13.9	胎・褐鉄粒 成・裾部と脚部 脚部と環底部(筋状粘土)接合 脚部粘土紐積み上げ 絞り痕明瞭 整・外面 脚部風化不明瞭 内面 脚部ヘラケズリ後ナデ 裾部内外面ヨコナデ 焼・良色・茶褐色 黒褐色 使・外面剥離 残・裾部 脚部
高环	12		胎・白色粒子 成・粘土帯積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・善 外面一部炭素付着 色・外 橙褐色 暗褐色 内 黄褐色 暗褐色 出・北東ビット上 残・裾部一部 脚部
高环	13		胎・白色微石 石英 褐鉄粒 成・裾部下半と上半 裾部と脚部接合 整・外面 裾部ヨコナデ 脚部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ヘラケズリ 焼・良色・外 裾部 橙褐色 茶褐色 脚部 橙褐色 黒褐色 内 焼

高環	14	底径 12.6	褐色 使・裾内面二次的熱受ける? 残・裾部 $\frac{1}{2}$ 脚部 胎・褐鉄粒 石英 成・裾部と脚部 脚部と環底部 (膝状粘土で接合 脚部接合部分にきざみを入れ ある) 接合 整・外面 脚部ナデ 環底部ヘラケズリ後ナデ 内面 脚部ヘラケズリ 環底部ナデ 裾部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・環縁部欠損
環	15	口径 15.0 器高 4.6	胎・褐鉄粒多 石英 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 底ケズリ出し 内面 底部暗文状のナデ (ミガキか?) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
環	16	口径 14.0 器高 4.3	胎・褐鉄粒 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部下半ヘラケズリ 底ケズリ出し 上半ヘラケズリ後ナデ 内面 底部同心円状ナデ後暗文 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 黒褐色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
碗	17		胎・褐鉄粒 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ後暗文 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
罎	18		胎・白色粒子 石英 成・底部と胴部 頸部 口縁部下半と上半 (接合部分で分離) 接合 胴部四段の積み上げ 整・外面 胴部下半ヘラケズリ後ナデ 上半ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 胴部 口縁部下半 $\frac{1}{2}$ 備・板痕有り

## 夏目遺跡33号住居址 (第65・66図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 17.0 器高 31.4	胎・褐鉄粒 微石 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 頸部以下全面ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ほぼ完形
甕	2	口径 14.0 器高 22.3	胎・褐鉄粒 成・胴部下半及び頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段積み 整・外面 頸部以下全面ヘラケズリ 頸部弧状ヘラ痕残る 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 使・口縁部表裏無作為の穴が貫通 残・ほぼ完形
甕	3		胎・0.1~0.2微石 小石少 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 頸部弧状ヘラ痕有り 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・胴部一部 口縁部一部
甕	4		胎・褐鉄粒 石英 角閃石 成・不明 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 出・甕周辺 残・胴部上半 口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	5	口径 17.4	胎・褐鉄粒 石英多 成・頸部接合 口縁部三段積み上げか? 整・外面

甕	6	口径 10.5 器高 11.0	胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・茶褐色 出・竈周辺 残・口縁部 胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部ハケ調整(中央部一部ヘラケズリ残る) 内面 胴部下半ナデ 上半 ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 内外面上半一 部黒ずむ 残・完形
甕	7	底径 6.2 孔径 2.0	胎・石英 褐鉄粒 成・孔部ヘラ切り 整・外面 ナデ 内面 ナデ(ヘ ラオサエ有) 焼・普 外面一部炭素付着 色・外 橙褐色 内 黒褐色 残・底部 胴部一部
甕	8	器高 25.9	胎・褐鉄粒 小石少 0.1~0.2微石多 成・頸部接合 孔部ヘラ切り 粘土帯積み上げ 整・口縁部不明瞭 胴部外面ヘラケズリ 焼・普 色・ 橙褐色 出・竈袖 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部一部
高坏	9	口径 16.4 器高 15.1	胎・白色粒子 石英 成・裾部と脚部 脚部と坏底部(騎状粘土) 坏底 部と坏縁部接合 口唇部に沈線を施す 整・外面 脚部ナデ 坏底部ヘラ ケズリ後ナデ 裾部及び坏縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面坏縁部一部 炭素付着 色・橙褐色 使・内面坏底部剝離 残・ほぼ完形
坏	10	口径 12.1 器高 5.9	胎・白色粒子 成・底部と胴部 頸部接合 整・外面 底部及び胴部風化 厚減不明瞭(ヘラケズリ後ナデか?) 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有) 後暗文状 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面胴部一部炭素付着 色・ 橙褐色 使・外面 風化厚減 内面 剝離 残・ $\frac{1}{2}$
埴	11		胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 整・胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
埴	12		胎・白色粒子 成・底部と胴部 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部炭素付着 色 ・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
坏	13		胎・褐鉄粒 白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズ リ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・黒褐色 出・ 竈周辺 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部一部
埴	14	口径 10.7	胎・石英 角閃石 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部三段積み 上げ 整・外面 口縁部ヨコナデ 内面 口縁部ヨコナデ後暗文 胴部内 外面ナデ 焼・良 胴部内面一部炭素付着 色・橙褐色 出・竈袖 残・ 胴部上半 口縁部
埴	15	底径 4.0	胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ 焼・ 良 色・橙褐色 出・床直 残・底部

## 夏目遺跡35号住居址 (第67図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 17.3 器高 29.7	胎・褐鉄粒 石英 角閃石 成・底部と胴部 胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後 ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・暗い橙褐色 残・ほぼ完形 (胴部一部欠損) 備・復原不良
甕	2	底径 8.2	胎・褐鉄粒 成・底部と胴部接合 整・外面 胴部ヘラナデ 内面 ナデ (ヘラオサエ有) 焼・普 胴部外面一部炭素付着 色・茶褐色 使・外 面風化摩滅 残・底部欠 備・復原不良
甕	3		胎・黒色粒子 白色粒子 成・口縁部二段積み 上げ 整・内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部欠
埴	4	口径 13.6 器高 7.5	胎・褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 後ナデ 内面 胴部同心円状ナデ 弧状ヘラ痕 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・内外面鉄分付着 残・ほぼ 完形
高坏	5		胎・石英多 褐鉄粒 成・粘土紐積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残・裾部一部 脚部
高坏	6	口径 15.2 器高 11.7	胎・石英 角閃石 白色粒子 成・裾部と脚部 脚部と坯底部 坯底部と 環縁部接合 脚部内面天井部粘土充填 整・外面 ナデ後ヘラミガキ 内 面 裾部ヘラミガキ 脚部ヘラケズリ後ナデ 坯底部ナデ後ヘラミガキ 環縁部ヨコナデ後ヘラミガキ 焼・良 色・外 橙褐色 内 裾部及び脚 部黄褐色 環縁部橙褐色 残・ほぼ完形
埴	7	口径 9.9 器高 9.0	胎・褐鉄粒 白色粒子 成・胴部下半と上半 頸部接合 口縁部二段積み 上げ 整・外面 底部及び胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 内面 胴部ナ デ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 底部内外面炭素付着 色・橙褐色 残・欠

## 夏目遺跡36号住居址 (第68図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	底径 5.8	胎・石英多 褐鉄粒 成・底部と胴部接合 整・外面 ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・普 内外面炭素付着 色・橙褐色 使・二次的熱か? 残・底 部 胴部一部
甕	2		胎・白色粒子 石英 角閃石多 褐鉄粒 成・不明 整・外面 風化不明 瞭 内面 ナデ (ヘラオサエ有) 焼・良 内外面一部炭素付着 色・ 橙褐色 使・二次的熱受ける 残・底部欠



壺	3	口径 8.0	胎・白色粒子 石英 角閃石 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 ヨコナデ後暗文状ヘラミガキ 内面 ヨコナデ 口唇部暗文状ヨコのヘラ ミガキ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部
坏	4		胎・不明瞭 成・底部と口縁部接合 整・内外面剥離風化不明瞭 焼・良 色・黄褐色 使・内外面剥離風化 残・以

## 夏目遺跡37号住居址 (第69図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
坏	1	口径 13.4 器高 4.2	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ ノッキング痕有り 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色 ・橙褐色 出・北寄りピット内 接・北寄りピット内及びピット付近 残 ・ほぼ完形
高坏	2		胎・白色粒子多 成・不明瞭 整・内外面風化不明瞭 焼・良 色・橙褐 色 使・外面風化著しい 残・脚部上半 坏底部一部

## 夏目遺跡38号住居址 (第70・71図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
壺	1	口径 17.5 器高 32.7	胎・白色粒子 0.1~0.2微石多 小石少 成・胴部下半と上半 頸 部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面風化摩滅不明瞭 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色 ・橙褐色 使・外面胴部焼土付着 残・ほぼ完形
壺	2	口径 16.2	胎・0.1~0.2砂粒多 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘 土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外 面ヨコナデ 焼・善 外面環状に炭素付着 色・橙褐色 使・内外面胴部 中央部帯状に炭素付着 残・底部欠損
壺	3	口径 17.5	胎・褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・ 外面 ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・善 色・橙褐色 残・底部欠損
壺	4	口径 15.6 器高 16.8	胎・白色粒子 成・粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 内面口縁部一部炭素付着 色 ・橙褐色 使・胴部下半剥離欠損著しい 残・底部欠損 備・胴部以下 二次的熱受ける
壺	5	口径 13.5	胎・0.2砂粒 褐鉄粒 成・頸部接合か? 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラナデ (弧状ヘラ痕有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・胴部上半 口縁部
高坏	6		胎・白色粒子 角閃石 成・不明 整・内外面裾部ヨコナデ 脚部ヘラケ ズリ 焼・善 色・橙褐色 残・裾部以下 脚部

高坏	7		胎・角閃石 成・不明 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 脚部ヘラケズリ 裾部ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部一部 脚部
坏	8	口径 12.5 器高 4.2	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 (白色帯びる) 残・ $\frac{1}{2}$
坏	9	口径 13.6 器高 4.6	胎・白色粒子 角閃石 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 (口縁部二段積みか?) 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 (黒ずむ) 残・ $\frac{1}{4}$
碗	10		胎・白色粒子 成・底部と胴部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ (疎ハケか?) 胴部ナデ (弧状ヘラ痕有り) 焼・良 色・橙褐色 残・底部
土鍾	11		長さ7.4cm 径1.8cm 孔径5mm 黄褐色で一部黒斑あり。重きは1.8gである。

## 夏目遺跡39号住居址 (第72図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・褐鉄粒 白色粒子 黑色粒子 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 残・胴部上半 口縁部各一部 備・図上復原
甕	2		胎・石英 砂粒 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 使・内外面風化摩滅器面ザラつく 二次的熱受ける 残・口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	3	底径 7.5	胎褐鉄粒 成・胴部下半と上半接合 (接合部分で分離する) 整・外面ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ 焼・良 底部外面炭素付着 色・橙褐色 内面黒ずむ 残・底部 $\frac{1}{2}$
甕	4	底径 6.1	胎・小石少 白色粒子 成・底部と胴部接合か? 弧状ヘラ痕か 整・外面 風化不明瞭 内面 ナデ (ヘラオサエ有) 焼・善 内面炭素付着 色・外 橙褐色 内 黒色 使・外面風化二次的熱受ける 出・甕内 残・底部
甕?	5	口径 18.0	胎・石英 褐鉄粒 成・胴部と口縁部接合 胴部粘土層積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 出・甕内 残・底部欠損
坏	6		胎・白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・底部一部 口縁部 $\frac{1}{2}$
坏	7		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ヘラミガキ 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 黒褐色 出・甕内 残・

環	8	3/6 胎・白色粒子 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ（ヘラオサエ有） 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 出・電袖 残・1/2
---	---	--

## 夏目遺跡40号住居址（第73・74・75・76図）

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 19.2	胎・砂粒多 石英 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 胴部ヘラナデ（ヘラオサエ有） 口縁部ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 出・電裾 接・電裾 甕内 残・胴部上半 口縁部
甕	2	口径 25.2	胎・白色粒子 褐鉄粒 石英 成・胴部粘土帯積み上げ 整・胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ（ヘラオサエ有） 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善色・橙褐色 残・胴部上半 口縁部
甕	3	口径 18.7 器高 37.9	胎・白色粒子 褐鉄粒 石英 成・頸部接合 粘土紐積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・善色・橙褐色 使・胴部下半外面一部及び底部外面炭素付着 胴部一部焼土付着（風化摩滅） 出・電袖（ブリッジに使用） 残・ほぼ完形
甕	4	口径 18.5 器高 38.2	胎・砂粒多 角閃石 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段に積み上げか？ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラナデ（ヘラオサエ有） 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面 胴部一部炭素付着 色・外 橙褐色 内 下半黄褐色 上半橙褐色 使・口縁部一部二次的熱強く受ける 出・電袖 残・ほぼ完形（口縁部一部欠損）
甕	5	器高 36.5	胎・褐鉄粒 角閃石 石英 砂粒多 成・胴部下半 頸部接合 底部はケズリ出し？ 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 出・電袖 残・口縁部1/2欠損
甕	6	口径 17.3 器高 35.5	胎・褐鉄粒 角閃石 成・胴部下半と上半 頸部接合 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラナデ（ヘラオサエ有） 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 胴部外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・胴部外面焼土付着 口縁部一部二次的熱受ける 出・電裾 残・ほぼ完形
甕	7	口径 21.4	胎・砂粒多 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段に積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 ナデ 口縁部内外面ミズビキ 形・底部は丸底か？ 焼・善 胴部外面一部 胴部内面 口

甕	8	口径 15.7 器高 24.7	縁部内面一部炭素付着 色・外 橙褐色 内 黒色 出・床直 残・胴部 1/2 口縁部 備・復原不良 胎・褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 口縁部二段に積み上げか？ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナ デ 形・丸底 焼・著 胴部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・胴部一 部欠損
甕	9	口径 15.7 器高 20.5	胎・褐鉄粒 角閃石 石英 成・底部ケズリ出し 胴部下半と上半 頸部 接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケ ズリ 内面 胴部ヘラナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著 色・橙褐色 出・床直 残・胴部一部欠損
甕	10	底径 6.5	胎・褐鉄粒 成・粘土帯積み上げ 整・外面・胴部ヘラケズリ後ナデ ノ ッキング痕有 内面 ナデ 形・底部ケズリ出し丸底 焼・著 底部内面 及び胴部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・底部 胴部1/2
甕	11	底径 7.0	胎・砂粒多 褐鉄粒 成・底部と胴部 胴部下半接合 粘土帯積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 ナデ 焼・著 色・外 橙褐色 内 黄褐 色 使・胴部外面二次の熱受ける 出・電襦 接・電襦 北西壁 残・底 部 胴部下半一部
甕	12	底径 4.3	胎・石英 成・胴部粘土帯積み上げ 接合部きざみ目 整・外面 ヘラケ ズリ 内面 ナデ 焼・著 色・橙褐色 使・外面一部炭素付着 残・底 部1/2 胴部下半
甕	13	器高 30.1	胎・褐鉄粒 成・頸部接合 孔部ヘラ切り 粘土帯積み上げ 口縁部二段 積み上げ 整・内外面風化不明瞭 焼・著 胴部下半一部炭素付着 色・ 橙褐色 使・内外面風化 出・電内 接・電内 電袖 残・1/2
甕	14		胎・黒色粒子多 褐鉄粒 成・不明瞭 整・口縁部内外面ヨコナデ 焼・ 良 色・淡黄褐色 残・口縁部1/2
甕	15	口径 14.2	胎・砂粒 白色粒子 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・胴部ヘラ ケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著 色・橙 褐色 接・南西コーナー付近 電南側 残・胴部1/2 口縁部
甕	16	口径 13.7 器高 12.6	胎・褐鉄粒 石英 砂粒 成・底部と胴部 胴部下半と上半 頸部 口縁 部下半と上半接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・1/2
甕	17	口径 16.1	胎・石英 白色粒子 褐鉄粒 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色 ・橙褐色 使・口縁部内面リング状摩減 出・貯蔵穴内 残・口縁部
鉢	18	口径 23.2 器高 11.7	胎・白色粒子 褐鉄粒 石英 角閃石 成・底部と胴部 胴部と口縁部接 合 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ミガキ 内面 胴

			部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 形・底部ケズリ出し丸底風 焼・良色・黄褐色 使・外面 上半炭素付着 内面 口縁部剥離著しい 出・床直残・完形
壺	19	口径 9.6	胎・褐鉄粒 成・頸部接合 整・内外面風化不明瞭(器面軟弱) 焼・善色・橙褐色 出・竈襖 残・胴部一部 口縁部
環	20	口径 11.9	胎・褐鉄粒 細砂 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化不明瞭(器面軟弱) 焼・良色・橙褐色 出・床直 残・完形
環	21	口径 13.9 器高 4.5	胎・褐鉄粒 角閃石 石英 成・底部と口縁部接合 口縁部二段積みか? 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面二回のミズビキ 焼・良 内外面与黒ずむ 色・橙褐色 残・ほぼ完形
環	22	口径 12.5 器高 4.2	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 口縁部二段積みか? 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙褐色 使・器面軟弱 残・ほぼ完形
環	23	口径 12.1 器高 4.7	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面器面軟弱風化不明瞭 焼・良色・明るい橙褐色 出・北東柱穴内 残・ほぼ完形
環	24	口径 13.4 器高 4.6	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 口縁部二段積み上げか? 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善色・橙褐色 残・完形
環	25	口径 12.4 器高 4.3	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・器面軟弱なため調整不明瞭 焼・良色・橙褐色 出・床直 残・完形
環	26	口径 11.8 器高 4.9	胎・褐鉄粒 石英 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良色・橙褐色 残・完形
環	27		胎・褐鉄粒 石英 黒色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ(ノッキング痕) 内面 底部ヘラオサエ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善色・黄褐色 残・与備・粘土わり込み
環	28	口径 11.5 器高 4.4	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ(ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 器面軟弱 色・橙褐色 使・外面底部風化 残・完形
環	29	口径 12.7 器高 4.3	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面器面軟弱風化不明瞭 焼・良色・橙褐色 出・床直 残・完形
環	30	口径 12.9 器高 4.3	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・ほぼ完形
環	31	口径 12.7 器高 4.4	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化不明瞭 焼・良色・橙褐色 使・風化 残・完形

环	3 2	口径 12.5 器高 5.0	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・床直 残・ほぼ完形 備・復原不良
环	3 3	口径 12.1 器高 4.5	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・完形 備・口縁部から底部に亀裂が入る
环	3 4	口径 11.9	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・内外面器面軟弱風化不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ
环	3 5	口径 12.8 器高 4.6	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 口縁部二段積み上げか? 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ほぼ完形
环	3 6		胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 出・床直 残・口縁部ㄥ欠損

夏目遺跡4 1号住居址 (第77図1~6)・4 2号住居址 (第77図7)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
鉢	1	口径 14.0 器高 10.8	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・口縁部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・悪 色・橙褐色 残・ㄥ
鉢	2	口径 13.2 器高 7.7	胎・石英 成・底部と胴部 口縁部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (弧状ヘラ痕有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・完形
埴	3		胎・白色粒子 0.1~0.2砂粒 成・底部と胴部 胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・悪 色・橙褐色 (黒ずむ) 使・内面底部剝離 残・底部ㄥ 口縁部ㄥ
环	4	口径 12.6 器高 3.8	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部同心円状ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・壺内 残・完形
环	5	口径 12.9 器高 3.5	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残・完形
环	6	口径 11.2 器高 4.2	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化不明瞭 焼・良 器面軟弱 色・橙褐色 出・壺内 残・完形
环	7	口径 13.8 器高 5.1	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・風化不明瞭 器面軟弱 形・器形歪む 焼・良 色・明るい橙褐色 残・ほぼ完形

## 夏目遺跡4 4号住居址 (第78図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径(18.3)	胎・褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著色・橙褐色 使・胴部外面鉄分附着 残・胴部 $\frac{1}{4}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
環	2	口径 12.0 器高 4.0	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・著色・橙褐色 残・ $\frac{1}{4}$
環	3	口径 10.9 器高 4.5	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 口縁部二段積みか? 整・内外面不明瞭 器面軟弱 焼・良色・橙褐色(白色帯びる) 残・完形
環	4	口径 12.5 器高(4.4)	胎・褐鉄粒 成・不明瞭 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$

## 夏目遺跡4 5号住居址 (第79図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・石英 角閃石 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヨコナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・口縁部 $\frac{1}{4}$
環	2	口径 10.8 器高 3.2	胎・石英 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著色・橙褐色 出・床直 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{4}$
環	3	口径 11.6 器高 3.3	胎・石英 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後 ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・底部 口縁部(一部欠損)
環	4	口径 13.4 器高 3.2	胎・石英多 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・ほぼ完形
環	5		胎・石英 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部一部炭素附着 色・外 橙褐色 内 淡灰褐色 残・ $\frac{1}{4}$
環	6		胎・黒色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・底部 $\frac{1}{4}$ 口縁部 $\frac{1}{4}$

夏目遺跡46号住居址(第80図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・白色粒子 褐鉄粒 石英 成・頸部接合 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・外 橙褐色 出・床直 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	2	口径 20.6	胎・石英 角閃石 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・外 橙褐色 使・胴部下半焼土付着 出・甕内 接・甕内 甕付近 残・底部欠損
甕	3		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著 内面胴部炭素付着 色・橙褐色 暗褐色 使・外面 胴部一部焼土付着 内面 胴部及び口縁部一部炭素付着 残・胴部 $\frac{1}{2}$
甕	4	口径 21.5	胎・石英 角閃石 砂粒 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内外面風化不明瞭 焼・良色・外 橙褐色 使・内外面風化摩滅 接・甕付近 甕内 残・胴部一部 口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	5		胎・褐鉄粒 石英 成・底部と胴部 胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ(方向不明) 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・外 橙褐色 使・内面一部炭素付着 残・底部 胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部一部
甕	6		胎・白色粒子 成・頸部接合 口縁部三段積み上げか? 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・外 赤褐色 内 橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	7	口径 12.6 器高 3.7	胎・石英少 成・底部と口縁部接合か? 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・外 淡灰褐色 内 橙褐色 出・甕裾 残・ほぼ完形
環	8	口径 14.7 器高 3.8	胎・角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ(ノッキング痕有) 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・外 橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	9	口径 12.8 器高 3.0	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良色・外 橙褐色 残・ほぼ完形(口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損)
環	10	口径 12.5 器高 3.6	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良色・外 橙褐色 残・ほぼ完形



環	1 1	口径 15.1 器高 4.3	胎・角閃石 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部 ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形(口縁 部一部欠損)
環	1 2	口径 14.4 器高 4.0 底径 8.2	胎・白色針状粒子多 白色粒子多 成・ロクロ 右回転 整・底部ヘラ切 り 焼・善 色・青灰色 外面に黒色の火燻あり(他の環との重なりあい ) 残・ほぼ完形(口縁部一部欠損)
蓋	1 3	鈕径 4.6	胎・黒色砂粒 成・ロクロ つまみ貼付 形・つまみ部中央がもりあがる 焼・悪 色・黄色味をおびた灰色 残・つまみ
蓋	1 4		胎・白色粒子少 成・ロクロ 焼・悪 表面ザラつく 色・青灰色 残・ 破片
高台 付環	1 5	底径(13.4)	胎・黒色粒子少 成・ロクロ 整・底部ヘラ切り 高台貼付 焼・悪 色 ・灰白色 残・高台写
環	1 6	口径(11.8) 底径(8.6) 器高 3.4	胎・黒色粒子 成・ロクロ(右回転) 内外面ロクロ痕明瞭 整・底部ヘ ラ切り 焼・悪 器面が軟弱 色・外 灰白色 内 黄色味をおびた灰白 色 残・底部写 口縁部写
鉄線	1 7		二つに折れているものを図上で接合したもので、長さ11.2cm、幅4mmで 断面は正方形である。先端が細くなり全体的に錆化が進んでいる。

## 夏目遺跡47号住居址(第81図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 23.1 器高 29.9	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 口縁部二段積み上げ 整・外 面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面 ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・外面焼土付着 一部炭素付着 内面 胴部下半部分的に剝離 全面炭素付着 残・ほぼ完形
甕	2		胎・白色粒子 0.1~0.2砂粒 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズ リ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面風化不明瞭 焼・ 善 色・橙褐色 残・胴部一部 口縁部写
甕	3	口径(23.1)	胎・白色粒子 石英 角閃石 褐鉄粒 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ミズビキか? 焼・善 外面胴部下半一部炭素付着 色・内外面 橙褐色及び黄褐色 残・底部欠 損
鉢	4	口径 13.1 器高 10.5	胎・白色微石 成・外面底部木葉痕 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 外面底部及び胴部一部炭素付着 色・黄褐色 使・内面剝離風化著しい 接・47号住 55号住 残・口縁部写欠損
環	5		胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状

環	6		ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 内面鉄分附着 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$ 胎・角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部一部炭素付 着 色・黄褐色 残・ $\frac{1}{2}$
埴	7		胎・石英 褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面ヘラケズリ 内面 ナデ 胴部 上半絞り痕 焼・良 色・橙褐色 形・口縁部欠 穿孔一ヶ所認められる 残・ $\frac{1}{2}$
蓋	8	口径(18.2)	胎・黒色砂粒微量 成・ロクロ右回り 焼・悪 色・黄色味を帯びた灰色 残・ $\frac{1}{2}$
環	9		胎・黒色粒子少 成・ロクロ 整・底部ヘラケズリ 外面ロクロ痕明瞭 焼・悪 色・白灰色
環	10	口径(12.0) 底径(8.1) 器高 2.9	胎・黒色粒子 成・ロクロ 整・底部ヘラ切り 形・底部わずかに上がる 焼・悪 色・黄色味を帯びた灰白色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
環	11	口径(11.0) 底径(7.6) 器高 2.7	胎・黒色粒子多 白色粒子少 成・ロクロ 整・底部ヘラケズリ 形・底 部がわずかにくぼむ 焼・善 色・外 青灰色 内 黄色味をおびた灰色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
長頸 壺	12	口径 11.6	胎・白色粒子 成・ロクロ 整・口縁部と胴部接合 接合部で分離 焼・ 良 堅緻 色・淡青灰色 残・口縁部

## 夏目遺跡48号住居址 (第82図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 23.5	胎・黒色粒子 石英 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 口縁部二段に積み 上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・外 橙褐色 内 口縁部橙褐色 胴 部淡黄褐色 出・床直 残・口縁部
甕	2		胎・白色粒子 角閃石 成・不明 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴 部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$
甕	3	口径 23.2	胎・褐鉄粒 白色粒子 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 口縁部内面一部炭素附着 色 ・外 橙褐色 内 茶褐色 橙褐色 使・風化摩滅 残・口縁部
甕	4	底径 5.0	胎・石英 砂粒 成・不明 整・外面 底部ケズリ出し 胴部ヘラケズリ 内面 ナデ (ヘラオサエ有) 焼・良 外面一部炭素附着 色・黄褐色 残・底部 胴部一部
高環	5	底径 12.7	胎・石英 白色微石 褐鉄粒 黒色粒子 成・裾部と脚部接合 脚部粘土

			継積み上げ(内面接合痕明瞭) 整・外面 裾部ヨコナデ 内面 裾部ヨコナデ(ヘラオサエ有) 脚部内外面ナデ 焼・良 裾部内外面一部及び脚部外面一部炭素付着 色・外 橙褐色 茶褐色 内 橙褐色 灰褐色 残・裾部 $\frac{3}{8}$ 脚部 備・フク土
環	6	口径 16.8 器高 5.8	胎・石英 角閃石 成・底部と胴部接合か? 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・南東壁 残・ $\frac{3}{8}$
環	7	口径 15.4 器高 4.7	胎・褐鉄粒 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・完形
環	8	口径 15.1 器高 4.8	胎・褐鉄粒 角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ(ノッキング痕有り) 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{3}{8}$
環	9	口径 17.0 器高 5.5	胎・石英 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ $\frac{3}{8}$
環	10	口径 14.4 器高 3.3	胎・角閃石 成・底部と胴部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・内外面鉄分付着 出・南東壁 残・ $\frac{3}{8}$
環	11	口径 14.4 器高 3.8	胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・黄褐色 使・内面鉄分付着 残・ $\frac{3}{8}$
環	12	口径 16.0 器高 4.6	胎・角閃石 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ(ノッキング痕有り) 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 底部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・ $\frac{3}{8}$
環	13	口径 12.4 器高 3.6	胎・石英 角閃石 白色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 底部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・完形
環	14	口径 12.2 器高 2.7	胎・角閃石 白色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{3}{8}$
環	15	口径 13.3	胎・角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{3}{8}$
環	16	口径 12.1 器高 3.0	胎・角閃石 石英 白色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・黄褐色 残・ $\frac{3}{8}$
環	17	口径 12.1 器高 3.1	胎・黒色粒子 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形
環	18	口径 13.5	胎・石英 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ

		器高 3.6	内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・南東壁 残・ほぼ完形
環	19		胎・角閃石 白色微石 石英 成・底部と口縁部接合 整・内外面 底部 風化不明瞭 口縁部ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・底部内外面風化 残・ㄥ
環	20		胎・角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同 心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ
環	21	器高 3.3	胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状 ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 一部炭素付着 残・ 口縁部ㄥ欠損
環	22		胎・角閃石 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部 ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ
環	23		胎・角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ(ノッキング痕 有) 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・外 淡灰褐色 内 茶褐色 残・ㄥ
塊?	24		胎・白色粒子 角閃石 整・不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残・破片 備・口縁部に外側より穿孔
耳環	25		外径1.7cmの円形 断面長径5.1mm 短径3.4mmの楕円 両末端でわずか な間隙をなして塊状、塊部の間隙は斜で錆化著しい。銅芯金張り、断面の 長径部縁に金張り接合痕、内側に一部金張り残る。

## 夏目遺跡49号住居址(第83図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・石英 角閃石 成・頸部接合 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部 ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐 色 使・外面焼土付着 出・竈袖 残・胴部上半一部 口縁部ㄥ
環	2		胎・白色粒子 成・不明 整・外面 風化剝離不明瞭 内面 胴部ナデ 焼・善 色・黄褐色 黒灰色 使・内外面風化剝離著しい 残・胴部ㄥ 口縁部ㄥ
環	3		胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ 内面 底部同心円状ナデ 色・茶褐色 残・底部ㄥ 口 縁部一部

## 夏目遺跡50号住居址 (第84図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 10.2	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部
高環	2		胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・裾部と脚部接合 脚部粘土紐螺旋状巻き上げ 整・外面 ヘラミガキ 内面 ナデ 焼・良 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・裾部一部 脚部
環	3	口径 12.8 器高 4.6	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 口縁部二回ミズビキ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部一部欠損
環	4	口径 12.6 器高 4.4	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 口縁部二段積み上げか? 整・外面 底部風化不明瞭 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面口縁部一部炭素付着 色・橙褐色 使・外面底部及び内面口縁部風化摩滅 残・ほぼ完形

## 夏目遺跡51号住居址 (第85・86図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	孔径 9.1	胎・白色粒子 角閃石 成・胴部下半と上半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ (ノッキング痕残る) 内面 孔部周囲ナデ 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・胴部 (一部欠損) 口縁部写
甕	2	器高 13.5	胎・石英 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデか? 内面 胴部ヘラケズリ後ナデか? (ヘラミガキ状) 光沢有り 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 残・底部 胴部写 口縁部写
甕	3	口径 6.8	胎・白色粒子 成・不明 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ (ヘラオサエ有り) 焼・善 内面炭素付着 色・橙褐色 使・内面靱痕有り 出・竈 残・底部写
甕	4	底径 5.9	胎・褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ 焼・善 色・橙褐色 出・竈 残・底部
高環	5		胎・白色粒子 成・環底部と環縁部接合 整・外面風化不明瞭 内面 底部同心円状ナデ 暗文認められる 環縁部内外面ヨコナデ 焼・悪 色・暗茶褐色 残・写
高環	6		胎・白色粒子 石英 角閃石 成・環底部と環縁部接合 (接合部で分離)

高坏	7	口径 17.6	胎・白色粒子 成・环底部と环縁部接合（接合部で分離） 整・内外面 ヨコナデ後暗文（花卉状暗文） 焼・普色・橙褐色 出・竈袖 残・环 縁部
高坏	8		胎・白色粒子 角閃石 成・裾部と脚部 脚部と环底部 环底部と环縁部 接合 整・外面 脚部及び环底部ナデ 内面 脚部紋り痕 裾部内外面ヨ コナデ 焼・良色・橙褐色 出・竈裾 残・裾部 $\frac{1}{2}$ 脚部 环底部 环 縁部一部
高坏	9	环底径20.0 最大高16.3 裾部径11.6	胎・白色微粒子多 成・不明瞭 整・外面 裾部ヨコナデ 脚部ヘラミガ キ 内面 裾部及び脚部ヘラケズリ 环縁部暗文 环縁部内外面ミズビキ 孔は焼成前4箇所に穿たれる 口唇部鋸刃状（焼成前・後は風化のため不 明瞭） 形・裾部下段離れか？ 焼・良色・橙褐色 使・外面脚部鉄分 付着 口唇部摩滅著しい（二次的熱） 出・竈内より子持壺と共に出土 残・ほぼ完形
高坏	10	口径 14.4 器高 10.7	胎・白色粒子多 石英 角閃石 褐鉄粒 成・脚部と环底部接合 整・外 面 脚部ナデ 内面 脚部ヘラケズリ 裾部 环底部 环縁部内外面ミズ ビキ 形・环底内に環状の粘土を貼付径5.5cmの环状と成す 焼・良 外 面 裾部 环縁部 口唇部一部炭素付着 残・ほぼ完形
高坏	11	口径 12.8	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面 ヘラケズリ 内面 暗文 环縁部内外面ミズビキ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・脚部以下欠損
堿	12	口径 13.0 器高 5.8	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・胴部と口縁部接合 整・外面 胴部ヘラ ケズリ後ナデ 内面 胴部下半ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良色 ・橙褐色 使・外面胴部半円状擦痕 残・ほぼ完形
环	13	口径 15.1 器高 5.1	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明 瞭 口縁部ヨコナデ 焼・悪 内外面炭素付着 色・橙褐色 暗灰褐色 使・二次的熱か？ 出・竈内 残・ほぼ完形（口縁部一部欠損）
堿	14	口径 12.2 器高 5.4	胎・白色粒子 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ（ヘラミガキ状 ） 内面 胴部ナデ（ヘラオサエ有り） 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・橙褐色 使・内面頸部及び口唇部擦痕 残・ほぼ完形（口縁部一部欠 損）
堿	15	口径 12.9 器高 6.7	胎・白色粒子 成・底部ヘラオサエ有り 整・外面 胴部ヘラケズリ後暗 文 内面 胴部ナデ後暗文 焼・普色・橙褐色 使・二次的熱受ける 残・底部 胴部及び口縁部 $\frac{1}{2}$
埴	16		胎・白色粒子 石英 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 風化摩 滅不明瞭 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ後内面暗文 焼・普 色・橙褐色 出・竈裾 残・胴部上半 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$

子持壺	17	胎・白色粒子 細砂 成・主埴 頸部接合 口縁部二段積み 子埴 頸部接合 別々に製作後接合 整・外面 胴部上半ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 接合後接合部分及び底部粗いハケ状工具 ヘラ調整 焼・良 色・橙褐色 出・甕内 残・主埴 子埴 口縁部一部欠損 備・主埴の胴部側面に剝離及び貫通痕残り、三連になると思われる。
-----	----	--

## 夏目遺跡5 2号住居址 (第87・88図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
壺	1		胎・白色粒子 石英 角閃石 成・胴部下半接合 整・外面 ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・善 色・橙褐色 使・外面胴部一部炭素付着 二次的熱受ける 出・甕内 残・底部 胴部下半
壺	2		胎・白色粒子 石英 角閃石 成・胴部下半接合 整・外面 ヘラケズリ (ノッキング痕有) 内面 ナデ 焼・善 色・橙褐色 残・底部 胴部下半
高環	3	底径 15.5	胎・石英 白色粒子 角閃石 成・裾部と脚部接合 脚部粘土紐巻き上げ 整・外面 脚部ヘラケズリ後ヘラミガキ 裾部内外面ヨコナデ後ヘラミガキ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部 $\frac{1}{2}$ 脚部
環	4	口径 13.7 器高 4.3	胎・角閃石 石英 褐鉄粒多 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・ほぼ完形 (口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損)
環	5	口径(12.8) 器高 4.9	胎・石英 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 内面 底部ナデ (弧状ヘラ痕) 口縁部ミズビキ 焼・悪 底部外面炭素付着 色・外 橙褐色 内 暗褐色 使・風化剝離 二次的熱か? 口縁部外面剝離 内面底部風化摩滅 出・床直 残・口唇部 $\frac{1}{2}$ 欠損
環	6	口径 18.8 器高 5.6	胎・褐鉄粒 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 出・床直 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
環	7	口径 12.6 器高 3.2	胎・角閃石 石英 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 口縁部ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・内外面風化摩滅 残・ $\frac{1}{2}$
環	8	口径 15.9 器高 3.9	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・床直 残・ほぼ完形
環	9		胎・褐鉄粒 黑色粒子 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	10	口径(17.2) 器高 4.0	胎・褐鉄粒 石英 角閃石 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 出・床直 残・ $\frac{1}{2}$
環	11	口径(12.1)	胎・褐鉄粒 白色粒子 石英 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケ

		器高 3.7	ズリ 内面 風化摩滅不明瞭 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 底部外面炭素付着 色・内 灰褐色 外 橙褐色 使・風化摩滅 出・竈袖 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
環	1 2	口径 17.4 器高 6.8	胎・褐鉄粒 石英 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 口縁部外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・口縁部内外面半円状炭素付着 残・ほぼ完形
環	1 3	口径 14.0 器高 4.4	胎・角閃石多 褐鉄粒 石英 成・不明 整・外面 胴部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 内面 風化不明瞭 焼・良 色・橙褐色 使・ 靱風化摩滅 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
環	1 4		胎・角閃石 褐鉄粒 成・ 明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	1 5	口径(15.4) 器高 4.8	胎・褐鉄粒 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 底部外面炭素付着 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	1 6		胎・褐鉄粒 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 底部内面上半及び口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 出・竈袖 残・ $\frac{1}{2}$
環	1 7		胎・石英 角閃石 成・不明瞭 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 使・風化著しい 残・ $\frac{1}{2}$
環	1 8	口径 14.6 器高 4.7	胎・2~3mmの褐鉄粒及び小石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部鉄分付着のため不明瞭 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 出・ 直 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損
環	1 9	器高(4.5)	胎・褐鉄粒 角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ミズビキ 内面 風化摩滅不明瞭 焼・善 色・橙褐色 使・内面風化摩滅 出・床直 残・ $\frac{1}{2}$
高台	2 0	底径(12.4)	胎・白色粒子多 成・ロクロ 整・接合部分で分離 焼・悪 色・白灰色 残・高台 $\frac{1}{2}$
高台 付長 頸壺	2 1	底径(14.0) 胴部最大径 (17.2)	胎・白色粒子多 成・ロクロ 整・高台部貼付 形・胴部中央部屈曲する 焼・善 外面軸付着 色・やや黒味をおびた灰色 使・底部摩滅が認められる 接・夏目5溝(胴部)と夏目52号住(高台部)接合 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 高台部 $\frac{1}{2}$ 備・図上復原
環	2 2	口径(12.8) 底径(9.2)	胎・黒色粒子少 成・ロクロ 整・底部 胴部下半ヘラケズリ 焼・悪 色・灰白色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部一部
甕	2 3		胎・白色粒子多 黒色粒子少 焼・善 外面一部軸付着の痕跡 色・外 灰色 軸の部分黒灰色 内 灰色 残・破片
甕	2 4		胎・白色微石多 焼・善 色・外 黒褐色 内 黒灰色



鉄鍍	25	長さ7.5cm 幅5mmの線寬被部分で先端を欠する。莖には木質様のものが付着している。全体的に錆が著しい。
----	----	---

## 夏目遺跡53号住居址 (第89図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・白色粒子 小石少 褐鉄粒 成・粘土帯積み上げ 整・外面 ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・悪 色・外 橙褐色 内 茶褐色 出・竈焼土内 残・胴部 口縁部ノ
甕	2		胎・石英 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・悪 色・ 外黒褐色 内 赤褐色 残・ノ
甕	3	口径 11.3 器高 9.2	胎・ 霰 角閃石 成・底部と胴部 胴部上半接合(最大径部接合) 整・ 霰 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・ 良 色・橙褐色 残・ ぼ完形(胴部一部欠損)
環	4	口径 14.0 器高 4.4	胎・褐鉄粒多 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・ 良底部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・ ぼ完形
環	5		胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部下半ヘラケズリ 上半ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・ 良色・橙褐色 残・ノ
環	6	口径 11.6 器高 5.1	胎・角閃石 成・ 霰と口縁部接合 整・ 霰 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ミズビキ 焼・ 良色・橙褐色 出・ピット内 残・口縁部ノ欠損
蓋	7	口径(16.2)	胎・ 墨粒子多 成・ロクロ 焼・悪 表面ザラつく 色・外 青灰色 内 淡褐色 かえりより外側青灰色 残・口縁部ノ
紡錘車	8		上面径2.5cm 下面径4.6cm 高さ(厚さ)8mmで中央に径7mmの孔を穿つ。半分を欠く。石材は滑石。表面、裏面に多数の沈線を描く。色調は黒色。重さは14gである。
紡錘車	9		残存量はノであるが、上面径2.0cm 下面径3.6cm 孔径6mmと推定される。高さ(厚さ)は1.3cmである。石材は滑石で、灰白色を程し、重さは10gである。
土製玉	10		径2.7cm 高さ2.3cm 孔径5mmほぼ球形であり、上下面の孔周辺はくぼむ。赤褐色で、一部黒斑がみられる重さは16g。
土製玉	11		径2.7cm 高さ2.0cm 孔径5mm、やや扁平の球形で、赤褐色。重さは14gである。
土製玉	12		長径2.7cm 短径2.3cm 高さ2.2cm 孔径7mm、やや扁平な球形で、暗黄褐色、一部に黒斑がみられる重さは10g。

土製 玉	13	長径2.1cm 短径1.8cm 高さ1.9cm 孔径5mm いびつな球形、暗赤褐色。重さ6g。
---------	----	---

## 夏目遺跡54号住居址(第90・91図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
鉢?	1		胎・白色粒子 石英 成・不明瞭 整・外面 下半ナデ 上半ヨコナデ 内面 ヨコナデ 焼・善 内面一部炭素付着 色・橙褐色 黄褐色 残・ ㄥ
甕	2		胎・黒色粒子多 成・不明 整・外面 ヘラケズリ 内面 ナデ(ヘラオ サエ有り) 焼・良 外面炭素付着 色・外 黄褐色 内 橙褐色 残・ 底部
環	3	口径 16.6 器高 5.1	胎・褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円 状ナデ 口縁部内外面ミズビキ(内面ミズビキ俱明瞭) 焼・善 色・橙 褐色 残・底部ㄥ 口縁部ㄥ
環	4		胎・角閃石 0.1砂粒 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・淡橙褐色 残・ ㄥ
環	5		胎・角閃石 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 内面 底部同心円状ナデ 焼・良 色・橙褐色 残・底部ㄥ 口縁部ㄥ
環	6	口径 11.4 器高 4.4	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ミガキ か? 内面 底部ナデ後ミガキ 口縁部内外面ヨコナデ後ミガキ 焼・善 色・暗褐色 使・底部摩滅 残・ㄥ
環	7	口径 12.1 器高 3.6	胎・砂粒 角閃石 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部 ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・内面底部一部炭 素付着 残・ㄥ
環	8	口径 11.3 器高 3.1	胎・角閃石 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 内面 底部ナデ 口縁部ミズビキ 焼・善 色・橙褐色 残・底部ㄥ 口 縁部ㄥ 備・復原不良
環	9	口径 11.5 器高 3.1	胎・褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円 状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形
環	10		胎・褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ
環	11	口径 15.6 器高(3.6)	胎・石英 角閃石 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ヨコ ナデ 内面 風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ
環	12		胎・砂粒 角閃石 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部 同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ㄥ

坏	13		胎・褐鉄粒多 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・淡橙褐色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
坏	14		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
坏	15		胎・褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・灰褐色 残・ $\frac{1}{2}$
坏	16		胎・白色粒子 角閃石 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
坏	17	口径(4.4) 底径(9.0) 器高 4.2	胎・黑色粒子多 成・ロクロ 整・底部糸切り 形・底部周辺僅かにくぼむ 底部ややあがり底 焼・悪 色・わずかに黄色味を帯びた白灰色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
蓋	18	口径(12.2) 高さ 1.6 皿径(41)	胎・黑色粒子 白色粒子 成・ロクロ挽き(右まわり) 形・天井部内面凸状 焼・善 色・外 青灰色 内 灰色 残・ $\frac{1}{2}$ (つまみ 陥欠損)
蓋	19	口径(13.3)	胎・白色粒子 成・ロクロ 焼・善 色・黄色味を帯びた灰色
蓋	20		胎・白色微石 成・ロクロ 整・天井部ヘラ切り 形・中央部くぼむ 焼・善 色・明黒灰色 残・ $\frac{1}{2}$ つまみ 部 口唇部欠損
蓋	21	口径(4.6)	胎・黑色粒子少 成・ロクロ 焼・善 色・白灰色
甕	22		胎・白色微石多 焼・良 堅緻 色・淡青灰色
甕	23		胎・白色粒子少 成・ロクロ 整・かえり貼付 焼・悪 胎土は褐色 色・黒灰色
鎌	24		全長14.9cm 基部の幅3.6cm 刃部の幅2.5cm 厚さ3mmで、基部をほぼ直角に近い角度で1.4cm折り曲げている。錆の状態から幅1.7cmの柄を装着したものと考えられる。刃部は使用のため背に比較して湾曲が著しい全体的に錆が進み、刃部の状態は明確ではない。
刀子	25		長さ8.8cm 幅1.3cm 厚さ3mmを測る。両端を欠き、刀身はやや外湾する。全体的に錆が著しい。
鎌	26		長さ6.5cm 幅2.2cm 厚さ2mmを測る。鎌の一部と思われる。

## 夏目遺跡55号住居址(第92図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 22.8	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・内外面一部炭素付着 残・胴部及び口縁部 $\frac{1}{2}$ 備・廃棄後破片の状態で焼される

甕	2		胎・白色粒子 成・胴部下半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・外 橙褐色 内 黒褐色 使・内面一部炭素附着 残・底部 $\frac{1}{2}$ 胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部一部
台付甕	3	口径 11.7	胎・白色粒子少 角閃石 成・頸部接合 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 形・台(脚)付甕 焼・善色・橙褐色 灰褐色 使・内外面炭素附着 二次的熱受ける 残・胴部及び口縁部 $\frac{1}{2}$
環	4		胎・角閃石少 成・不明瞭 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	5	口径 13.4 器高 4.4	胎・砂粒 角閃石 成・不明瞭 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 底部 同心円状ナデ 焼・善色・橙褐色 残・ほぼ完形(口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損) 備・歪む
環	6	口径(14.8) 底径(10.4) 器高 3.7	胎・白色微石少 白色粒子少 成・ロクロ 整・底部ヘラ切り 焼・良色・青灰色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 底部 $\frac{1}{2}$
蓋	7		胎・白色微石少 褐色粒多 成・ロクロ 焼・善 一部袖附着 色・外 青灰色 内 黄灰色 口縁部のみ青灰色 環にかぶせて焼成した為に外面と内面口縁部及び内面の色調が極端に異なると思われる

## 夏目遺跡56号住居址(第93図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
埴	1	口径 12.8 器高 15.9	胎・石英多 成・底部と胴部 胴部下半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ後暗文状のミガキ 内面 胴部ヘラケズリ後ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部ヘラケズリ後ヨコナデ後ミガキ 焼・善色・橙褐色 使・内面底部炭素附着及び剝離 残・ほぼ完形
埴	2	口径 11.2 器高 7.6	胎・白色微石多 角閃石 褐鉄粒 成・不明瞭 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 口縁部指頭調整 内面 剝離風化不明瞭 形・四方のうち三方に穿孔 口縁部肥厚 焼・良色・橙褐色 残・完形
埴	3	口径 9.2 器高 8.1	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・胴部と口縁部接合 底部上がり底 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 口縁部指頭調整(圧痕) 内面 風化剝離不明瞭 焼・良 外面 胴部一部に炭素附着 色・橙褐色 残・完形
埴	4	口径 9.3 器高 8.3	胎・石英多 角閃石多 褐鉄粒多 成・粘土帯積み上げ 整・外面 底部 周辺ヘラケズリ 胴部及び口縁部ミガキ 内面 ナデ 焼・良色・橙褐色 使・内面胴部上半剝離著しい 残・完形
高環	5	口径 20.0	胎・白色微石 石英 褐鉄粒 成・脚部と環底部臍状粘土で接合 環底部

			と環縁部接合 整・外面 環底部ヘラケズリ後ヘラミガキ 環縁部内外面ハケ調整後ヨコナデ後暗文 焼・良 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・脚部以下欠損
高環	6	口径 17.7 器高 15.5	胎・白色粒子 成・裾部と脚部 脚部と環底部 環底部と環縁部接合 脚部粘土紐巻き上げ 整・外面 脚部ヘラミガキ 環底部ヘラケズリ 内面脚部及び環底部ナデ 裾部内外面ヨコナデ 環縁部内外面ヨコナデ後暗文 焼・良 外面環縁部一部炭素付着 色・橙褐色 使・内面環縁部一部炭素付着 環底部剝離 残・裾部 $\frac{3}{4}$ 欠損
高環	7		胎・白色粒子 成・不明瞭 整・内外面風化不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・裾部一部 脚部 備・裾接地部異質の粘土付着
堿	8		胎・石英 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ及びナデ 内面 胴部ナデ(底部ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・外面底部剝離著しい 残・ $\frac{3}{4}$
埴	9	口径 9.2 器高 9.8	胎・角閃 多 石英多 褐鉄粒 成・頸部接合 底部内面弧状ヘラオサエ 胴部粘土帯積み 上げ 内面接合痕明瞭 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ後ヘラミガキ 焼・良 色・橙褐色 残・完形
埴	10	器高(7.6)	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ後ヘラミガキ 内面 胴部ナデ 口縁部ヘラミガキか? 焼・良 外面一部内面炭素付着 色・外 橙褐色 内 黒色 残・口縁部 $\frac{3}{4}$ 欠損 備・底部十字状ヘラ描き
埴	11		胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・底部と胴部 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 焼・悪 外面胴部一部炭素付着 色・暗褐色 残・口縁部欠損
土製玉	12		長径2.5cm 短径2.1cm 高さ2.4cm 孔径6mm 上下面に稜を持ち、やや円柱形、赤褐色で一部に黒斑が認められる。重さ10g
土製玉	13		径2.6cm 高さ2.1cm 孔径6mm 扁平な球形で赤褐色。重さ12g。
土製玉	14		長径2.5cm 短径2.2cm 高さ2.2cm 孔径6mm 球形で赤褐色、孔周辺に黒斑が認められる。重さ10g。

## 夏目遺跡58号住居址(第94・95図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 17.2	胎・褐鉄粒多 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 下半部分的にヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・橙褐色 出・58号住周辺 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
瓶	2	高さ 13.6	胎・石英 角閃石 成・孔部ヘラ切り 口唇部ヘラ切り小波状 粘土帯積み 上 $\frac{1}{2}$ 整・外面 胴部ナデ 口縁部指頭圧痕 内面 胴部下半ナデ 上半ナデ後ハケ調整 焼・普 外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・58号住 58号住周辺 残・ $\frac{1}{2}$
高坏	3		胎・白色粒子 石英 成・裾部と脚部接合 脚部粘土紐巻き上げ 整・裾部 脚部共に通しの暗文 色・橙褐色 残・裾部一部 脚部
高坏	4		胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 ナデ 内面 ヘラケズリ 焼・良 色・橙褐色 形・径6mmの穿孔 残・脚部一部
高坏	5		胎・角閃石 褐鉄粒 成・脚部と坯底部 坯底部と環縁部接合 整・外面 脚部ヘラミガキ 坯底部ナデ 内面 脚部及び坯底部ナデ 焼・良 色・外 橙褐色 内 黄褐色 出・壁外周 残・脚部 坯底部
高坏	6		胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・裾部と脚部接合 脚部粘土紐積み上げ 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 裾部ヨコナデ 脚部下半ヘラケズリ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部及び坯底部一部 脚部 備・裾部有段か?
壺	7	口径 10.2 器高 5.8	胎・石英 褐鉄粒 成・頸部接合 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 残・ほぼ完形
壺	8	口径 9.5 器高 5.8	胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 胴部ヘラケズリ(上半ミガキ風) 内面 底部ヘラケズリ 胴部ナデ(弧状ヘラ痕有り) 口縁部内外面ヨコナデ 底部ヘラケズリにより上げ底風 焼・普 外面底部及び胴部一部炭素付着 色・橙褐色 接・58号住 58号住周辺 残・ほぼ完形
壺	9	高さ 4.8	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・底部上がり底 整・外面 胴部ナデ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 接・西コーナー寄り 壁外周 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損 備・手捏風
环	10		胎・白色粒子 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
环	11		胎・角閃石 成・ 底部下半と上半 底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 上半ナデ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ

焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ

## 夏目遺跡59号住居址(第96図1-13・15・16)・60号住居址(第96図14)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・石英 角閃石 褐鉄粒 白色粒子 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・黄褐色 使・胴部外面一部炭素付着 口唇部及び口縁部内面剝離摩滅 残・胴部ㄥ 口縁部ㄥ
甕	2	口径 20.2	胎・微砂粒多 石英 角閃石 成・口縁部三段積み 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 形・口唇部丸みを持つ 焼・善 色・淡黄褐色 使・外面一部煤付着 出・竜袖 残・胴部上半 口縁部
甕	3	口径 17.3 器高 22.3	胎・石英 角閃石多 微石多 成・胴部下半と上半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・善 色・橙褐色 使・外面 焼土付着著しい 内外面一部黒ずむ 出・竜袖 残・完形
甕	4		胎・褐鉄粒 白色粒子 成・粘土帯積み上げ 整・外面 ヘラケズリ(ノッキング俱有) 内面 ナデ(ヘラオサエ) 焼・善 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴上 接・貯蔵穴上 貯蔵穴付近 残・底部ㄥ 胴部下半
坏	5	口径 9.9 器高 3.6	胎・角閃石 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ミズビキ 内面 底部ナデ 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・完形
坏	6	口径 10.6 器高 3.7	胎・角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形(口縁部一部欠損)
坏	7	口径 11.6 器高 3.9	胎・細砂 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・内外面鉄分付着 出・竜袖 残・ほぼ完形(口縁部一部欠損)
坏	8	口径 10.5 器高 3.2	胎・角閃石多 褐鉄粒多 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・外 茶褐色 内 橙褐色 出・貯蔵穴内 残・ほぼ完形
坏	9		胎・角閃石 成・不明 整・外面底部ヘラケズリ 内面底部同心円状ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 底部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・ㄥ
坏	10	口径 12.3 器高 4.1	胎・角閃石 石英 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ(ノッキング俱有) 内面 底部ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙

環	1 1	口径 10.3 器高 3.7	褐色 出・竈内 残・完形 胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 底部外面炭素付着 色・橙褐色 残・口縁部欠損
環	1 2		胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 底部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・欠
環	1 3	口径 13.1 器高 4.6	胎・角閃石 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 出・貯蔵穴上 残・欠
鉢?	1 4	口径 13.8	胎・石英 褐鉄粒 砂 成・粘土帯積み上げ 下半と上半接合 整・外面ヘラケズリ 内面 ヘラナア(ヘラオサエ有) 焼・良 外面胴部一部炭素付着 使・外面風化 底部焼成後内側から穿孔か? 残・ほぼ完形 備・口縁部一部二次的熱受けた痕跡有り 甑として利用したものか?
甕	1 5		胎・白色粒子少 焼・悪 色・黒灰色
ガラ ス球	1 6		最大径6mm 最小径5.5mm 厚さ3.5mm 上面カット痕状 周囲破損 淡青色 表面風化

## 夏目遺跡61号住居址(第97~100図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・白色粒子多 角閃石 褐鉄粒 成・底部と胴部 頸部接合 底部上がり底 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 胴部ナデ 口縁部風化不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・胴部欠 口縁部欠損
甕	2	口径 19.3 器高 36.5	胎・石英多 角閃石 褐鉄粒 (白っぽい粘土粒?が混じる 練りが不充分か?) 成・胴部下半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 焼・善 色・黄褐色 使・胴部上半帯状に黒ずむ 内外面風化 残・胴部一部欠損 備・底は中心よりはずれる
甕	3	口径 21.5	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部下半ヨコのヘラケズリ 上半斜めのヘラケズリ 内面 不明瞭 焼・善 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 出・竈内 残・底部欠損
甕	4	口径 19.9	胎・白色粒子 石英多 角閃石 褐鉄粒多 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 出・竈袖 床直 残・胴部上半
甕	5	口径 17.5	胎・白色粒子多 石英 角閃石 褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 胴部



変	6	器高 29.3	粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ（ヘラオサエ有り） 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 出・竈内 残・底部欠損
変	7	口径 15.3 器高 27.0	胎・褐鉄粒多 成・胴部下半 頸部接合 整・内外面 風化摩滅不明瞭 焼・善 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 出・床直 接・竈内 竈裾 残・底部 胴部ヲ 口縁部（口唇部ほとんど欠損）
変	8	口径 18.0 器高 31.6	胎・石英 褐鉄粒 成・底部 胴部下半 頸部接合 底部上がり底（粘土くず付着） 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・内外面 風化摩滅不明瞭 焼・善 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 黄褐色 使・内外面 風化摩滅 接・竈内 竈袖 残・ほぼ完形
変	9	口径 17.3 器高 27.2	胎・0.1~0.5微石 褐鉄粒 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 風化摩滅不明瞭 焼・善 外面一部炭素付着 内面全面炭素付着 色・外 下半橙褐色 上半灰褐色 内 黒色 使・内外面 風化摩滅不明瞭 接・竈内 北西ビット付近 残・胴部欠欠損
変	10	口径 22.7	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・頸部接合 口縁部三段積み上げか？ 整・内外面 口縁部ヨコナデ 焼・善 内面炭素付着 色・橙褐色 出・竈裾 床直 残・口縁部
変	11	口径 15.0	胎・白色粒子 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・内外面 風化不明瞭 内面ヘラオサエ 焼・善 色・灰褐色 残・胴部下半欠損
変	12	底径 8.5	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・底部と胴部接合 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 ナデ 焼・善 外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・床直 接・中央部 東壁寄り 残・底部 胴部下半
変	13	口径 19.3 器高 20.5	胎・褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 ヘラナデ 口縁部内外面ナデ 焼・善 外面胴部一部 底部炭素付着 色・橙褐色 使・底部一部 胴部下半剥離欠損 残・ほぼ完形
変	14	底径 7.4	胎・白色粒子 石英多 褐鉄粒 成・胴部下半接合 粘土帯積み上げ 整・内外面 風化摩滅不明瞭 残・胴部ヲ 口縁部欠損
変	15		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 内外面風化不明瞭 焼・善 胴部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・ヲ
鉢	16	口径 12.2	胎・石英 角閃石 成・底部と胴部 胴部下半 頸部接合 整・内外面風

		器高 16.3	化摩減不明瞭 焼・普 色・黄褐色 使・内面環状炭素付着 接・61号住電東(胴部) 63号住北東コーナー付近(底部) 残・口縁部欠損
甕	17	底径 7.8	胎・石英 角閃石 成・不明 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ヘラケズリ(弧状ヘラ痕有り) 焼・普 内面炭素付着 色・外 橙褐色 内黒褐色 使・底部摩減 残・底部
甕	18	底径 7.0	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・底部と胴部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・良 色・橙褐色 使・外面風化 残・底部
鉢	19	口径 14.5 器高 12.5	胎・0.1~0.2微石 角閃石 成・底部と胴部接合 整・外面 胴部風化 不明瞭 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・橙褐色 使・外面風化 出・床直 接・電 電付近 残・底部欠損 備・復原不良
鉢	20	器高 11.3	胎・角閃石 成・底部と胴部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・灰褐色 使・底部摩減 内外面一部炭素付着 残・底部 胴部欠 口縁部欠
碗	21	口径 11.1	胎・褐鉄粒 粘土練り込み 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 焼・良 色・淡橙褐色 残・底部欠損
高环	22	口径 15.5	胎・白色微石 0.1~0.2砂粒 成・环底部と环縁部接合 整・内外面風化不明瞭 焼・普 色・橙褐色 使・内外面一部炭素付着 二次的熱受ける 残・脚部以下欠損
高环	23		胎・白色粒子 成・不明瞭 整・外面 脚部ヘラケズリ 内面 脚部ナデ 裾部内外面ヨコナデ 焼・普 色・橙褐色 残・裾部 脚部
高环	24		胎・白色粒子 成・裾部と脚部接合 整・外面 裾部ヨコナデ後ミガキ 脚部ナデ後ミガキ 裾部と脚部を通る暗文 内面 裾部ヨコナデ 脚部ナデ 焼・良 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・裾部欠 脚部
环	25	口径 12.2 器高 4.1	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・外 黄橙褐色 内 橙褐色 残・口縁部欠損
碗	26	口径 12.5 器高 6.0	胎・褐鉄粒 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 外面一部炭素付着 色・茶褐色 残・口縁部欠損
环	27		胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部 内面炭素付着 色・外 橙褐色 内 黒色 残・欠
环	28	口径 11.8 器高 4.8	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 口縁部二段積み上げ 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 形・器形扁平

環	29		焼・良 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 使・内外面風化 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損 胎・白色粒子 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損
環	30	口径 12.5 器高 4.7	胎・石英 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部風化不明瞭（ヘラケズリ） 口縁部ヨコナデ 内面 風化摩滅不明瞭 口縁部剝離著しい（底部に径4.2cm程の円形ミズビキ痕有り） 焼・善 色・橙褐色 使・内面風化摩滅 口縁部剝離著しい 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損
碗	31		胎・粘土練り込み 成・不明瞭 整・外面 胴部ナデ 内面 胴部ナデ後 暗文 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
剣形品	32		長さ4.2cm 最大幅2.1cm 厚さ6mm上端に径2mmの小孔を穿つ。石材は滑石。側面と裏面は研磨が施されているが、表面は自然面のままである。明瞭な稜を持ち刃部をはっきり表現しており、比較的良い作りである。色調は灰色がかかった暗緑色
環状石器	33		長径8.9cm 短径8.2cm 高さ5.5cm 石材は灰白色の角閃石安山岩である。楕円形を呈し、両側から孔を穿っている。床直上で出土している。使途は不明。

## 夏目遺跡62号住居址（第101図）

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 胴部ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・善 外面一部炭素付着 色・外 黄褐色 橙褐色 内 橙褐色 暗褐色 使・外面風化摩滅 接・甕内 甕袖 甕裾 甕付近 南壁中央 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$ 備・廃棄後破片で燻されるもの有り
甕	2	底径 7.5	胎・褐鉄粒多 白色粒子 角閃石 成・底部と胴部接合 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 底部木葉痕有 内面 ナデ（ヘラオサエ有） 焼・善 色・橙褐色 残・底部
甕	3	底径 5.9	胎・石英 角閃石 成・不明 整・内外面ナデ 焼・良 色・橙褐色 出・甕内 残・底部
高環	4	口径 14.6 器高 10.6	胎・褐鉄粒 白色粒子 成・脚部と環底部 環底部と環縁部接合 脚部内面天井部粘土充填 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 出・甕内 残・環縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損

## 夏目遺跡63号住居址(第102図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 20.6 器高 37.4	胎・砂粒 石英 角閃石 成・頸部接合 口縁部二段積み上げか? 粘土 帯積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・悪色・橙褐色 使・内外 面風化著しい 出・床直 残・ほぼ完形(胴部下半一部欠損)
甕	2		胎・褐鉄粒多 角閃石 石英 成・不明 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ(ヘラオサエ有) 焼・良 外面胴部一部炭素付着 色・外 橙褐色 内 灰褐色 接・住居中央北寄 北東コーナー付近 残・口縁部 欠損
甕	3	口径 14.0 器高 14.7	胎・角閃石 白色微石 褐鉄粒 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外 面 風化不明瞭 内面 ナデ(ヘラオサエ有) 焼・良 内外面一部炭素 付着 色・外 橙褐色 内 橙褐色 黄褐色 残・ほぼ完形(口縁部欠 損)
甕	4		胎・褐鉄粒 成・粘土帯積み上げ 孔部ヘラ切り 整・口縁部内外面ヨコ ナデ 焼・悪色・橙褐色 残・底部 胴部欠 口縁部一部
高環	5		胎・褐鉄粒 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 使・内外面風化摩滅 残・裾部欠
高環	6		胎・褐鉄粒 白色粒子 成・不明 整・外面 裾部ヨコナデ 脚部ヘラケ ズリ 内面 脚部ヘラケズリ 上部に紋り痕有り 焼・良 色・淡橙褐色 残・裾部 脚部
手捏	7	口径 6.8 器高 5.0	胎・石英 角閃石 成・不明 整・外面 胴部ナデ 内面 胴部ナデ(ヘ ラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形(口縁部一部欠損)
環	8	口径 12.2 器高 3.9	胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナ デ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 底部外面一部炭素付着 色・橙褐色 黄褐色(化粧土部分) 使・化粧土剝離 残・欠
土錘	9		残存部の長さ4.9cm 径1.6cm 孔径5mm 半分を欠く 表面をヘラケズ リにより調整している。赤褐色 重さは12g
土錘	10		長さ6.6cm 径1.7cm 孔径5mm 明黄褐色 重さは16gである
土錘	11		長さ7.0cm 径1.6cm 孔径5mm 暗黄褐色で一部黒斑あり 重さは16 gである

## 夏目遺跡64号住居址 (第103・104図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
瓶	1	口径 22.3	胎・褐鉄粒 白色粒子 石英 成・孔部ヘラ切り 胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ (ノッキング痕有) 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著 外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・完形
		器高 27.0	
瓶	2	口径 16.8	胎・褐鉄粒 白色粒子 成・孔部ヘラ切り 胴部と口縁部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 孔部周辺ヘラケズリ 胴部ナデ 口縁部内外面ヨ コナデ 焼・著 色・橙褐色 使・内外面風化 (二次の熱強く受ける) 残・完形
		器高 12.0	
甕	3		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・底部と胴部 頸部接合 粘土帯積み上げ 底 部上がり底 整・内外面風化不明瞭 焼・著 色・橙褐色 出・壺裾 残 ・ $\frac{1}{2}$
甕	4	口径 14.9	胎・砂粒多 褐鉄粒 成・底部と胴部 胴部下半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (底部ヘラオサエ) 口縁部内外面ヨコ ナデ 焼・著 色・外 橙褐色 内 黄褐色 使・外面胴部下半炭素付着 出・貯蔵穴内 残・ほぼ完形
		器高 15.0	
鉢	5	口径 12.6	胎・白色粒子 褐鉄粒 角閃石 石英 成・底部と胴部 胴部と口縁部接 合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラナデ 口縁部内外面ヨコ ナデ 焼・著 色・橙褐色 出・壺内 残・完形
		器高 11.5	
鉢	6	口径 13.1	胎・褐鉄粒 成・不明 整・内外面 胴部ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・外面 切藁痕有 内面 切藁痕多し 出・壺内 残・完 形
		器高 7.7	
鉢	7		胎・白色粒子 角閃石 成・底部上がり底 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面 ヨコナデ 焼・著 底部外面炭素付着 色・橙褐色 残・底部 胴部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
壺	8	口径 11.9	胎・褐鉄粒 石英 角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・著 外面一部炭 素付着 色・橙褐色 残・ほぼ完形 備・器形歪む
		器高 5.4	
埴	9	口径 10.3 器高 14.4	胎・角閃石 白色粒子 成・底部と胴部 胴部下半と上半 頸部接合 (接 合痕明瞭) 口縁部三段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口 縁部ヘラケズリ後ヨコナデ 内面 底部ヘラオサエ 胴部ナデ (ヘラオサ エ有) 口縁部ヨコナデ (ヘラオサエ有) 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙褐色 使・内面底部鉄分付着か 残・ほぼ完形 備・口唇部頸部内

手捏	10	口径 6.4	側環状に擦痕残る 胎・褐鉄粒 石英 成・粘土帯積み上げ 手捏ね 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・善 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 暗褐色 出・竈袖 接・竈袖 南東壁中央付近 竈付近 残・口縁部欠損
土製 支脚	11		長さ12.0cm、上部径4.3cm 下部径5.7cm 精選された胎土で白色粒子、光沢をもつ黒色粒子を多量に含む。下半部はややひろがり 上面はわずかにくぼみ 下面はまるみをもつ。焼成は比較的良好である。上半分は黄色味をおびた赤褐色で、二次的に火を受けており 下半分は黒み かった褐色である。下半分を火床に埋め込んで使用したものと考えられ また 上面は摩滅の痕跡が認められる。出土位置は竈とは全く関係のない場所で、竈内から抜き取った後、廃棄されたものと考えられる。

## 夏目遺跡65号住居址(第105~109図)

品種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	器高 (31.3)	胎・褐鉄粒 石英 小石 微石 成・底部丸底に粘土板貼付底はヘラケズリにより上げ底 底部と胴部 頸部接合 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半不明瞭 内面 ナデ 焼・善 色・外 黄褐色 内 灰褐色 接・北西コーナー寄 中央西寄 残・胴部上半一部及び口縁部欠損
甕	2	口径 16.1 器高 34.0	胎・石英 褐鉄粒 成・底部上がり底 胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ多し) 焼・善 色・黄褐色 使・外面一部炭素付着 胴部下半焼土付着 残・ほぼ完形
甕	3	口径 19.2 器高 32.9	胎・石英 褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・黄褐色 胴部下半炭素付着 使・外面風化摩滅著しい 残・完形
甕	4	口径 17.1 器高 30.8	胎・褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 胴部内外面一部炭素付着 色・外 橙褐色 内 黄褐色 使・胴部下半一部炭素付着 外面胴部下半二次的熱著しい 残・ほぼ完形(胴部一部欠損)
甕	5	口径 17.5 器高 33.4	胎・褐鉄粒多 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ後ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 使・胴部下半焼土付着 残・ほぼ完形
甕	6	口径 24.2 器高 29.5	胎・褐鉄粒多 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面・胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面一部及び内面炭素付着 色・外 黄褐色 内 黒色 残・ほぼ完形(口縁部

變	7		一部欠損) 胎・白色粒子 褐鉄粒 角閃石 成・頸部接合 整・外面 胴部ナデ 内面 胴部ナデ 頸部及び口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・床直 残・口縁部ㄥ
變	8		胎・角閃石 褐鉄粒 白色粒子 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 口縁部内面一部炭素附着 色・黄褐色 使・外面風化摩滅 残・口縁部ㄥ
變	9		胎・褐鉄粒 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面一部炭素附着 色・橙褐色 残・底部 胴部上半 口縁部ㄥ
變	10	口径 16.5	胎・褐鉄粒多 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 後ヘラオサエ有 焼・善 色・黄褐色 使・外面風化摩滅 出・床直 残・底部欠損
變	11		胎・褐鉄粒 白色粒子 石英 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部一部
變	12	口径 13.3	胎・褐鉄粒多 白色粒子多 成・胴部下半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 出・床直 残・底部欠損 備・口縁部外面下半ヨコナデ後ヘラケズリ
變	13	口径 14.3	胎・褐鉄粒 角閃石 砂粒 成・頸部接合 口縁部粘土紐接合痕有 整・外面 胴部ヘラケズリ(ヘラオサエ有) 内面 胴部ヘラオサエ後ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面一部炭素附着 色・黄褐色 接・南西コーナー付近 北東コーナー付近 残・胴部一部 口縁部
變	14		胎・石英 褐鉄粒 角閃石 白色粒子 成・底部と胴部 頸部接合 粘土帯積み 上 整・外面 口縁部から底部まで一気にヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素附着 色・外 黄褐色 橙褐色 内 橙褐色 出・貯蔵穴上 残・底部 胴部ㄥ
變	15	口径 15.3	胎・褐鉄粒多 白色微石多 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 口縁部二段積み 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面胴部一部炭素附着 色・橙褐色 使・外面風化二次的熱を受ける 残・胴部ㄥ 口縁部
變	16		胎・白色粒子 成・頸部接合 整・内外面 胴部風化摩滅不明瞭 口縁部 ミズビキ 焼・善 色・橙褐色 使・口縁部内面炭素附着 出・南東壁中

			央付近 残・口縁部写
甕	17	器高(12.3)	胎・褐鉄粒 白色粒子 石英 成・頸部接合 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・悪色・橙褐色(赤味強) 使・内外面鉄分付着 出・床直 残・底部 胴部写 口縁部一部
甕	18		胎・褐鉄粒 白色粒子 成・底部と胴部 頸部接合 口縁部二段積み上げ 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部及び胴部ナデ(弧状ヘラ痕) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 内外面炭素付着 色・淡橙褐色 使・底部に切藁痕(数ヶ所有) 出・床直 残・底部写 胴部写 口縁部写 備・靱痕 廃棄後破片の状態で燻るもの有り
甕	19	底径 8.0	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・粘土帯積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良色・黄褐色 接・南西コーナー ほぼ中央 残・底部 胴部下半
甕	20		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・不明 整・外面 ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・良色・外 黄褐色 内 橙褐色 残・底部
甕	21	底径 6.0	胎・褐鉄粒多 成・底部と胴部接合(接合部分で分離) 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ(ヘラオサエ有) 焼・良 外面一部炭素付着 色・外 灰褐色 内 黄褐色 使・内面帯状に炭素付着 出・床直 残・底部
高环	22	口径(17.0)	胎・角閃石 白色粒子 成・脚部と环底部 环底部と环縁部接合 环縁部二段積み上げ 整・外面 环底部ヘラケズリ後ナデ 内面 环底部ナデ 环縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・写
高环	23	口径 16.8 器高 12.6	胎・角閃石 白色粒子 成・裾部と脚部 脚部と环底部 环底部と环縁部接合 整・外面 裾部ヨコナデ 内面 脚部ヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 使・焼土及び鉄分付着 支脚として使用 出・壺内 残・ほぼ完形(环縁部写欠損)
高环	24	口径 10.0	胎・石英 白色粒子 成・脚部と环底部接合か? 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良色・橙褐色 使・内外面風化摩滅 出・床直 残・裾部 脚部 环底部写 环縁部一部
高环	25		胎・白色粒子 石英 成・粘土帯積み上げ 整・内外面 裾部ヨコナデ 脚部ナデ 焼・良色・橙褐色 残・裾部上半写 脚部
高环	26	底径 9.2	胎・褐鉄粒多 白色粒子多 成・不明 整・内外面風化不明瞭 焼・良色・橙褐色 残・裾部写 脚部 环縁部下半写
高环	27		胎・白色粒子 成・裾部と脚部接合 粘土紐積み上げ 整・内外面 脚部ナデ 裾部ヨコナデ 焼・良色・橙褐色 残・裾部 脚部 环底部写 环縁部一部
高环	28	底径 13.6	胎・角閃石 白色粒子 成・裾部と脚部 脚部と环底部接合(接合部分で分離) 整・外面 脚部ヘラミガキ 裾部ヨコナデ後ヘラミガキ 内面



塊	2.9	口径 17.7 器高 10.5	裾部ヨコナデ (ヘラオサエ有) 焼・良 色・赤褐色 残・裾部 $\frac{1}{2}$ 脚部胎・石英 成・底部と胴部 頸部接合 口縁部二段積み 底部上がり底 (周囲ヘラケズリ) 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 胴部外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・口縁部内外面切溝痕 出・北西コーナー付近壁 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
手捏	3.0	口径 4.9 器高 2.8	胎・石英 角閃石 成・手捏ね 整・外面 ナデ 内面 ヘラケズリか? 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形
環	3.1	口径 13.8 器高 5.0	胎・角閃石 白色粒子 成・底部と口縁部接合 粘土わり込み 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ミズビキ 焼・善 外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損) 備・廃棄後二折の状態で燻るもの鉄分付着のもの有り
環	3.2	口径 13.0 器高 5.0	胎・角閃石 白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部内外面ミズビキ 焼・善 色・橙褐色 使・内外面一部炭素付着 残・ $\frac{1}{2}$
環	3.3		胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 器面軟弱 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	3.4	口径 13.8 器高 5.6	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	3.5	器高(5.0)	胎・褐鉄粒 白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 底部外面炭素付着 色・橙褐色 出・床直 残・ $\frac{1}{2}$
環	3.6	口径 16.7 器高 4.9	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ヘラミガキ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 底部外面一部炭素付着 色・黄褐色 橙褐色 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
環	3.7		胎・石英 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ヨコナデ 内面 風化剝離不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$
環	3.8	器高(5.2)	胎・白色粒子 石英 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・赤褐色 橙褐色 使・底部一部炭素付着 二次的熟著しい 残・ $\frac{1}{2}$
環	3.9		胎・褐鉄粒 白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデか? 焼・良 底部外面炭素付着 色・外 橙褐色 黒灰色 内 橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$ 備・二次的熟著しい
環	4.0		胎・白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ (髒痕有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・

環	4 1	口径 16.6 器高 5.9	内面剝離風化 残・底部 口縁部欠 胎・褐鉄粒 石英 成・不明 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 粗いハケ状工具調整後ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 黄褐色 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
埴	4 2		胎・褐鉄粒多 成・頸部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・善 色・ 橙褐色 残・底部欠 胴部欠
土錘	4 3		長さ8.3cm 径2.3cm 孔径6mm 暗黄褐色で一部黒斑あり、重さは3.6 gである。
手捏 土製 品	4 4		長径6.7cm 短径6.1cm 高さ3.0cm 胎土に径1mm程のスサを含む 手捏ねで、器具を使用した痕跡は認められ ない。平面形は不整な楕円形で、中央部がくぼむ。焼成は悪く表面は軟弱 である。外面は黄褐色 くぼみ部分及び周辺は黒灰色で、炭素が付着して いる。

## 夏目遺跡66号住居址 (第110図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 16.9	胎・白色粒子 成・頸部接合 粘土帯積み上げ (内面接合痕明瞭) 整・ 外面 胴部ハケ調整 肩部及び口縁部ミズビキ 内面 胴部ナデ 口縁部 ハケ調整後ミズビキ 焼・善 色・橙褐色 (外面黒ずむ) 残・胴部上半 一部 口縁部
甕	2		胎・石英 角閃石 成・底部と胴部 頸部接合 整・外面風化摩滅不明瞭 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部ヨコナデ 焼・善 色・橙褐 色 出・壺 残・欠
甕	3		胎・角閃石 石英 成・底部と胴部 頸部接合 整・外面 風化不明瞭 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色 ・橙褐色 残・口縁部欠損
甕	4	底径 5.4	胎・白色粒子 角閃石 褐鉄粒 成・底部上がり底 整・外面 ヘラケズ リ 内面 ナデ 焼・善 色・灰褐色 残・底部
埴	5	口径 11.2 器高 6.1	胎・角閃石 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴 部ナデ後暗文 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 胴部外面一部炭素付着 色・外 橙褐色 灰褐色 内 橙褐色 残・ほぼ完形
埴	6		胎・白色粒子 成・胴部下半と上半接合 整・外面 胴部下半ヘラケズリ (ヘラミガキ状) 上半ナデ 内面 ナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・口縁部欠損

## 夏目遺跡68号住居址 (第111図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1		胎・白色微石 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ミズビキ 焼・善 外面一部 内面炭素付着 色・外 橙褐色 内 灰褐色 残・写
環	2		胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 残・写
環	3	口径 11.5 器高 4.3	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面二回ミズビキ 焼・良 色・橙褐色 残・ほぼ完形
環	4	口径(11.7) 器高 3.8	胎・角閃石 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面 口縁部及び内面炭素付着 色・外 黄褐色 灰褐色 内 灰褐色 使・口唇部内側からの打撃により剝離み ぬる 残・口縁部写欠損
埴	5		胎・白色粒子 成・底部と胴部接合か? 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部欠損

## 夏目遺跡69号住居址 (第112~114図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 14.7 器高 32.7	胎・褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ (接合痕部分的に明瞭) 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 底部及び胴部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 使・外面風化摩滅 残・胴部下半及び底部一部欠損
甕	2	口径 16.2 器高 28.5	胎・白色粒子 角閃石 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 胴部ヘラナデ 焼・善 色・黄褐色 使・外面風化摩滅 残・胴部写欠損 備・復原不良 作り粗雑
甕	3	口径 18.0 器高 22.2	胎・粗い礫多 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 使・口縁部写著しく二次的熱受ける 残・胴部写欠損 備・復原不良
甕	4	口径 16.5 器高 26.3	胎・石英 細砂 褐鉄粒 成・底部上が 底 胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 使・外面風化摩滅 残・ほぼ完形

壺	5	口径 12.9 器高 17.5	胎・石英 褐鉄粒 成・頸部接合 粘土帯積み上げ (内面上部接合痕明瞭) ) 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部 ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・善 外面口縁部一部炭素付着 色・橙 褐色 黄褐色 使・胴部下半剝離欠損著しい (二次的熱) 胴部上半 口 縁部外面鉄分付着 残・ほぼ完形
瓶	6	器高 20.2	胎・黒色粒子 成・孔部ヘラ切り 胴部粘土帯積み上げ 口縁部三段積み 上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 口縁部風化不明瞭 内面 胴部ナデ (下 半ヘラオサエ有り) 口縁部ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色 ・黄褐色 残・口縁部欠損
壺	7		胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラ オサエ) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 黄褐色 残・胴 部欠 口縁部欠
瓶	8		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ヘラミガキ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・欠
壺	9	口径 15.0	胎・白色微石 角閃石 成・胴部下半 頸部接合 胴部及び口縁部粘土帯 積み上げ 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有り ) 口縁部風化摩滅不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・胴部 口縁部欠 損
壺	10	口径 17.6	胎・白色粒子 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整 ・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・ 善 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 使・内面剝離欠損 残・胴部上 半欠 口縁部
壺	11		胎・石英 褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 後ナデ後半ヘラミガキ 内面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部内外面ヨ コナデ 焼・善 色・橙褐色 使・外面鉄分付着 出・竈内 残・胴部欠 口縁部欠
壺	12	口径 19.9	胎・白色粒子 石英 角閃石 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 口縁部二 段積み上げ 整・外面 胴部風化摩滅不明瞭 口縁部内外面数回ミズビキ 焼・善 外面一部炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・胴部一部 口縁部 (一部欠損)
壺	13	口径 11.2 器高 13.3	胎・白色粒子 石英 角閃石 褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 内面一 部接合痕明瞭 整・外面 風化摩滅不明瞭 底部周囲一部ヘラケズリ 胴 部粗いハケ調整 内面 底部及び胴部下半ハケ調整 上半ナデ 口縁部内 外面ミズビキ 焼・悪 色・橙褐色 暗褐色 使・外面一部及び内面胴部 上半炭素付着 二次的熱受ける 出・貯蔵穴内 残・ほぼ完形

甕	14	底径 6.0	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 成・胴部下半接合 粘土帯積み上げ 整・外面 風化不明瞭 内面 ナデ 焼・普 外面胴部一部炭素付着 残・胴部上半及 口縁部欠損
甕	15	底径 6.0	胎・石英 褐鉄粒多 成・底部上がり底風 粘土帯積み上げ 胴部外面に稜痕 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 底部ナデ（ヘラオサエ有り） 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 焼・良 色・橙褐色 使・風化摩滅著しい 一部焼土付着 残・胴部上半及び口縁部欠損
高坏	16	口径 17.8	胎・白色粒子 成・脚部と环底部陥状粘土で接合 环底部と环縁部接合（接合部で分離） 整・外面 裾部ヨコナデ 脚部ヘラケズリ後ナデ 环底部ナデ 内面 脚部ヘラケズリ後下半ナデ 环底部ナデ 裾部ハケ調整 环縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・橙褐色 使・内面环底部一部焼土付着 环縁部 脚部及二次的熱強く受ける 外面風化摩滅 出・甕内 残・裾部欠損
高坏	17	口径 17.8	胎・褐鉄粒 成・环底部と环縁部接合 整・内外面 环底部ナデ 环縁部ヨコナデ 焼・普 外面环底部一部炭素付着 色・橙褐色 残・脚部以下欠損
壺	18	口径 12.6 器高 7.2	胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部及び胴部一部炭素付着 色・外 橙褐色 暗褐色 内 橙褐色 使・外面胴部上半炭素付着 残・ほぼ完形
壺	19	口径 9.1 器高 6.5	胎・石英 褐鉄粒多 成・頸部接合 底部上がり底（内面胴部弧状ヘラ痕明瞭） 整・外面 ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・胴部一部炭素付着 残・完形
壺	20	口径 12.8 器高 6.8	胎・白色粒子 石英 褐鉄粒多 成・不明 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ナデ（一部粗いハケ目残る） 内面 胴部ナデ（ヘラオサエ有り） 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 使・外面一部鉄分付着 残・ほぼ完形
壺	21	口径 11.5 器高 8.2	胎・白色粒子 石英 角閃石 褐鉄粒 成・底部と胴部 頸部接合 粘土帯積み上げ 整・外面 胴部下半（底部との接合部）指頭圧痕か？ 胴部ナデ 内面 胴部ナデ 胴部上半及び口縁部内外面ミズビキ 口縁部ヘラオサエ 焼・良 内面胴部及び底部炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・ほぼ完形
壺	22	口径 14.5 器高 11.5	胎・白色粒子 石英 角閃石 褐鉄粒多 成・底部と胴部 頸部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部ミズビキ 内面 胴部ナデ 口縁部ヨコナデ 焼・普 色・外 橙褐色 赤褐色 内 橙褐色 使・外面胴部一部及び口縁部環状に炭素付着 二次的熱受ける 残・

塊	23	口径 10.9 器高 5.9	完形 胎・石英 角閃石 褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部 ナデ 内面 胴部ヘラミガキ状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色 ・橙褐色 使・外面胴部一部炭素付着 口縁部内外面環状炭素付着 出・ 床直 残・完形
塊	24	口径 13.8 器高 6.2	胎・白色微石 石英 角閃石 褐鉄粒 成・頸部接合 口縁部二段積み上 げか? 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外 面ミズビキ 焼・善 外面胴部及び口縁部一部炭素付着 色・橙褐色 出 ・貯蔵穴内 残・ほぼ完形
塊	25	口径 12.3 器高 5.4	胎・白色微石 石英 褐鉄粒多 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズ リ後ナデ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 内面胴部一 部炭素付着 色・橙褐色 使・鉄分付着 出・電極 残・ほぼ完形
環	26	口径 14.4 器高 6.4	胎・石英 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼 ・善 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損
環	27	口径(15.2)	胎・石英 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底 部同心円状ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 色 ・橙褐色 残・ $\frac{1}{2}$ 備・底部重む
環	28	口径12.3 器高 4.0	胎・細砂 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 後部分ヘラによる不連続調整 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨ コナデ 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙褐色 残・ほぼ完形
塊	29	口径 15.0 器高 18.0	胎・白色粒子 石英 角閃石 褐鉄粒多 成・不明瞭 整・外面 胴部ヘ ラミガキ 内面 不明瞭 (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面下半ヘラミガ キ 上半風化不明瞭 焼・良 外面胴部一部炭素付着 色・橙褐色 残・ 胴部 口縁部上半 $\frac{1}{2}$ 欠損
坩	30	口径 9.8 器高 13.8	胎・白色粒子 石英 成・頸部接合 整・内外面風化不明瞭 焼・善 色 ・橙褐色 (赤味強い) 使・内外面剝離風化 二次的熱受ける 外面一部 炭素付着 外面胴部上半 口縁部剝離風化著しい 出・竈内 残・ほ ぼ完形
塊	31	口径 10.8 器高 9.4	胎・細砂粒 整・外面 底部手持ちヘラケズリ後ナデ 胴部上半クロナ デ 内面 指ナデ 他はクロロナデ 口縁部液状掃掃 胴部刺突か? 孔 は調整後外側から穿つ 使・外面底部風化 残・口唇部欠 (故意か)

## 夏目遺跡70号住居址(第115図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	底径 5.8	胎・角閃石 成・粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部ナデ(ヘラオサエ有り) 底部ヘラオサエ有り 焼・著 外面一部炭素付着 色・外 橙褐色 内 黄褐色 使・外面焼土付着(二次的熱受ける) 内面底部環状煤付着 出・甕 残・底部
瓶	2	口径 16.6 器高 13.2	胎・白色粒子 細砂多 褐鉄粒 成・孔部ヘラ切り後ナデ 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 口縁部不明 内面 胴部ヘラケズリ後ナデ 上半ヘラナデ 口縁部ヨコナデ(ヘラオサエ有り) 焼・著 外面一部炭素付着 色・橙褐色 黄褐色 使・外面胴部一部剥離欠損 残・ぼぼ完形
高環	3	口径 19.0 器高 14.7	胎・白色粒子 成・裾部と脚部 脚部と坯底部騎状粘土 坯底部と口縁部接合 脚部粘土紐巻き上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 裾部ミズビキ後一部暗文みられる 脚部ナデ 口縁部ミズビキ 内面 裾部ミズビキ 脚部ヘラケズリ 口縁部ミズビキ後暗文 坯底部内外面ナデ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部及び口縁部欠損
環	4	口径(13.3) 器高 4.6	胎・石英 褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ヘラミガキ(暗文状) 口縁部内外面ヨコナデ後外面ヘラミガキ 焼・著 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 残・½ 備・口唇部波状に打ち欠いている。
環	5	口径 14.6 器高 4.7	胎・白色粒子多 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 成・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・赤褐色 残・½
環	6		胎・小石少 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ミズビキ 内面 底部ナデ後ヘラミガキか? 口縁部ヨコナデ 焼・著 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 出・貯蔵穴内 残・½
環	7	口径 12.8 器高 4.8	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリか? 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面口縁部一部 口唇部炭素付着 色・黄褐色 残・完形
環	8	器高 4.4	胎・白色粒子 褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 口縁部ヨコナデ 焼・著 色・橙褐色 使・風化摩滅不明瞭 出・甕内 残・½ 備・復原不良
環	9	口径 12.9 器高 4.5	胎・白色粒子 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ(ヘラオサエ有り) 口縁部内外面二回のミズビキ 焼・良 外面底部環状に炭素付着 色・橙褐色 使・内面口縁部摩滅 残・½

環	10	器高(3.8)	胎・白色粒子 成・底部と口縁部接合 口縁部二段積み上げ 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 内面 風化不明瞭 焼・普 色・黄褐色 橙褐色 使・内面底部剝離著しい 残・ $\frac{1}{2}$
環	11	口径 13.0 器高 4.5	胎・白色粒子多 成・底部と口縁部接合 整・内外面底部風化摩滅不明瞭 口縁部ミズビキ 焼・普 色・橙褐色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 欠損
環	12	口径 17.8 器高 5.2	胎・0.1~0.2砂粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ヨコ ナデ 内面 丁寧なヘラミガキ 焼・普 色・外 橙褐色 内 黒色 残 ・ $\frac{1}{2}$ 備・内面黒色仕上げ

## 夏目遺跡71号住居址(第116・117図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 15.3 器高 32.7	胎・褐鉄粒 砂礫多 成・底部と胴部 胴部下半 頸部接合 口縁部三段 積みか? 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨ コナデ 焼・普 色・赤褐色 使・外面炭素付着 胴部下半焼土付着著し い 残・ほぼ完形
甕	2	口径 15.8 器高 34.1	胎・褐鉄粒 成・胴部下半 頸部接合 粘土帯積み上げ(痕跡明瞭) 整 ・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(ハロオサエ有) 口縁部内外 面ヨコナデ 焼・普 色・外 赤褐色 内 橙褐色 使・胴部中位焼土付 着 残・ほぼ完形
甕	3	口径 15.6 器高 35.2	胎・褐鉄粒 角閃石 石英 成・底部上がり底 胴部下半 頸部接合 粘 土帯積み上げ 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・橙褐色 使・胴部外面下 半炭素付着 残・胴部中位 $\frac{1}{2}$ 欠損 備・底中心よりずれる 口縁部一部二 次の熟著しい
甕	4		胎・褐鉄粒 細砂 成・粘土帯積み上げ 整・外面 ヘラケズリ 内面 ナデ 焼・普 外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・底部 胴部下半
甕	5	口径 24.0 器高 28.4	胎・褐鉄粒 砂礫多 成・孔部ヘラ切り 胴部下半 頸部接合 粘土帯積 み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部下半ヘラケズリ後 ミガキ 上半ナデ後ミガキ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 内外面孔部 周囲炭素付着 色・橙褐色 残・ほぼ完形 備・口縁部内外面二次的熱受 けるか?
甕	6	口径 14.0 器高 8.9	胎・褐鉄粒 角閃石 石英 白色粒子 成・粘土帯積み上げ 孔は小さな 不整円形14ヶ所に穿孔 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ(弧 状ヘラ) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙 褐色 使・内外面一部鉄分付着 残・完形 備・No.7と重なって出土
甕	7	口径 10.9	胎・褐鉄粒 石英 角閃石 白色粒子 成・粘土帯積み上げ 整・外面



環	8	器高 10.2	胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有り) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・内外面鉄分一部付着多し 残・完形 備・No.6と重なって出土
		口径 13.5 器高 4.9	胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 使・風化摩滅器面軟弱 出・ピット内 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
環	9	口径 13.7 器高 4.7	胎・褐鉄粒 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 器面軟弱 色・橙褐色 出・ピット内 残・口縁部欠損
環	10	口径 13.5 器高 5.0	胎・褐鉄粒 成・底部と胴部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ (ノッキング痕有り) 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 出・ピット内 残・完形
環	11	口径 13.5 器高 5.1	胎・褐鉄粒多 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 器面軟弱 色・黄褐色 出・ピット内 残・ほぼ完形 (口縁部一部欠損)
環	12	口径 13.4 器高 4.5	胎・褐鉄粒多 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・黄褐色 出・ピット内 残・ほぼ完形
埴	13		胎・石英 成・頸部接合 粘土帯積み上げ 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・普 色・橙褐色 残・欠

## 夏目遺跡75号住居址 (第118図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 21.0	胎・角閃石 成・頸部接合 口縁部二段積み上げ 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 不明瞭 口縁部内外面ヨコナデ 焼・普 色・外 橙褐色 内 黄褐色 使・外面焼土付着著しい 残・底部欠損
環	2	口径 12.5 器高 4.2	胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・淡褐色 残・ほぼ完形
環	3	口径 12.7 器高 4.3	胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 底部外面一部炭素付着 色・淡褐色 残・ほぼ完形
環	4	口径 11.5 器高 4.0	胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・茶褐色 出・竈椀 残・ほぼ完形
環	5	口径 11.0	胎・角閃石 白色粒子 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 口

環	6	器高 2.8	縁部ヨコナデ 内面 底部同心円状ナデ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部一部欠損
		口径 10.1	胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部ヨコナデ 内
		器高 3.1	面 風化不明瞭 焼・良 外面底部炭素付着 色・橙褐色 残・口縁部欠損

## 夏目遺跡5号溝 (第119~124図)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
甕	1	口径 21.9 器高(33.6)	胎・褐鉄粒 角閃石 石英 成・胴部下半 頸部接合 胴部粘土帯積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 胴部外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・外面胴部中に炭素付着 内面 胴部下位環状に炭素付着 底煤付着 残・胴部及び口縁部一部欠損
甕	2	口径 15.9 器高 19.8	胎・石英 角閃石 白色粒子 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 底部及び胴部ヘラオサエ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・暗褐色 形・丸底 残・胴部及び口縁部欠損
甕	3	口径 23.1	胎・褐鉄粒 白色粒子 成・頸部接合 口縁部二段積み上げか? 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ) 口縁部内外面ミズビキ 焼・善 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・口縁部
甕	4	口径 24.3	胎・石英 角閃石 成・頸部接合 口縁部二段積み上げ 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部
甕	5		胎・褐鉄粒 白色粒子 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・口縁部欠
瓶	6	器高 31.3	胎・褐鉄粒 石英 細砂 成・胴部下半 頸部接合 孔部ヘラ切り 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ後ナデ 内面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ後ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 胴部外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・胴部上半欠損
甕	7		胎・角閃石 石英 成・頸部接合 整・外面 胴部ヘラケズリ 内面 胴部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・胴部一部 口縁部欠
甕	8	底径 7.1	胎・砂粒 褐鉄粒多 成・底部上がり底 整・外面 風化摩滅不明瞭 内面 風化剝離不明瞭 焼・善 色・橙褐色 使・内外面風化 残・底部
甕	9		胎・白色粒子 石英 角閃石 黒色粒子 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 内面 ヘラミガキ痕 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部一部

甕	10	口径 10.5 器高 11.0	胎・角閃石 成・不明 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ 後ナデ 内面 胴部ナデ (ヘラオサエ有) 口縁部内外面ヨコナデ 焼・ 良 外面底部炭素付着 色・黄褐色 残・胴部及び口縁部欠損
甕	11	底径 7.6 孔径 2.3	胎・白色粒子 角閃石 石英 成・孔部ヘラ切り 整・内外面 ヘラケズ リ 焼・善 色・橙褐色 残・底部
高環	12		胎・石英 角閃石 成・不明 整・外面 ヨコナデ 内面 ナデ 焼・良 色・橙褐色 出・最下層 碟層内 残・裾部
高環	13		胎・褐鉄粒 成・不明 整・内外面風化不明瞭 焼・良 色・橙褐色 残 ・脚部上半 坏底部一部
高環	14		胎・褐鉄粒 成・不明 整・内外面風化摩減不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・脚部 坏底部一部 備・穿孔二ヶ所
高環	15		胎・角閃石 白色粒子 石英 成・不明 整・外面 ヘラミガキ 内面 ヘラケズリ 焼・良 色・橙褐色 残・脚部
高環	16		胎・白色粒子 石英 角閃石 成・不明 整・外面 ヘラミガキ 内面 ナデ 焼・良 色・橙褐色 残・脚部
高環	17		胎・白色粒子 角閃石 成・不明 整・外面脚部風化不明瞭 内面 脚部 ヘラケズリ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部 脚部
高環	18		胎・褐鉄粒 成・脚部内面天井部粘土充填 整・外面 ナデ 内面 ヘラ ケズリ 焼・良 色・橙褐色 残・脚部
高環	19		胎・白色粒子 石英 褐鉄粒 角閃石 成・脚部と坏底部筋状粘土接合 脚部粘土紐絞り痕有り 整・内外面風化摩減不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・脚部
高環	20		胎・石英 褐鉄粒 黒色粒子 成・不明 整・内外面 脚部ヘラケズリ 裾部ヨコナデ 焼・良 色・淡橙褐色 残・裾部欠 脚部
高環	21		胎・白色粒子 褐鉄粒 成・粘土紐積み上げ 整・外面 裾部不明瞭 脚 部ヘラミガキ 内面 裾部ヨコナデ 脚部ナデ 焼・良 色・橙褐色 残 ・裾部一部 脚部
高環	22		胎・褐鉄粒 白色粒子 成・不明 整・外面 脚部ナデ 内面 脚部ヘラ ケズリ 裾部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・裾部欠 脚部
高環	23		胎・褐鉄粒 白色粒子 角閃石 成・不明 整・外面 脚部ナデ後ヘラミ ガキ 裾部ヨコナデ後ヘラミガキ 内面 脚部ナデ 裾部ヨコナデ 焼・ 善 色・赤褐色 使・内外面鉄分付着 残・裾部欠 脚部一部
甕	24	口径(12.2) 器高(5.2) 孔径(1.7)	胎・角閃石 褐鉄粒 白色粒子 石英 成・粘土帯積み上げ 整・外面 胴部下半ヘラケズリ 上半ヘラケズリ後ナデ 口縁部ミスビキ 内面 剝 離風化不明瞭 (ヘラオサエ有) 焼・良 外面胴部一部炭素付着 色・橙 褐色 使・口縁部は一部外面より打ち欠きか? 底部焼成後内面より穿孔

			か? 残・口縁部一部欠損 備・孔径は内部より測る
环	2 5	口径 13.9 器高 4.5	胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ
环	2 6		胎・角閃石多 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・底部ㄥ 口縁部ㄥ
环	2 7	口径 13.2 器高 3.4	胎・褐鉄粒多 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部不明 内面 不明 焼・善 外面底部炭素附着 色・橙褐色 残・口縁部ㄥ欠損
环	2 8		胎・角閃石 白色粒子 成・不明 整・外面 風化不明瞭 内面 同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ
环	2 9	口径 15.6 器高 3.6	胎・角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・ㄥ
环	3 0	口径 10.0 器高 3.2	胎・角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 底部外面一部炭素附着 色・橙褐色 残・ほぼ完形
环	3 1		胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ㄥ
环	3 2		胎・角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 口縁部ヨコナデ 内面 同心円状ナデ 焼・善 色・橙褐色 残・底部 口縁部各一部
环	3 3		胎・角閃石 白色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・茶褐色 残・底部ㄥ 口縁部ㄥ
环	3 4		胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ㄥ
环	3 5		胎・褐鉄粒多 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・底部ㄥ 口縁部ㄥ
环	3 6		胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ㄥ
环	3 7		胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ後ナデ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・良 色・橙褐色 残・口縁部ㄥ
环	3 8		胎・褐鉄粒多 角閃石 成・不明 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・善 色・橙褐色 使・内外面風化摩滅 残・底部ㄥ 口縁部ㄥ
环	3 9	口径(10.6)	胎・角閃石 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・ㄥ
环	4 0		胎・角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 口縁部ヨコナデ 内面 同心円状ナデ 焼・善 色・橙褐色 残・底部 口縁部各一部

环	4 1	口径 12.4 器高 3.8	胎・褐鉄粒多 成・不明 整・内外面風化不明瞭 焼・善 底部外面一部炭素付着 色・橙褐色 使・内外面風化 残・口縁部写欠損
环	4 2		胎・石英多 成・不明 整・内外面風化不明瞭 焼・善 色・橙褐色 使・内外面風化 残・写
环	4 3		胎・褐鉄粒多 角閃石 成・底部と口縁部接合 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・黄褐色 茶褐色 使・口唇部内側剝離摩滅 残・写
环	4 4		胎・褐鉄粒 成・底部と口縁部接合 整・内外面風化摩滅不明瞭 焼・良 器面軟弱 色・橙褐色 残・写
环	4 5		胎・黒色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部同心円状ナデ 口縁部内外面ミズビキ 焼・良 外面炭素付着 色・外 黒色 内 橙褐色 残・写
环	4 6		胎・褐鉄粒 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 胴部不明 口縁部ヨコナデ 内面 丁寧なヘラミガキ 緻密で光沢有り 焼・良 内面黒色仕上げ 色・外 橙褐色 内 黒色 残・写
环	4 7		胎・黒色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 風化摩滅不明瞭 焼・善 外面底部炭素付着 色・外 黒褐色 内 黄褐色 残・写
环	4 8		胎・白色粒子 黒色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面風化摩滅不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・写
环	4 9		胎・褐鉄粒 黒色粒子 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 底部ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 外面底部一部炭素付着 色・橙褐色 残・写
环	5 0		胎・褐鉄粒 角閃石 成・不明 整・外面 風化不明瞭 内面 同心円状ナデ 口縁部内外面ヨコナデ 焼・善 色・橙褐色 残・写
环	5 1		胎・角閃石 石英 成・不明 整・外面 底部ヘラケズリ 内面 風化不明瞭 焼・善 色・橙褐色 残・写
柑	5 2		胎・白色粒子 成・頸部接合 整・内外面ナデ 焼・善 色・暗褐色 残・胴部上半 口縁部下半
大型 甕	5 3	器高 74.6 最大径64.0	胎・細砂微少 緻密 整・底部丸底風 自重でくぼむ 外面 右寄隅のタタキ後胴下半ヨコナデ 口縁部3条の波状縞 其の間に2条の沈線を施す その後頸部ナデ 口唇部ハケ状工具による櫛目 内面 円形当て具痕下半一部ナデで消える 胴部内外面タタキ痕 口縁部内外面ヨコナデ 形・ゆがむ 焼・良 色・青灰色 出・5号溝中位 接・5号溝 4.6号住 4.8号住 5.4号住 残・胴部写 口縁部写
横瓶	5 4		胎・白色粒子 砂 石英礫含む 成・内面両端指頸王痕多 中央部当具痕 外面タタキ痕 中央上面ヨコナデ痕一部認められる 一方を塞いで成形か

壺	55		焼・良 色・灰褐色 接・5号溝 6号溝 11号溝 46号住と接合 残・胴部 $\frac{1}{2}$ 24片 胎・白色微石少 白色粒子多 成・タタキ 内面に同心円文あり 焼・良 堅緻 色・暗青灰色 残・胴部上半 $\frac{1}{2}$
甕	56		胎・白色粒子 微石多 焼・普 色・口縁部内外面 灰白色 外 淡黒灰 色
高台 付環	57	口径 17.2 底径 11.9 器高 7.5	胎・0.2~0.3小石少 黒色粒子少 成・ロクロ (右まわり) 整・底部 ヘラ切り 高台貼付 形・口縁部楕円状を僅かに呈する 高台一部変形す る 焼・悪 一部火樫あり 色・白灰色 残・底部 口縁部 $\frac{1}{2}$
壺	58	口径(9.2)	胎・白色粒子 微石 成・ロクロ 焼・良 堅緻 内外面釉がかかる 色 ・外 口縁部 淡黄褐色 光沢あり 頸部 晴綠色 光沢あり 内 上半 淡黄褐色 下半 灰白色 残・上半 $\frac{1}{2}$ 下半 $\frac{1}{2}$
甕	59		胎・白色微石少 白色粒子多 焼・普 色・黒灰色 残・破片
高台 付環	60	口径(17.7) 高台径 (11.8) 器高 7.1	胎・白色微石多 白色粒子多 成・ロクロ 整・高台部貼付 焼・良 堅 緻 色・淡青灰色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 高台部 $\frac{1}{2}$
平瓶	61	最大径14.0	胎・白色微石 成・ロクロ 整・肩部円盤状の粘土でふさぐ 焼・良 外 面に釉付着 色・外 釉の部分は黒緑色 釉の落ちた部分は灰白色 内 青灰色 残・肩部 $\frac{1}{2}$ 胴部 $\frac{1}{2}$
甕	62		胎・白色微石多 焼・悪 表面ザラつく 色・黒灰色 残・破片
蓋	63		胎・黒色粒子多 成・ロクロ 焼・普 色・外 灰色 内 白灰色 残・ 破片
蓋	64		胎・白色砂粒多 成・ロクロ (右まわり?) 形・つまみ中央部がもりあ がる 焼・良 色・黒灰色 残・つまみ 部
蓋	65	つまみ 径 3.1	胎・黒色粒子少 成・ロクロ つまみ貼付 形・つまみ 内部に突起がある 焼・良 外面にうすく釉が かる 色・外 黄色味をおびた灰色 内 青 灰色 残・つまみ 部 $\frac{1}{2}$
蓋	66		胎・白色微石多 成・ロクロ 焼・悪 色・外 青灰色 内 白灰色 残 ・破片
環	67	口径(18.2) 底径(2.4) 器高 6.7	胎・白色微石多 成・ロクロ 整・底部ヘラ切り 形・底部がわずかに丸 み 衒ち安定が悪い 焼・悪 色・黒灰色 残・底部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$
蓋	68	口径(18.2) つまみ 径 (5.8)	胎・白色微石多 成・ロクロ 整・つまみ 貼 焼・普 外面に釉付着の 痕跡 色・黄色味をおびた青灰色 残・つまみ 部 $\frac{1}{2}$ 口縁部 $\frac{1}{2}$ 口唇部一 部

蓋	69		胎・黒色粒子少 成・ロクロ 焼・悪 外面に釉の跡 表面ザラつく 色・灰色(白味有) 残・破片
蓋	70		胎・黒色粒子 成・ロクロ 焼・善 色・白灰色 残・破片
環	71	口径(15.2) 底径(11.0) 器高 3.4	胎・黒色粒子 成・ロクロ 整・底部へら切り 焼・悪 色・外 灰白色 内 灰褐色 残・底部一部 口縁部 $\times$
蓋	72	口径(14.2) つまみ 径 (56)	胎・白色粒子少 成・ロクロ 整・つまみ貼付 焼・善 外面に釉がかか る 色・黒灰色 残・ $\times$
高台 付壺	73	底径 7.8	胎・白色粒子微量 成・ロクロ 整・高台部貼付 形・底部に穿孔 焼・ 良 堅緻 色・外 淡青灰色 内 灰白色 残・胴下半
高台 付環	74	高台径 (9.8)	胎・白色小石少 微石多 成・ロクロ 整・高台貼付 焼・悪 色・黒灰 色 残・高台部 $\times$ 底部 $\times$
蓋	75		胎・黒色微石多 成・ロクロ 焼・善 口縁内部に黒線がめぐる焼成時の 環口縁との接触によるものと思われる 色・外 白灰色 内 青灰色 口 縁部のみ白灰色 残・口縁部一部
高台 付環	76	高台径 (7.2)	胎・白色粒子 白色針状を含む 成・ロクロ 整・底部糸切か?(わずかに 痕跡残る) 高台貼付 焼・悪 色・黒味がかつた青灰色 残・高台部 $\times$ 底部 $\times$
環	77		胎・白色微石少 黒色粒子少 成・ロクロ 整・底部及び口縁部下半へラ ケズリ 焼・悪 色・灰白色 残・底部 $\times$ 口縁部 $\times$
円面 碗	78	周縁径 (11.8) 脚部径 (11.8) 器高 2.9	胎・白色粒子多 黒色粒子多 成・ロクロ 焼・良 色・青灰色 残・脚 部 $\times$
円面 碗	79	周縁径 (11.8) 脚部径 (11.6) 器高 2.9	胎・白色粒子多 成・ロクロ 整・脚部貼付 焼・良 色・淡青灰色 使 ・中央部わずかに摩滅す 残・脚部 $\times$ (天井部 $\times$ )
剣形 品	80		長さ3.1cm 最大幅2.0cm 厚さ4mm 上端に径2mmの小孔を穿つ。石材 は滑石。両面とも粗い研磨が加えられ 平坦に仕上げられている。刃部は 表現されていない。色調は黒灰色
土錘	81		残存部の長さ6.3cm 径2.1cm 孔径5×7mm 両端を欠く 黄褐色 重 さは2.2gである。

刀子	8 2	全長13.6cm 刃部の長さ8.8cm 基部の長さ2.9cm、刃部の幅1.4cm 厚さ2.5mm 基部は5mm四方の角柱状である。刀身部先端は、肉厚が薄くなり 刃部中央部分は使用のためわずかに内湾している。全体的に錆化が著しく細部の観察はできない。
刀子	8 3	長さ8.2cm 幅1.2cm 厚さ1mmである。片方を欠くが ほぼ真直ぐな形態と考えられる 刀身は非常に薄いつくりである。全体的に錆化が著しい
刀子	8 4	長さ5.2cm 刀身部の幅は1.1～1.2cm 基部は 幅8cm 厚さ3mmの角柱状である。錆化がとくに著しく厚さ1.5cmに及ぶ。

## 夏目遺跡6号溝 (第125図1)・7号溝 (第125図2)・11号溝 (第125図3・4・5)

器種	番号	法量 (cm)	特 徴
灰釉 片口	1	口径 9.6 底径 4.6 器高 2.6	胎・黒色粒子微量 成・ロクロ 底部糸切り 形・口縁部は水平でなく歪み、一方に片口を付ける 口唇部は稜を持ちやや角張っている 底部内面がわずかにくぼむ 焼・堅緻 口縁部内外面のみには灰釉が施され、一部底部には、釉だまりがみられる 外面一部灰かぶり認められる 色・灰白色 釉の部分は淡い緑色 残・完形
甕	2		胎・白色粒子 微石多 焼・蒼色・黒色
鍔鉢	3		胎・白色粒子多 焼・悪色・外 黒灰色 内上半 淡黒灰色 下半 灰白色
蔵骨器	4		胎・黒色粒子多 片岩礫含む 成・胴部下端2重 整・内面ナデ 底部外面砂粒付着多 焼・悪色・暗黄褐色
鉄製品	5		全長4.2cm 上部径9mm 次第に細くなる孔が作られている。下部は径5～6mmの円柱状で孔は貫通していない。用途不明の鉄製品である

## 夏目遺跡覆土出土遺物 (第126図)

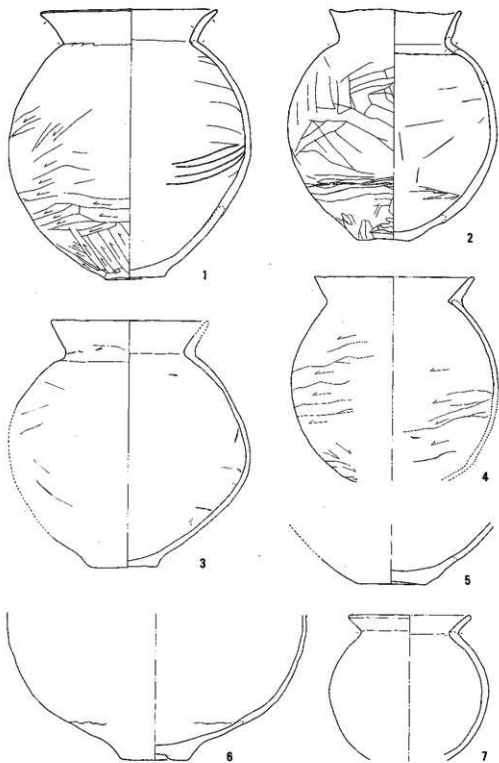
器種	番号	法量 (cm)	特 徴
片口 鉢	1		胎・白色微石 角閃石 褐鉄粒 成・粘土帯積み上げ (接合痕明瞭) 片口は口縁部を曲げて作り亀裂部分に粘土を補う 整・外面 ヨコナデ ミズビキ 内面 ヘラケズリ ヨコナデ ミズビキ痕交じる 内外面一部粗いハケ調整みられる 焼・蒼 内外面一部炭素付着 色・橙褐色 残・上半 出・26号住居址付近覆土
丸瓦	2		胎・砂粒 成・上面丁寧なミガキ 端はヘラ切り 整・内面 ヘラケズリか 一部縄状圧痕残る 焼・良色・上面 灰褐色 内面 淡褐色 出・4号溝
埴	3	器高 6.6	胎・白色粒子 石英多 褐鉄粒 成・ 胴下半と上半 頸部接合 整・外面 口縁部ヨコナデ (ミズビキか?) 内面 口縁部ヨコナデ 胴部内外



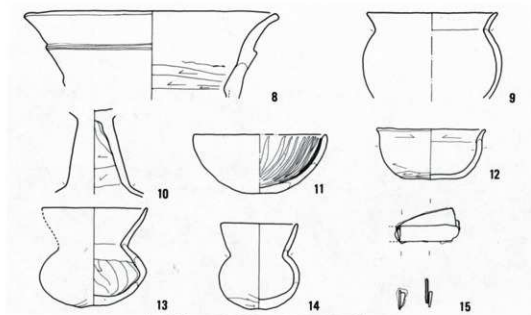
埴 鉄罐	4	面ヘラケズリ後ナデ 形・底部は粘土貼付による上げ底か? 焼・悪 外面炭素付着 色・橙褐色 残・底部 胴部(一部欠損) 口縁部 $\frac{1}{2}$ 出・15号住居址東側覆土
	5	胎・白色粒子 角閃石 成・頸部接合(接合部で分離) 整・外面 胴部ヘラケズリ後ナデ 内面 ナデ 焼・良 色・橙褐色 使・外面炭素付着 残・底部 胴部 出・15号住居址東側覆土 長さ8.5cm 壺筋式の刃部最大幅1.4cm、寛被断面が 方形の角柱状である 錆化が 遊細部については観察できない。出・15号住居址東側覆土

## 夏目遺跡住居址複合出土遺物 (第127・128図)

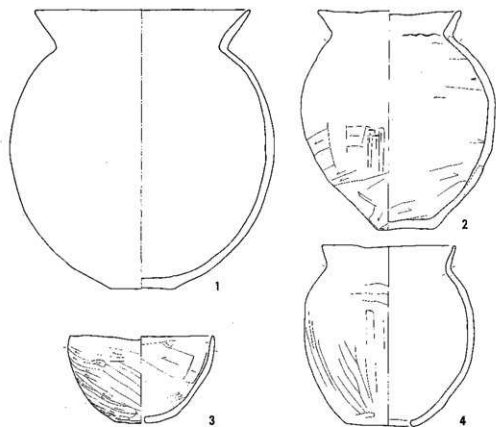
器種	番号	法量 (cm)	特 徴
鉢	1	口径(17.4)	胎・白色微石少 成・ロクロ 焼・善 色・青味がかった灰白色 残・口縁下半 $\frac{1}{2}$ 口縁上半 $\frac{1}{2}$
坏	2	口径(4.8)	胎・白色粒子 黒色粒子少 成・ロクロ(右回転) 焼・悪 色・白灰色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$
坏	3	口径(14.8) 底径(10.4) 器高 3.7	胎・白色微石少 白色粒子少 成・ロクロ 整・底部ヘラ切り 焼・良 色・青灰色 残・口縁部 $\frac{1}{2}$ 底部 $\frac{1}{2}$
蓋	4	口径(13.8)	胎・白色粒子 黒色粒子 成・ロクロ(右回転) 焼・悪 色・黄色味を帯びた灰色 残・ $\frac{1}{2}$ (中央部欠損)
蓋	5	口径(13.0)	胎・黒色粒子多 成・ロクロ 焼・善 色・青灰色 残・ $\frac{1}{2}$
蓋	6		胎・白色微石少 褐色粒多 成・ロクロ 焼・善 一部軸付着 色・外青灰色 内 黄灰色 口縁部のみ青灰色 坏にかぶせて焼成した為に外面と内面口縁部及び内面の色調が極端に異なる。残・破片
高台付壺	7	高台径10.2	胎・白色針状多 白色微石微量 成・ロクロ 整・底部ヘラ切り 高台貼付 焼・良 色・暗青灰色 残・高台部 $\frac{1}{2}$ 底部 $\frac{1}{2}$ 胴部一部
甕	8		胎・白色微石多 焼・良 色・わずかに青味がかった灰色
甕	9		胎・白色微石多 焼・善 内外面軸がかかる 色・外 黒灰色 内 釉の部分は暗緑色 備・窯印「X」
甕	10		胎・白色微石多 焼・良 色・黒灰色 接合面及びその内側は灰白色
甕	11		胎・白色微石少 焼・悪 色・黒灰色
甕	12		胎・白色粒子 焼・善 色・黒灰色



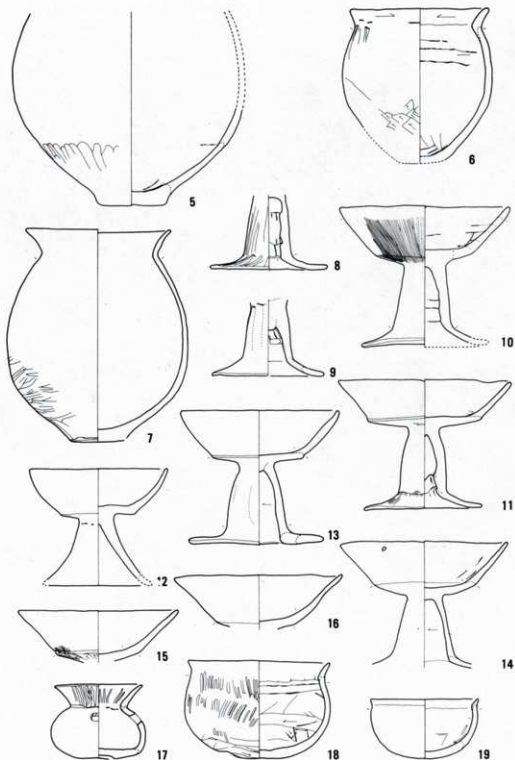
第44图 夏日遺跡10号住居址出土遺物(1)



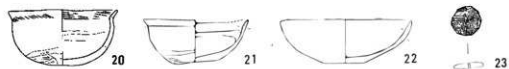
第45图 夏目遺跡10号住居址出土遺物(2)



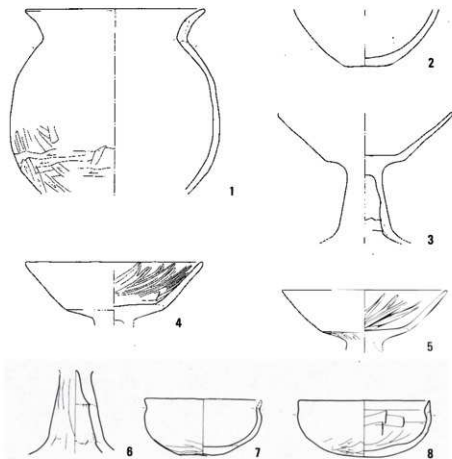
第46图 夏目遺跡11号住居址出土遺物(1)



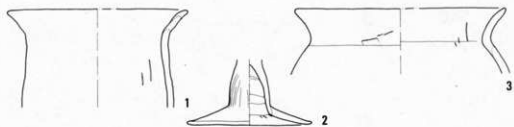
第47图 夏目遺跡11号住居址出土物(2)



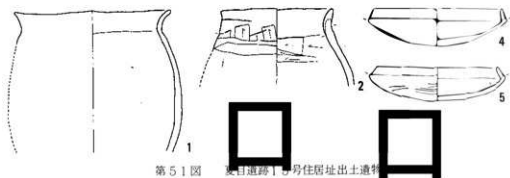
第48図 夏目遺跡11号住居址出土遺物(3)



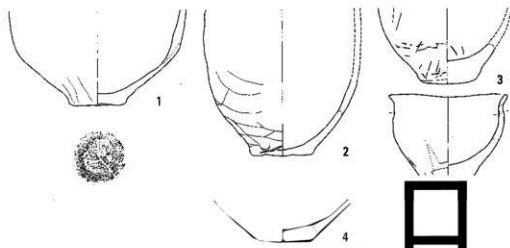
第49図 夏目遺跡12号住居址出土遺物



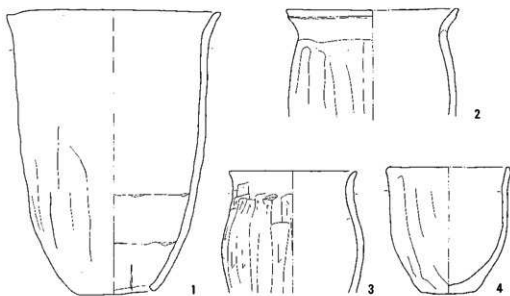
第50図 夏目遺跡13・14号住居址出土遺物



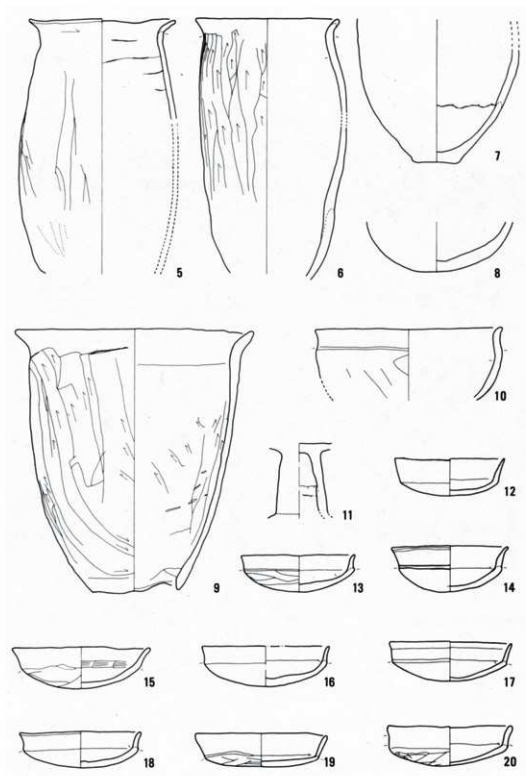
第 51 图 夏目遺跡 19 号住居址出土遺物



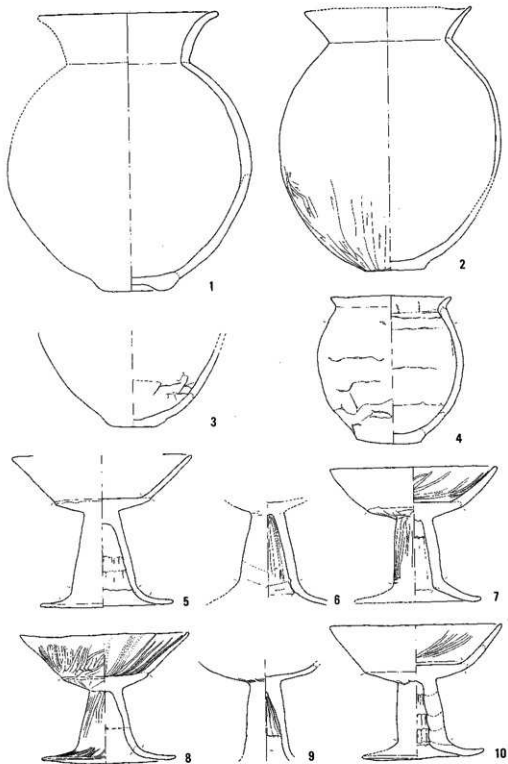
第 52 图 夏目遺跡 19 号住居址出土遺物



第 53 图 夏目遺跡 20・21 号住居址出土遺物

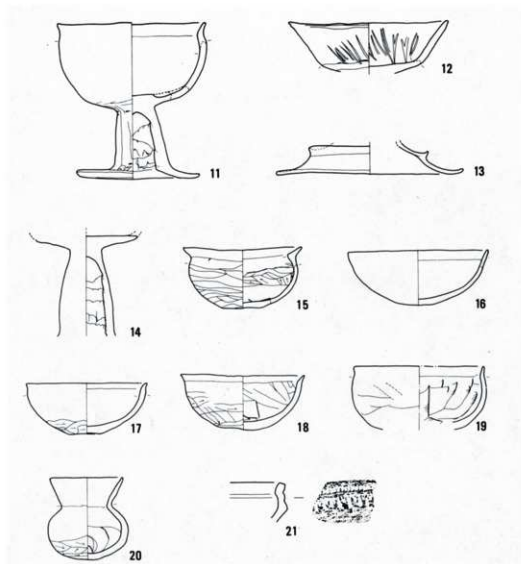


第54图 夏目遺跡2 | 号住居址出土遺物

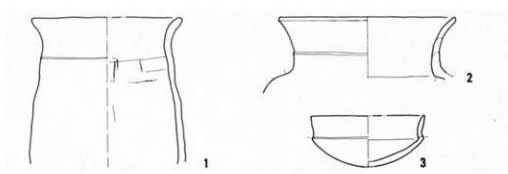


第55图 夏目遺跡2号住居址出土遺物(1)

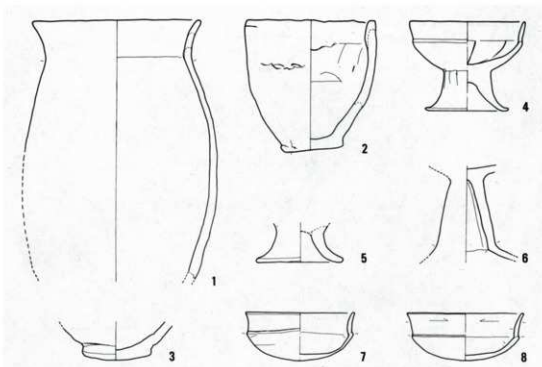




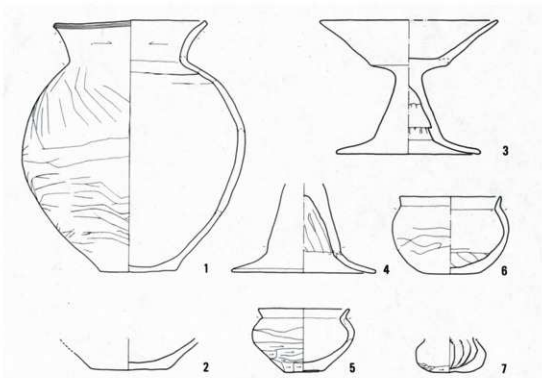
第56图 夏目遺跡2号住居址出土遺物(2)



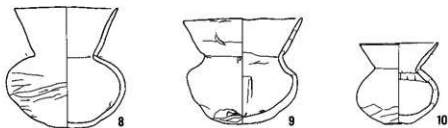
第57图 夏目遺跡2号住居址出土遺物



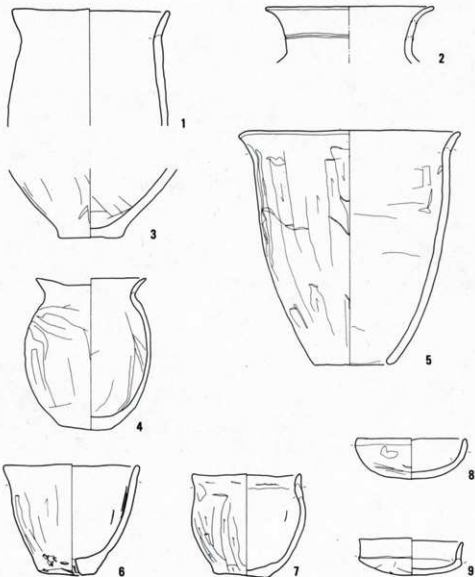
第58图 夏目遗址25号住居址出土遗物



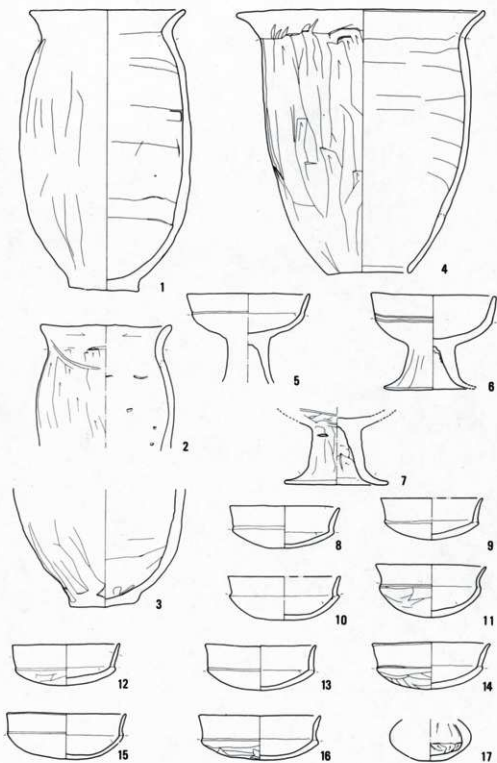
第59图 夏目遗址26号住居址出土遗物(1)



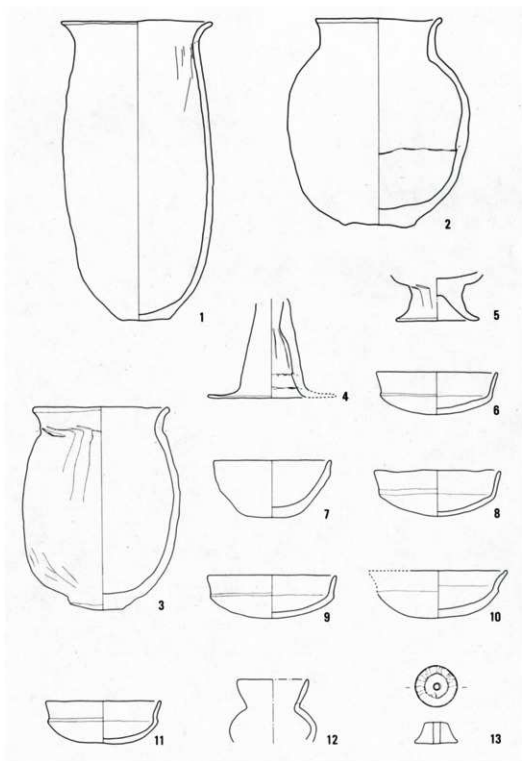
第60图 夏目遺跡26号住居址出土遺物(2)



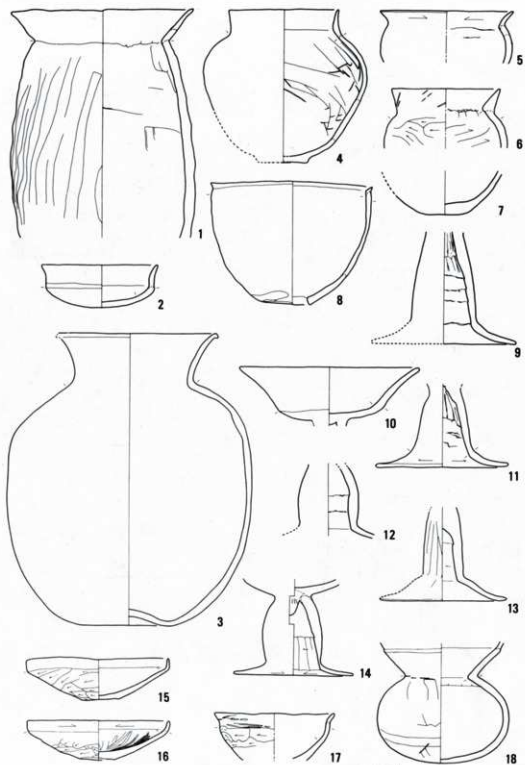
第61图 夏目遺跡28号住居址出土遺物



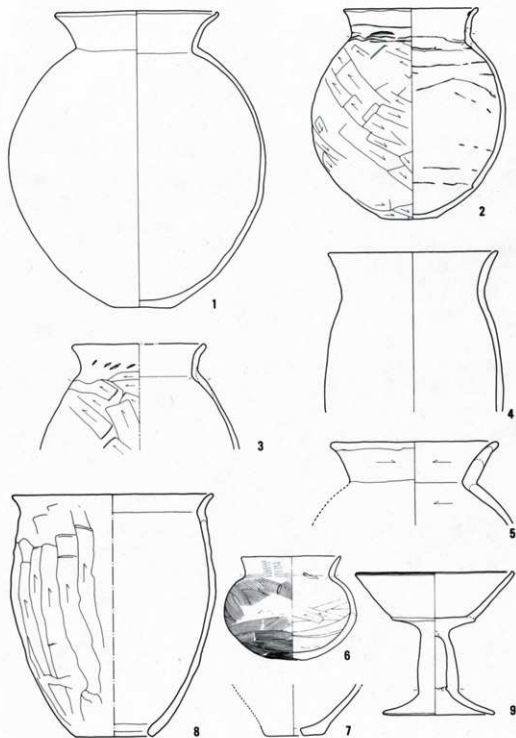
第6 2图 夏目遺跡2 9号住居址出土遺物



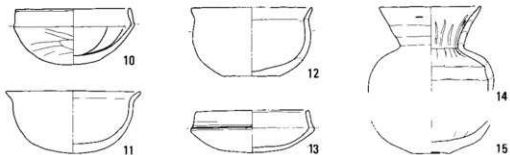
第63图 夏目遺跡30号住居址出土遺物



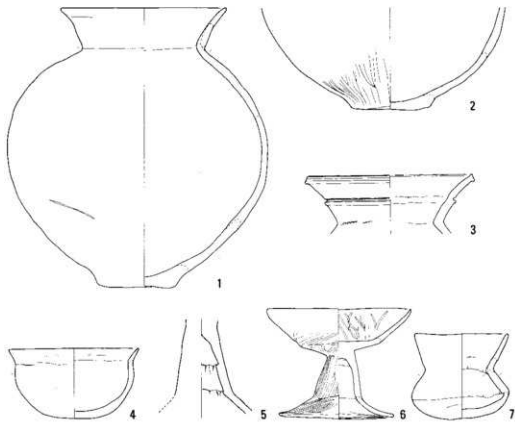
第64图 夏目遺跡31・32号住居址出土遺物



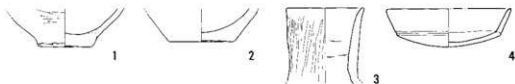
第65図 夏目遺跡33号住居址出土遺物(1)



第66图 夏目遺跡33号住居址出土遺物(2)



第67图 夏目遺跡35号住居址出土遺物

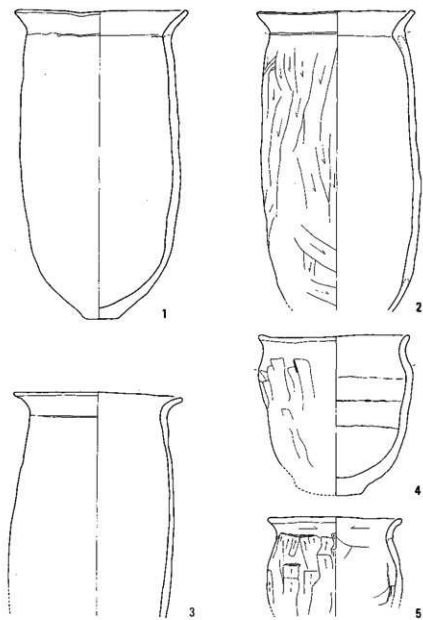


第68图 夏目遺跡36号住居址出土遺物

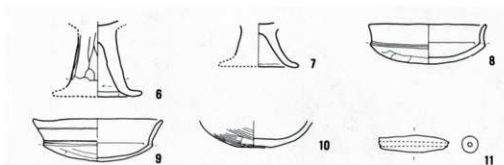




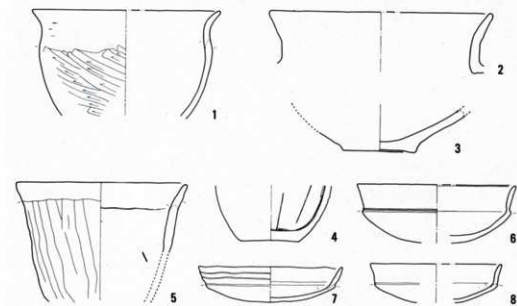
第69図 夏目遺跡37号住居址出土遺物



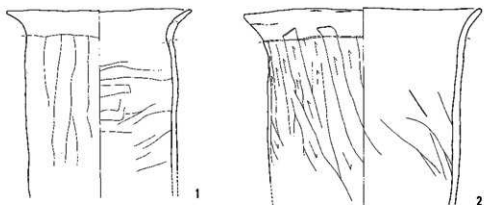
第70図 夏目遺跡38号住居址出土遺物(1)



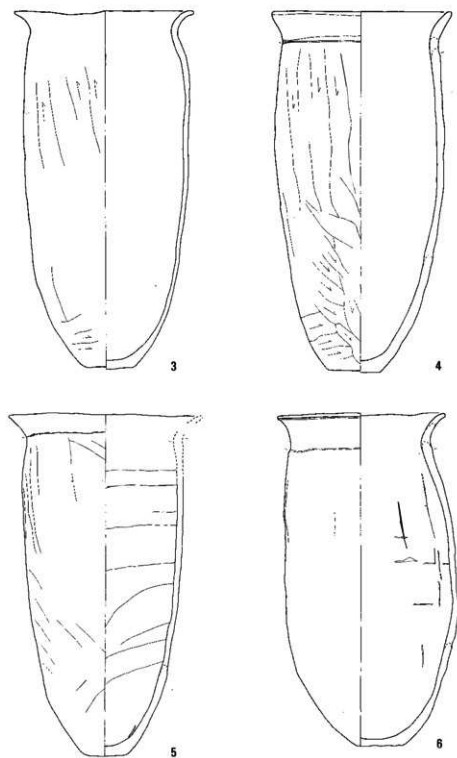
第71图 夏目遺跡38号住居址出土遺物(2)



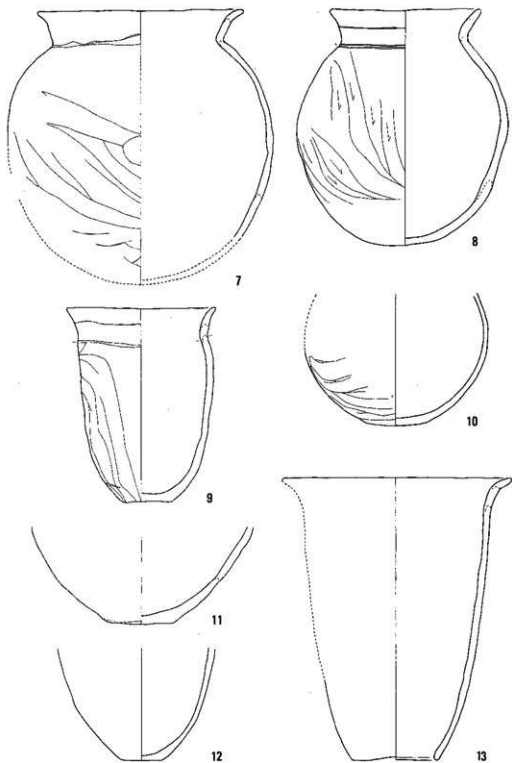
第72图 夏目遺跡39号住居址出土遺物



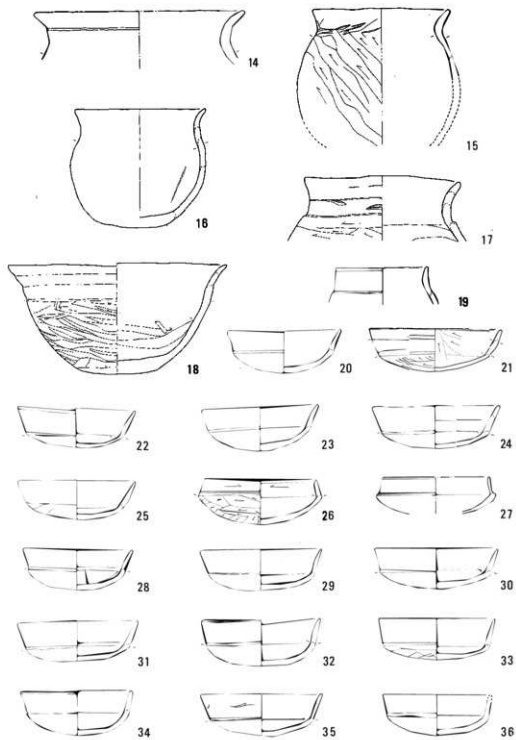
第73图 夏目遺跡40号住居址出土遺物(1)



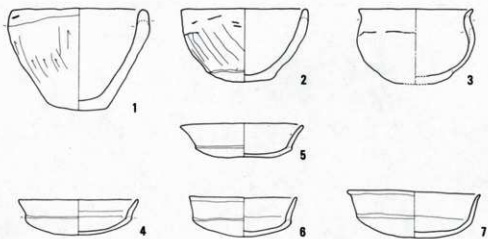
第74图 夏目遺跡40号住居址出土遺物(2)



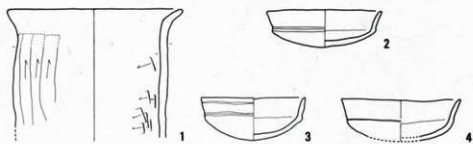
第75图 夏目遺跡40号住居址出土遺物(3)



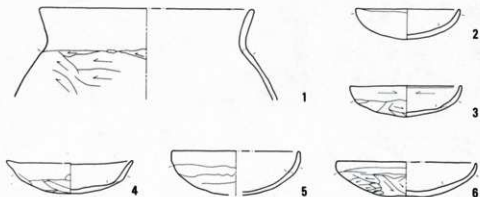
第76图 夏目遺跡40号住居址出土遺物(4)



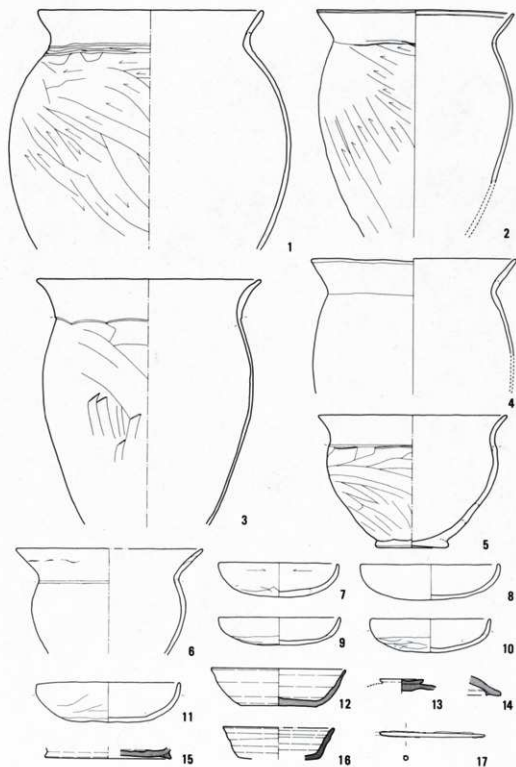
第77图 夏目遺跡4-1・4-2号住居址出土遺物



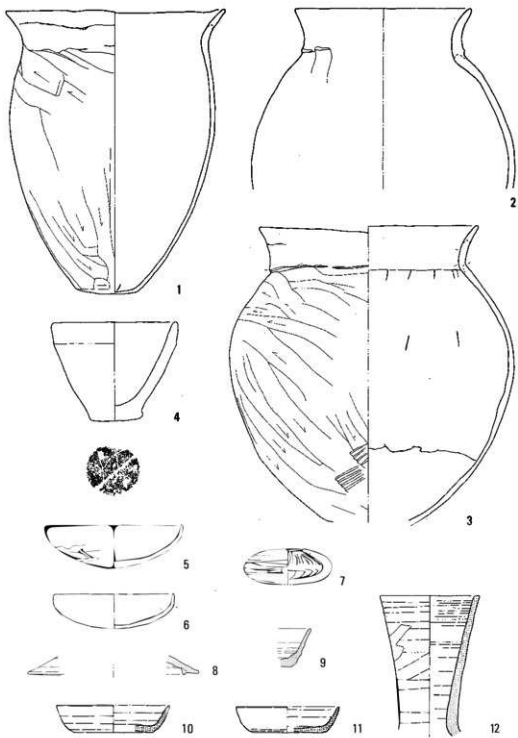
第78图 夏目遺跡4-4号住居址出土遺物



第79图 夏目遺跡4-5号住居址出土遺物

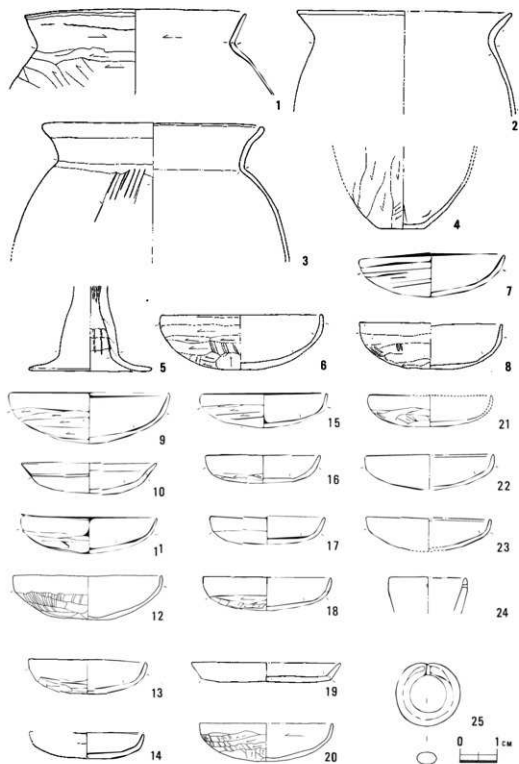


第80图 夏目遺跡46号住居址出土遺物

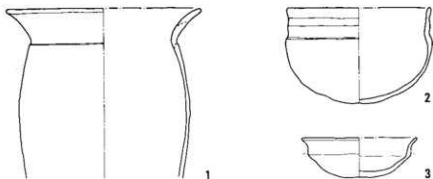


第 8 1 图 夏日遺跡 4 7 号住居址出土遺物

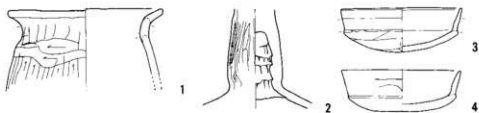




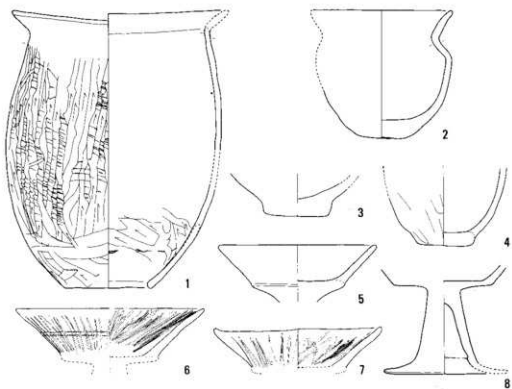
第82图 夏目遺跡48号住居址出土遺物



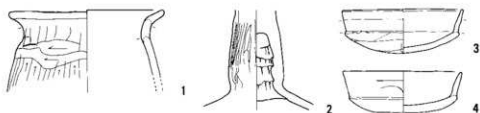
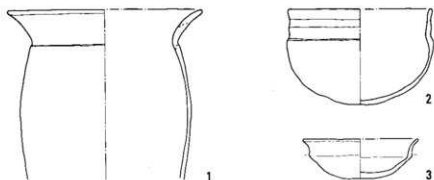
第83图 夏目遺跡49号住居址出土遺物



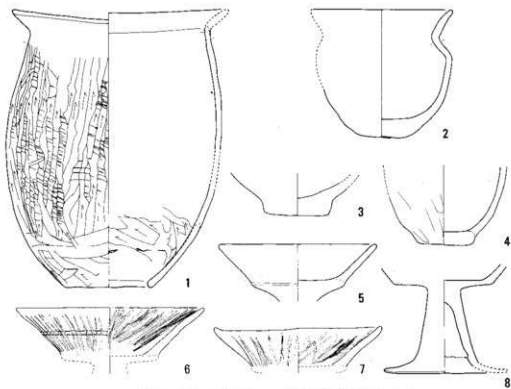
第84图 夏目遺跡50号住居址出土遺物



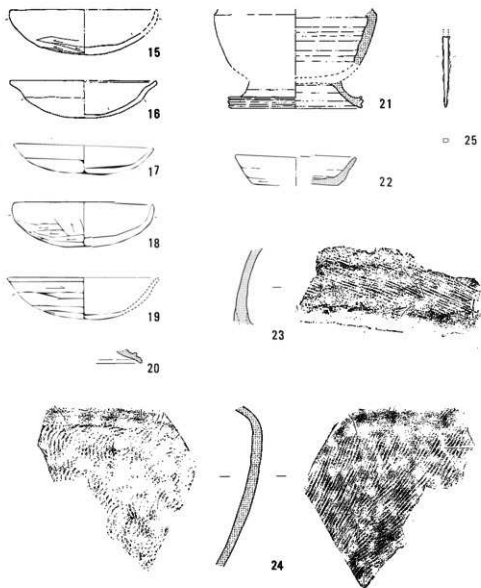
第85图 夏目遺跡51号住居址出土遺物(1)



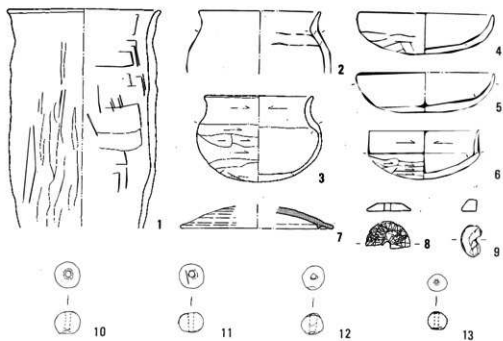
第86图 夏目遺跡5 1号住居址出土遺物(2)



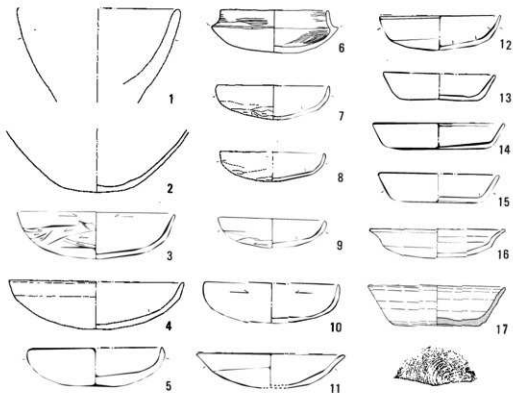
第87图 夏目遺跡5 2号住居址出土遺物(1)



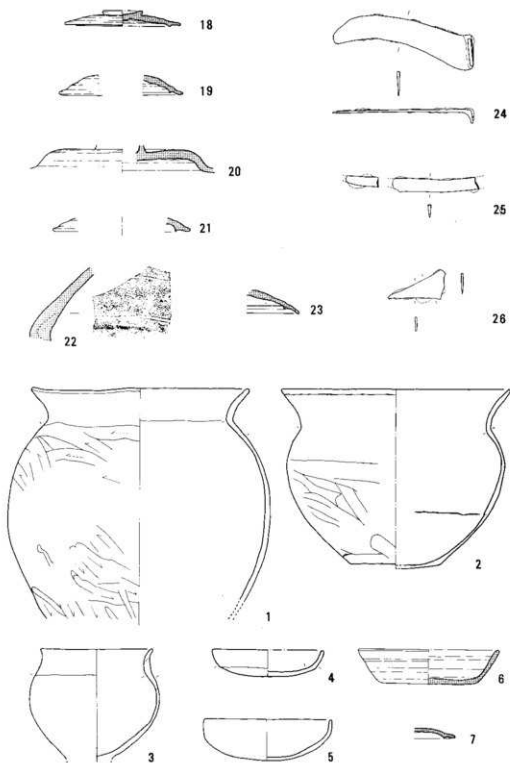
第88图 夏目遺跡52号住居址出土遺物(2)



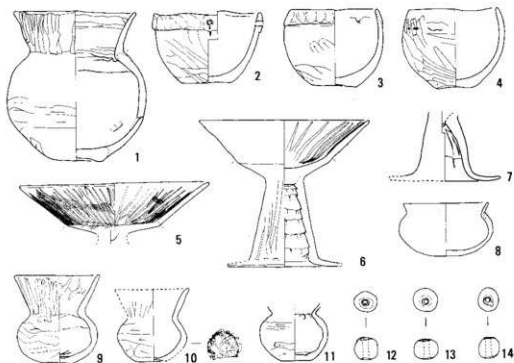
第89图 夏目遺跡53号住居址出土遺物



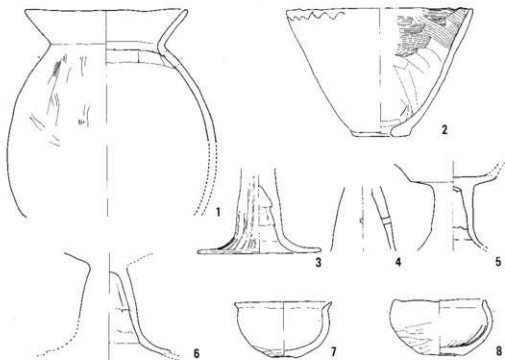
第90图 夏目遺跡54号住居址出土遺物(1)



第92图 夏目遺跡55号住居址出土遺物



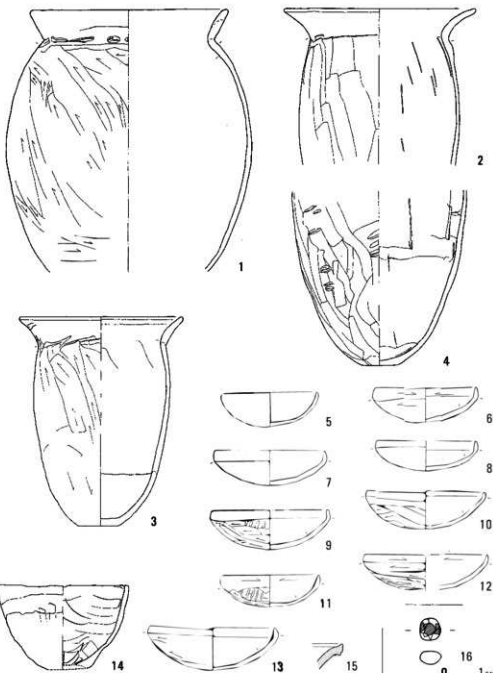
第93图 夏目遺跡56号住居址出土遺物



第94图 夏目遺跡58号住居址出土遺物(1)

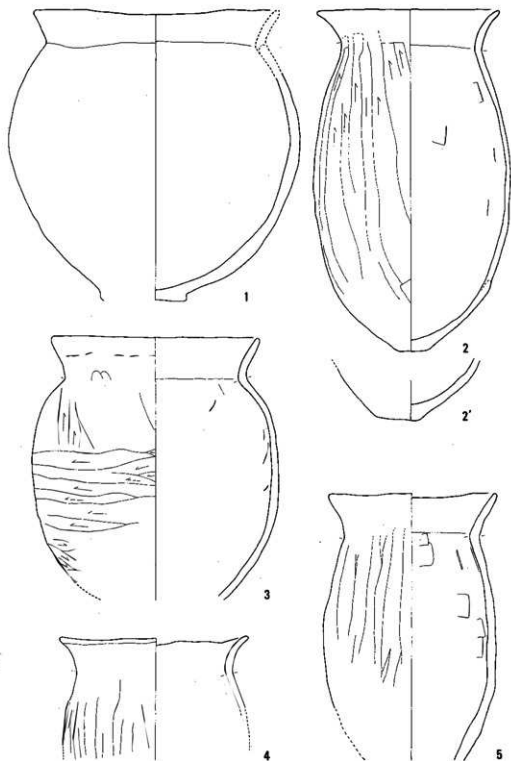


第95图 夏目遺跡58号住居址出土遺物(2)

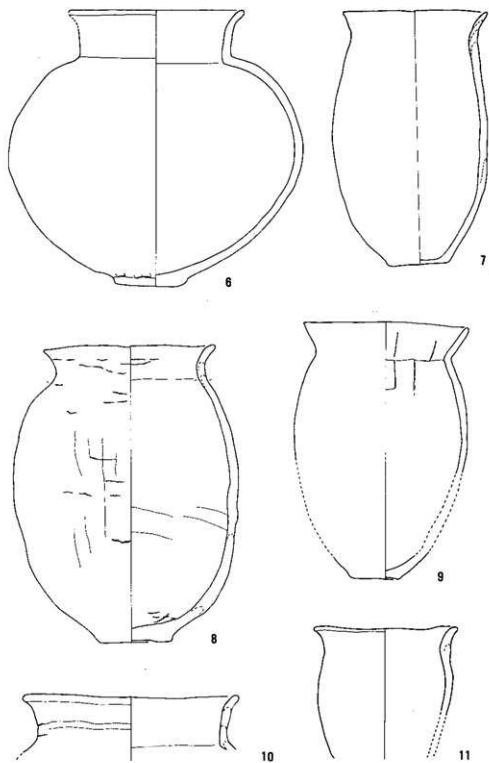


第96图 夏目遺跡59・60号住居址出土遺物

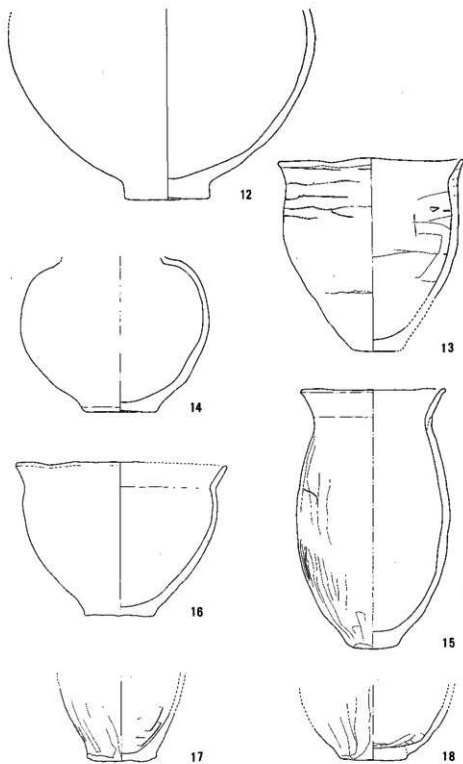




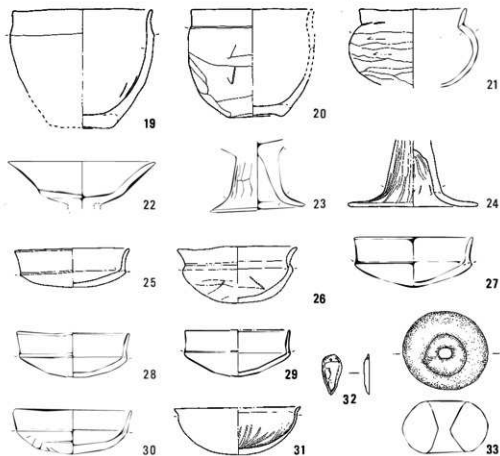
第97图 夏目遺跡61号住居址出土遺物(1)



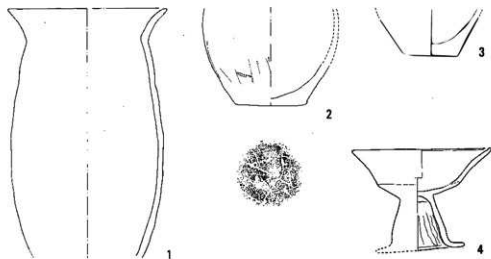
第98图 夏目遺跡61号住居址出土遺物(2)



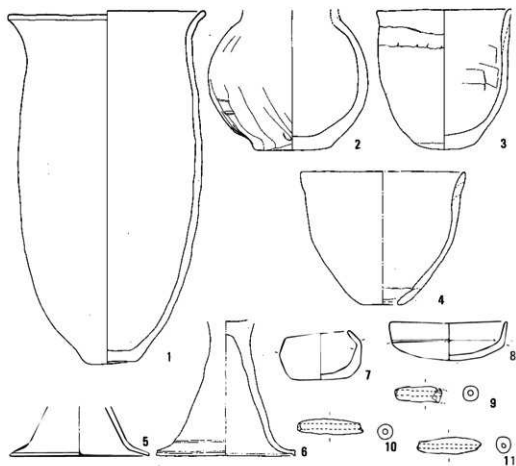
第99図 夏目遺跡61号住居址出土遺物(3)



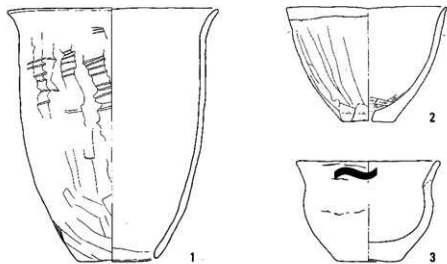
第100图 夏目遺跡61号住居址出土遺物(4)



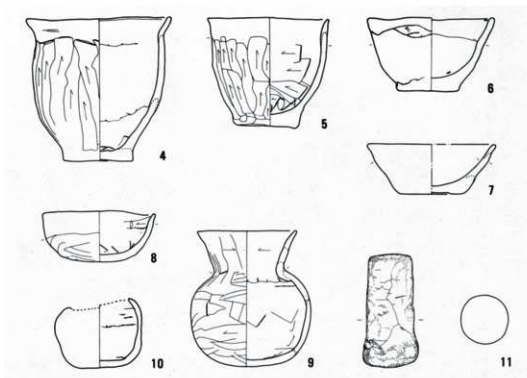
第101图 夏目遺跡62号住居址出土遺物



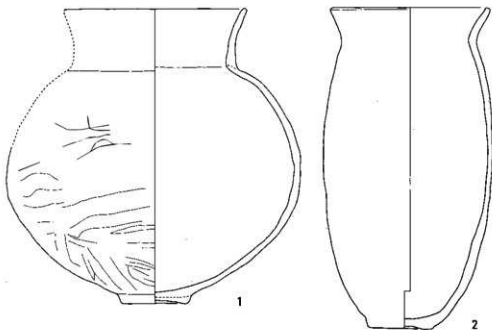
第102图 夏目遺跡63号住居址出土遺物



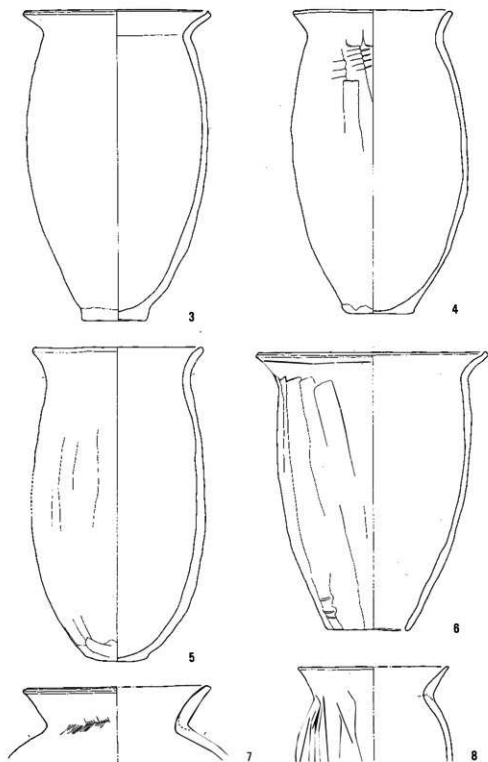
第103图 夏目遺跡64号住居址出土遺物(1)



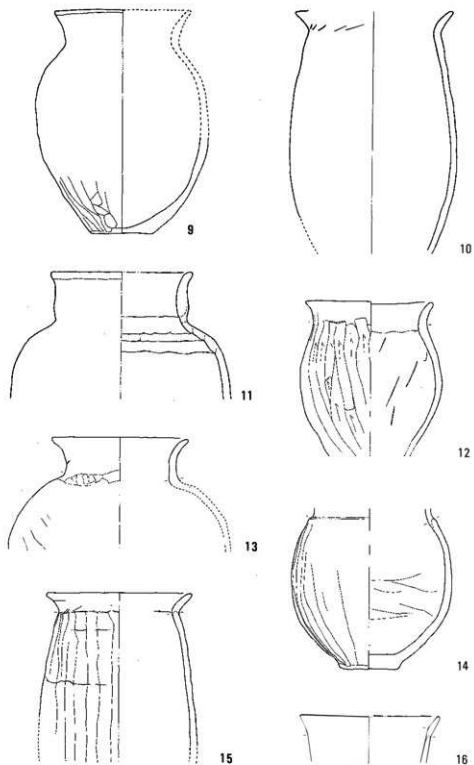
第104图 夏目遺跡64号住居址出土遺物(2)



第105图 夏目遺跡65号住居址出土遺物(1)

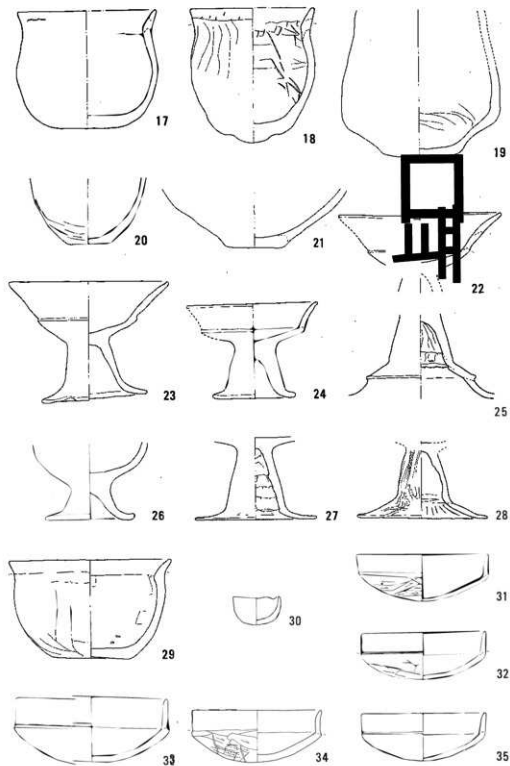


第106图 夏目遺跡65号住居址出土遺物(2)

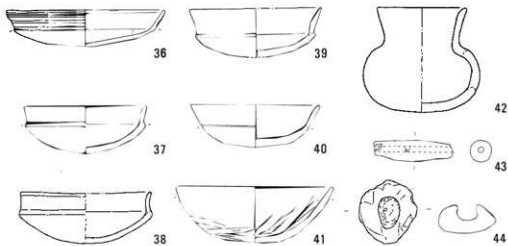


第107図 夏目遺跡65号住居址出土遺物(3)

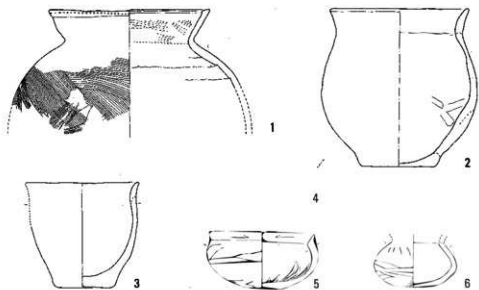




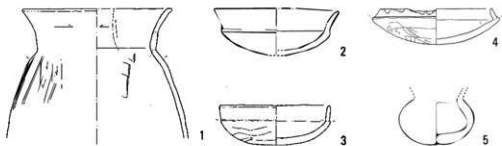
第108圖 夏目遺跡65号住居址出土遺物(4)



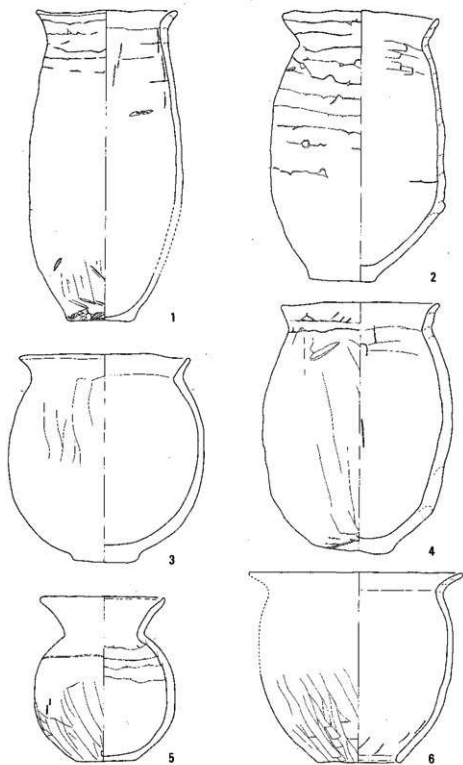
第109図 夏目遺跡65号住居址出土遺物(5)



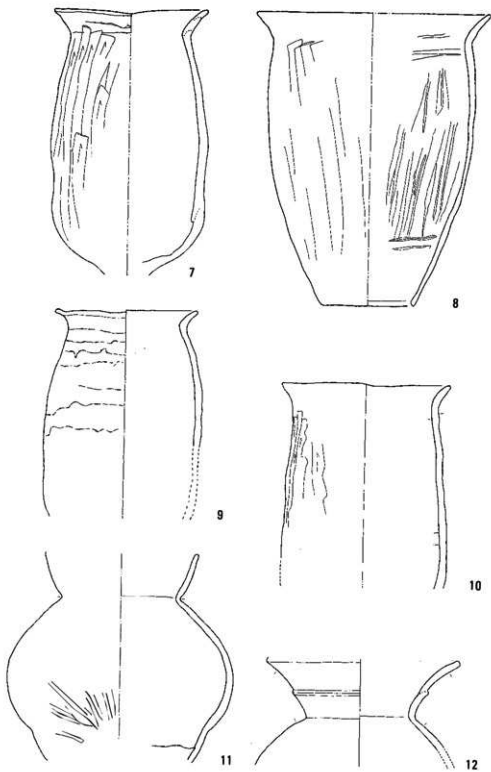
第110図 夏目遺跡66号住居址出土遺物



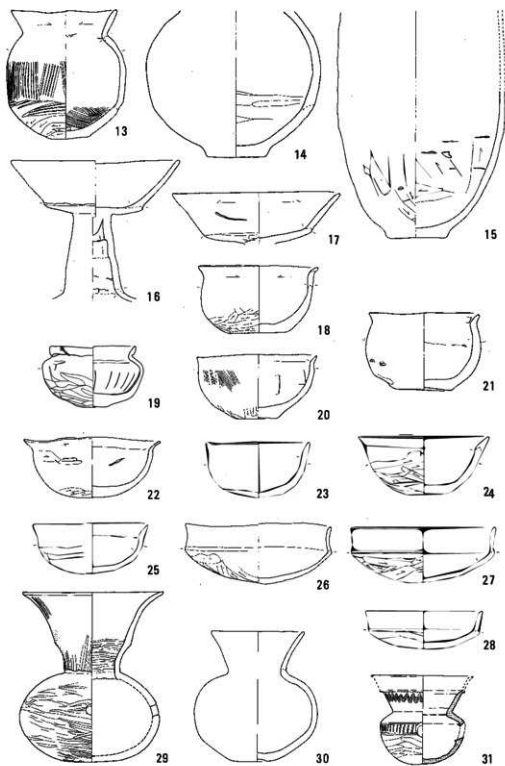
第111図 夏目遺跡68号住居址出土遺物



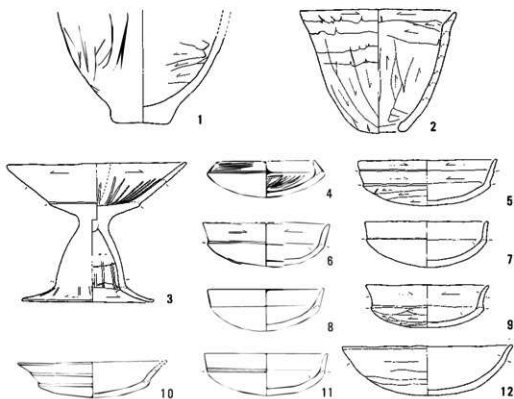
第112图 夏目遺跡69号住居址出土遺物(1)



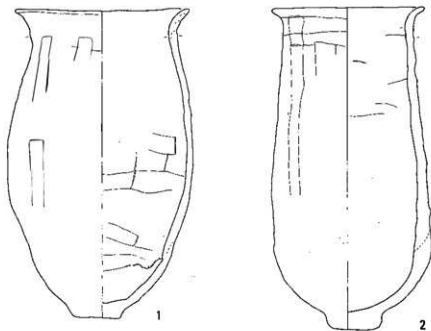
第113图 夏目遺跡69号住居址出土遺物(2)



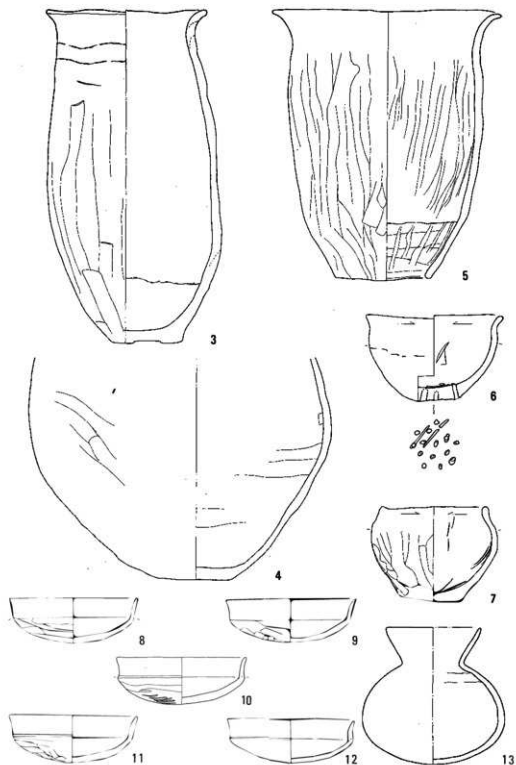
第114图 夏目遺跡69号住居址出土遺物(3)



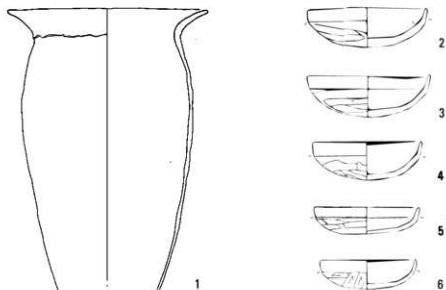
第115图 夏目遺跡70号住居址出土遺物



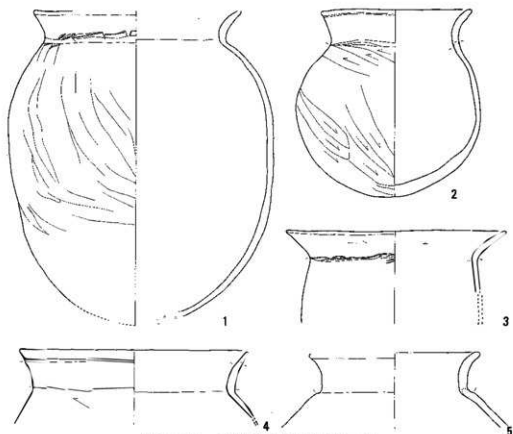
第116图 夏目遺跡71号住居址出土遺物(1)



第117図 夏目遺跡71号住居址出土遺物(2)

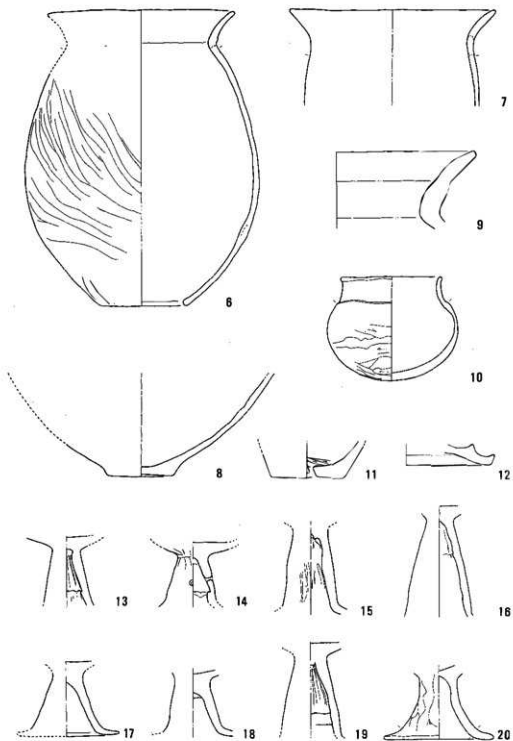


第118図 夏目遺跡75号住居址出土遺物

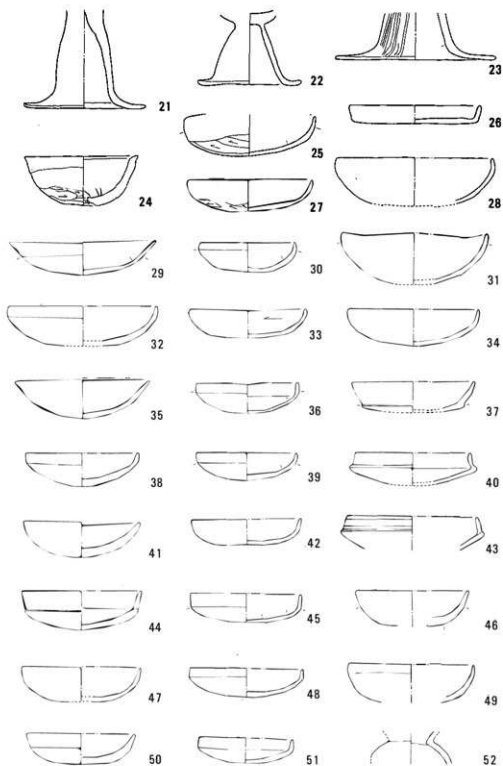


第119図 夏目遺跡5号溝出土遺物(1)

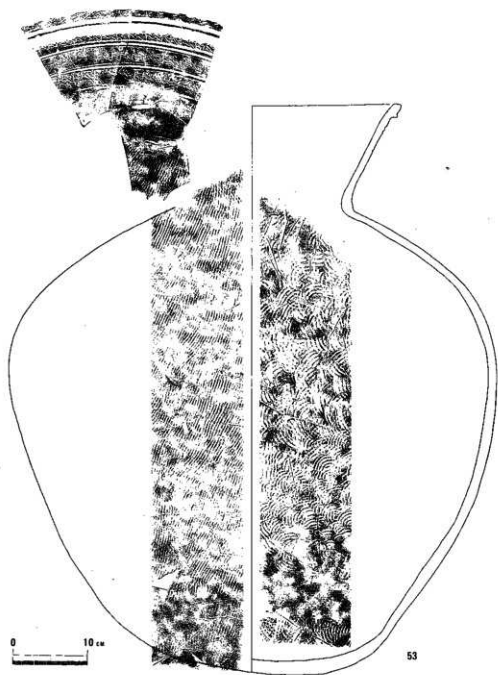




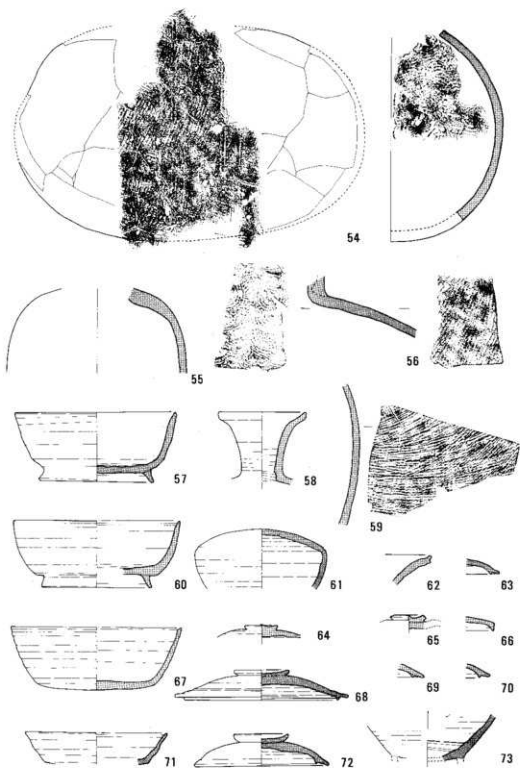
第120图 夏目遺跡5号溝出土遺物(2)



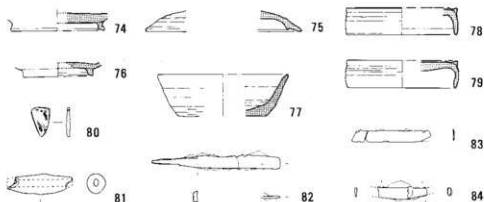
第121图 夏目遺跡5号溝出土遺物(3)



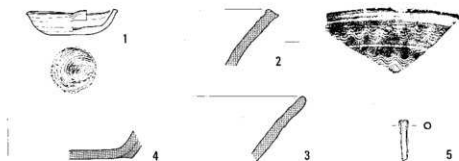
第122图 夏目遺跡5号溝出土遺物(4)



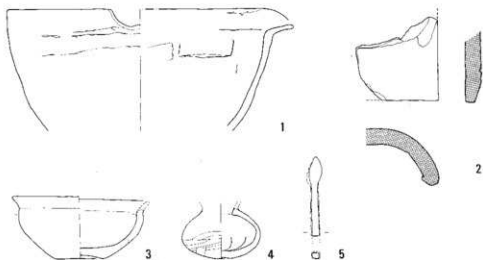
第123图 夏目遺跡5号溝出土遺物(5)



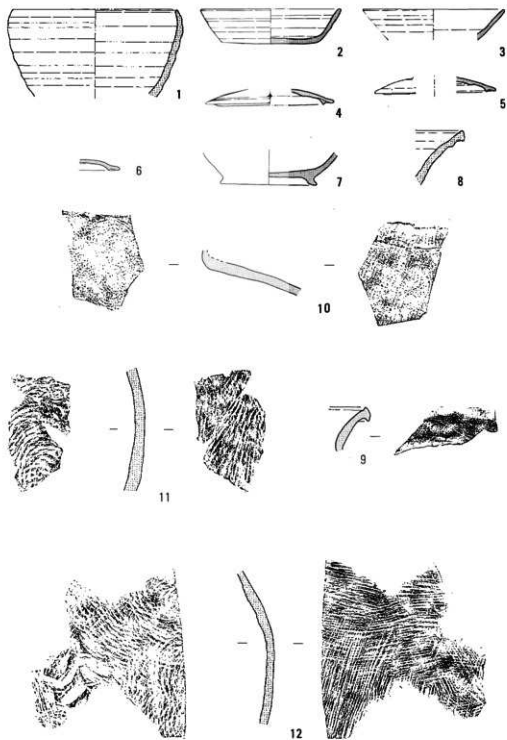
第124图 夏目遺跡5号溝出土遺物(6)



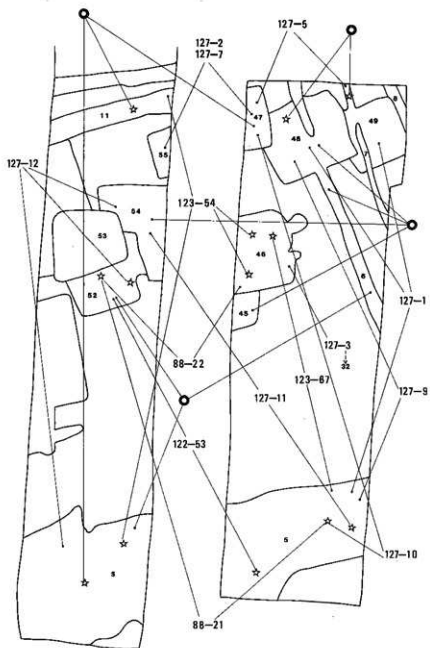
第125图 夏目遺跡6・7・11号溝出土遺物



第126图 夏目遺跡覆土出土遺物



第 127 图 夏目遺跡住居址複合出土遺物



第128圖 夏目遺跡住居址複合出土遺物分布

### 3 小 結

県道本庄・鬼石線道路改良工事に伴う発掘調査の成果は、二本松遺跡の小結（注1）で既に述べたように、二本松遺跡、社具路遺跡、夏目遺跡の3遺跡を総合して検討し、第三分冊・社具路遺跡発掘調査報告書（注2）に掲載する予定である。したがって、ここでは、夏目遺跡の発掘調査及び遺物整理の段階での問題点、知見等をまとめるにとどめたい。

1 遺構 夏目遺跡で検出された遺構は、住居址58軒、溝19本、井戸2基、土坑38基である。

住居址は、古墳時代（和泉期～鬼高期）から奈良時代（真間期）にかけてのものである。住居址は5号溝を挟んで、南北に夥しい重複をもって検出されており、特に南側においてそれが著しい。5号溝を挟む住居址群は、南北同時に形成されたものではなく、時期により住居址群の主体が南側、あるいは北側に移る傾向が認められる。和泉式土器を出土する住居址は、5号溝の南側において数が多く、北側では2～3軒にすぎない。また、鬼高期になってもこの傾向は変わらず、北側に2～3軒確認されたのみで、ほとんどが南側に構築されており、和泉期の住居址及び同時期の住居址と複雑な重複関係をもっている。さらに、全体の集落の中心から北にかなり離れて、鬼高期の小規模な住居址（75号住居址）が検出されている。周辺の調査がなされていないため、75号住居址を含む住居址群が存在しているかは不明である。真間期になると、5号溝の南側では住居址は全く検出されておらず、すべてが北側に構築されている。したがって、和泉期～鬼高期にかけては、集落の主体が、5号溝を境として南側にあり、真間期になり集落の主体が北側に移るといえることが考えられる。しかし、今回の調査は線的な調査であるため、周辺の調査が進むにつれ、新しい結果が見出されることも考えられるので、ここではその可能性だけを提示しておきたい。

和泉期の住居址は、二本松遺跡と時期的に大差ないと考えられるが、二本松遺跡では他の時期の住居址が存在していないのに対し、夏目遺跡では、鬼高期、真間期の住居址と併存していること、和泉期の住居址が同時期の住居址と重複関係をもっている点で、二本松遺跡と性格を異にすると考えられる（注3）。

竈については、和泉期では、58号住居址を除いて、煙道が壁外へ延びるものはなく、鬼高期でも同様である。しかし、真間期になると煙道はすべて壁外へ延びている。また、妻を竈の構築材料として使用した例が、40、47、59、61号住居址で検出されている。また、高環を竈の支脚として使用した例として、61、65、69号住居址、妻を支脚として使用した例として、28、50、51号住居址があげられる。

5号溝は、集落が形成されている微高地上最も高い位置にあり、遺物は和泉期から真間期にかけての土師器、須恵器が検出されている。和泉期の遺物は、最下層の砂礫層から出土しているが、摩滅している破片がほとんどで、流れ込んだものであると考えられる。5号溝覆土中で検出の遺物は、真間期に属するものが主体的であることから、真間期を中心とする時期に、その機能を果たしていたものと考えることが妥当であろう。また、久城前遺跡、葦訪遺跡で同様な溝が検出されていることから（注4）、5号溝もそれらと何らかの関係があると思われる。



6号溝からは、灰釉片口 用途不明の鉄製品が出土し、11号溝からは、埴鉢、蔵骨器が出土しており、中世に掘削された溝であると考えられる。他の溝からは出土した遺物がないため、時代の判定は確実にはできないが、6号溝とほぼ同じ方向へ、7、8、9、12号溝が走っているため、6号溝と無関係ではなく、ほぼ同時期に掘削されたものと考えられるであろう。

2 遺物 出土した遺物は土師器、須恵器がほとんどであるが、その中にあまり出土例のないものが存在する。51号住居址出土の子持壺(86図-17)は中央の有段の口縁をもつ埴に、小型の埴を接合した形で、中は貫通している。また、同じ住居址出土の高環(86図-9)は口唇部を打ち欠き、鋸刃状に整形し、脚に4か所穿孔している。この2つの土器は、ともに竈から出土している。さらに、同住居址から、坏底部に小環を付した高環が出土した(86図-10)(注5)。これらの土器は実用品とは考えられず、祭祀的な意味をもつものであろう。

また、第110図-1の土器は二本松遺跡出土の土器(17号住居址)と胎土、形態や手法が極似している。既に同報告書で注目したように、特異な存在である。

須恵器の出土状態を見ると、複数の住居址、溝に互って同一個体のものが検出されている。5号溝とその北側の住居址に、その接合が顕著で、その時期もほぼ真間期に限られるようである。当初は整理の段階における間違いかとも思われたが、複数の住居址出土の須恵器で接合するものが多かったため、須恵器のみに限ってその接合関係を図示した結果が第128図である。土師器においても須恵器のような結果が得られると思われるが、土師器の数が多く、ここでは割愛した。

土器以外の出土遺物で特筆すべきものとして、48号住居址出土の銅芯金張の耳環(82図-25)、60号住居址出土のガラス球(96図-16)がある。耳環の出土は古墳の副葬品として検出されることがほとんどで、住居址からの出土は稀である。ガラス球は、カット痕があるものの未製品であることから、この周辺にガラス製造に関連した遺構が存在することを示唆すると考えられる。

夏目遺跡は、東西に広がると考えられる集落を南北に縦断する形で実施したことにより、線的ではあるが、1つの地域の中で住居址が時期的にどのような変遷をたどったかを解明するのに、かなりの成果をもたらすものと思われる。

注1 長谷川勇他『二本松遺跡発掘調査報告書』昭和58年 本市市教育委員会

注2 昭和61年度刊行予定

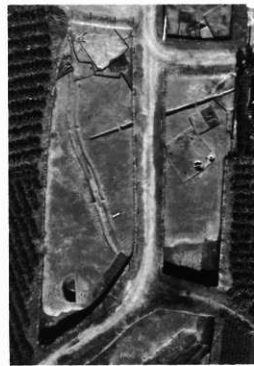
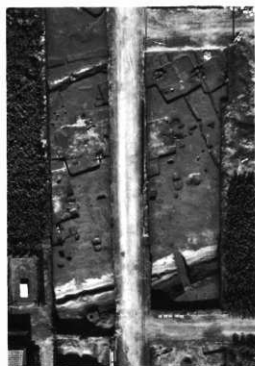
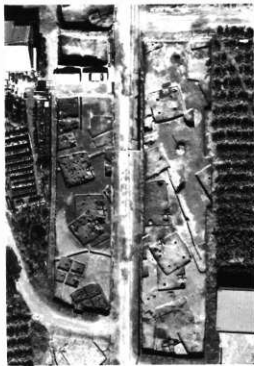
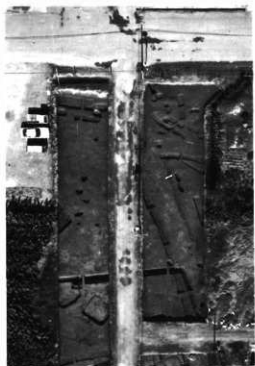
注3 ここにおいて使用している、和泉期、鬼高期、真間期の用語は、それぞれの時期の要素を持った土器を出土するという意味で、遺物、遺構の詳細な編年は、第三分冊で行う予定である。

注4 宮崎朝雄『関越自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ 中郷 耕安地 久城前』昭和53年 埼玉県教育委員会  
小久保徹『上越新幹線埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ 下田 諏訪』昭和54年 埼玉県教育委員会

注5 同様の土器が異形高杯形土器として、長岡史起、松本完両氏によって報告されている。「横浜市保土ヶ谷区桜ヶ岡出土の土器について」『神奈川考古』第12号 昭和56年 神奈川考古同人会



夏目遺跡空中写真（北方より）



夏目遺跡空中写真



1 夏目遺跡10号~14号住居址(南方より)



2 夏目遺跡10号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡11号住居址カマド



2 夏目遺跡15号・18号・19号住居址（南方より）



1 夏目遺跡15号住居址カマド



2 夏目遺跡19号住居址カマド



1 夏目遺跡 22号・24号～27号住居址 (西方より)



2 夏目遺跡 22号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡22号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡25号住居址カマド

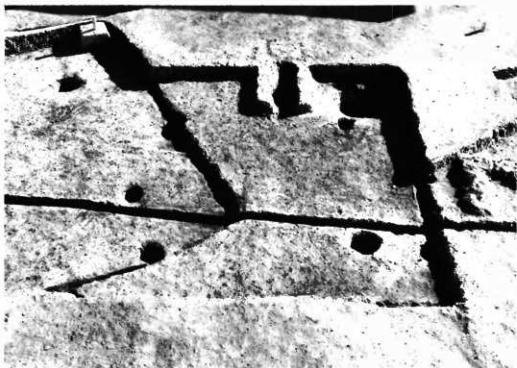




1 夏目遺跡26号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡27号住居址(西方より)



1 夏目遺跡28号住居址（西方より）



2 夏目遺跡28号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡28号住居址カマド



2 夏目遺跡29号住居址カマド



1 夏目遺跡29号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡30号住居址（西方より）



1 夏目遺跡30号住居址カマド



2 夏目遺跡30号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡32号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡33号住居址(西方より)



1 夏目遺跡37号・38号住居址（西方より）



2 夏目遺跡38号住居址遺物出土状況

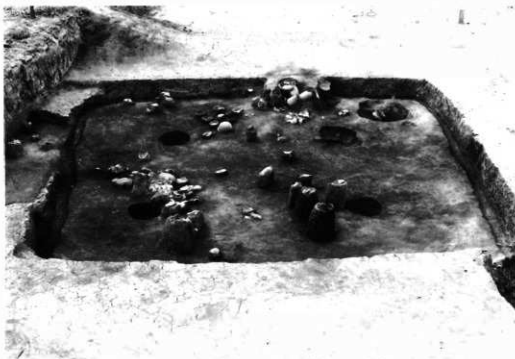


1 夏目遺跡38号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡39号住居址（西方より）





1 夏目遺跡40号住居址（南方より）



2 夏目遺跡40号住居址カマド



1 夏目遺跡46号住居址（西方より）



2 夏目遺跡46号住居址カマド



1 夏目遺跡46号住居址カマド



2 夏目遺跡46号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡47号・48号住居址(南方より)



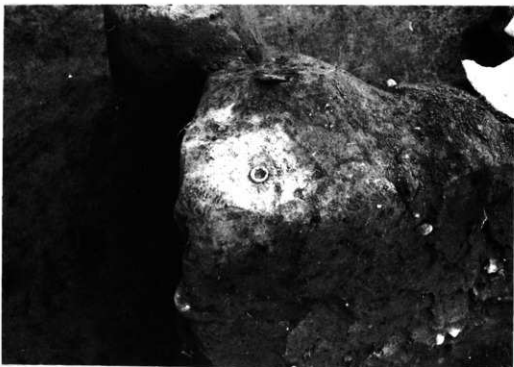
2 夏目遺跡47号住居址カマド



1 夏目遺跡48号住居址カマド



2 夏目遺跡48号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡48号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡50号住居址(南方より)



1 夏目遺跡50号住居址カマド



2 夏目遺跡51号住居址（南方より）



1 夏目遺跡51号住居址カマド



2 夏目遺跡51号住居址遺物出土状況





1 夏目遺跡52号～56号住居址（南方より）



2 夏目遺跡52号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡52号住居址カマド



2 夏目遺跡56号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡58号住居址（南方より）



2 夏目遺跡59号住居址（南方より）



1 夏目遺跡61号住居址（東方より）



2 夏目遺跡61号住居址カマド



1 夏目遺跡61号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡62号住居址



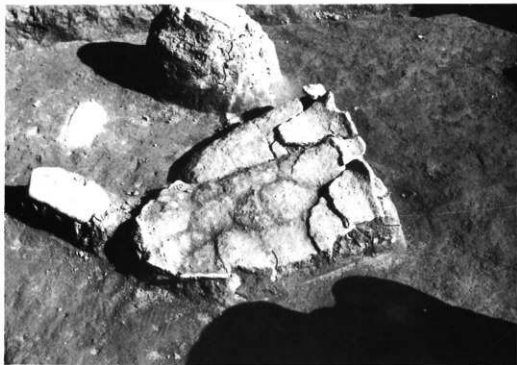
1 夏目遺跡62号住居址カマド



2 夏目遺跡63号・64号住居址



1 夏目遺跡63号住居址カマド



2 夏目遺跡63号住居址遺物出土状況



1 夏目遺跡64号住居址カマド



2 夏目遺跡64号住居址遺物出土状況





1 夏目遺跡65号住居址（南方より）



2 夏目遺跡65号住居址カマド



1 夏目遺跡65号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡66号住居址（西方より）



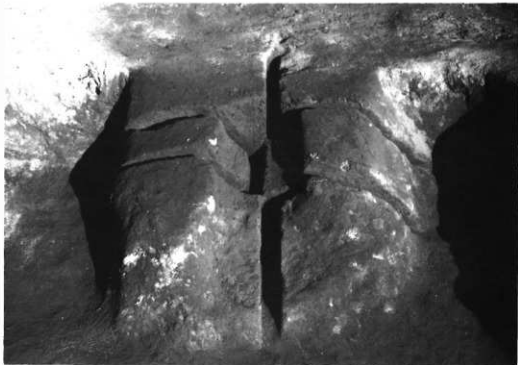
1 夏目遺跡70号住居址カマド



2 夏目遺跡71号住居址(西方より)



1 夏目遺跡75号住居址（西方より）



2 夏目遺跡75号住居址カマド



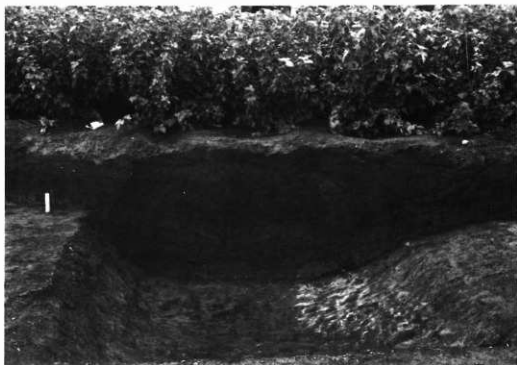
1 夏目遺跡75号住居址遺物出土状況



2 夏目遺跡1号・2号溝（北方より）



1 夏目遺跡3号溝 (西方より)



2 夏目遺跡5号溝 (西方より)



1 夏目遺跡5号溝遺物出土状況（北方より）



2 夏目遺跡5号溝遺物出土状況

埼玉県本庄市

夏目遺跡発掘調査報告書

昭和60年2月25日印刷

昭和60年3月 5日発行

発行 本庄市教育委員会

本庄市銀座1-1-1

印刷 本庄孔版社

本庄市朝日町3299